

公立大学法人 高崎経済大学

経済学部 経済学科／経営学科／国際学科
地域政策学部 地域政策学科／地域づくり学科／観光政策学科



公立大学法人
高崎経済大学 [発行] 経済学部
地域政策学部

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300番地
TEL.027-343-5417 FAX.027-343-4830

Twitter @tcue_PR YouTube 高崎経済大学公式チャンネル

WEB SITE
<https://www.tcue.ac.jp/>



CAMPUS
GUIDE 2024

可能性を広げる 未来への分岐点

たえず変化を続ける社会の中で自分の立ち位置を把握し、
しっかりと未来を見据えることが大切です。
多様な学修環境に恵まれた高崎経済大学を分岐点に
自分の可能性を広げ、
進むべき未来を明確にしませんか。



VISION



描く未来を想像する

全国各地で活躍する卒業生の姿、本学で学生生活を送る先輩やこれから社会人として歩き始める先輩の姿、数年後の自分はどこへ向かいたいのか、まずは見定めることが大切です。

Page
03

EDUCATION



多様な教育で知を高める

2学部6学科体制の学修環境を用意し、地域社会の実態を直接学ぶことができる少人数のゼミナール教育を重視しています。また、経済のグローバル化が進む中、国際社会に対応できる教育環境にも力を入れています。

Page
09

DIALOGUE



対話を通じて自己と向き合う

全都道府県から集まった多くの学生や海外からの留学生との出会いを通じて、さまざまな価値観や文化に触れ合う交流拠点となっています。また、ゼミのフィールドワークなどで学外との関わりをとおして新しい発見をしたり視野を広げることができます。

Page
11

ACTION



多くの経験を得る行動力

本学ではボランティアやNPO活動にも力を入れており、社会貢献をとおしてさまざまな経験を積むことができます。

Page
13

思い描く未来像を明確に



農林水産省 出向先:内閣官房 TPP等政府対策本部
石倉 傑さん 2014年度 地域政策学部 観光政策学科 卒業 (群馬県・東京農業大学第二高等学校 出身)

高経大でなら国内外で活躍できる人材になれます

現在、内閣官房にてTPP等の経済連携協定に関する国際関係の業務を担当しています。責任を伴う業務であり、苦勞も多々ありますが、閣僚会合等影響力のある案件に携わっていることは光栄です。大学卒業後、高崎市の職員になりましたが、海外派遣や国際関係の部署での経験等を経て、より広いフィールドで国際関係の業務に携わってみたいと思い、農林水産省に入省しました。

在学中のアメリカでの約3週間の語学研修は、語学に加え歴史や文化、人との交流等、貴重な異文化体験となり、今につながっています。また、ゼミ活動におけるインタビュー調査や教授・ゼミ生との議論を通じて、論理的・多角的に物事を考える力が鍛えられました。こうした学生時代に培った経験等が、考えや主張の根拠を強く求められる現在の仕事で活かしています。

今後、国際社会への知見をさらに深め、将来は海外勤務にも挑戦してみたいと思っています。



株式会社群馬銀行 前橋北・富士見支店
各務 安以さん 2018年度 経済学部 経営学科 卒業 (群馬県・東京農業大学第二高等学校 出身)

「仮説→検証」に基づく学びが仕事に生きています

現在は地区担当として、主に、取引先の会社様へのご融資やコンサルティング提案、個人や法人への資産運用の提案などを行っています。業務を通じてお客様といかに信頼関係を築けるかにやりがいを感じます。私の提案に対し、「各務さんが言うなら」と言っていたことが喜びです。ふるさとしてある群馬県の地域活性化に貢献したい、大学で学んだ経済学の知見を仕事に活かしたいと考え、当行に入行しました。いずれは希望の部署に異動できるように、日々懸命に頑張っています。

在学中、ゼミ活動や、多彩な職種のアルバイトを通じてさまざまな方と交流したことは、コミュニケーション能力の向上につながりました。また、教職課程を履修し、結果として教員にはなりませんでした。経済学以外のことを広く学ぶことで思考の幅や視野が広がったと思います。

皆さんもぜひ、全国から多彩な学生が集まる高経大で、充実した学生生活を送ってください。



KDDI株式会社 経営戦略本部 投資戦略部
芹澤 一樹さん 2014年度 経済学部 経営学科 卒業 (静岡県立伊豆中央高等学校 出身)

いずれは自分の事業を創り、経営していきたい

通信インフラの提供をはじめとする多彩な事業を行っている点に魅力を感じKDDIに入社しました。営業として働いていましたが、コロナを機にスキルアップを図ろうとグロービス経営大学院大学に入学。経営学を学ぶ過程でM&Aに興味を持ち、社内公募に応募したことが現在の職へとつながりました。M&A(企業の合併・買収)、会社設立や株式の売却、上場(IPO)などを含む広義のM&Aを業務としています。対象範囲はグローバルに広がっており、英語等の外国語にも触れます。

大学時代を思い返すと、学生が運営する「cafeあすなろ」に1期生として参画したことが印象に残っています。ゼミからお店をつくる楽しさ、原価計算、企画やプロモーション、財務諸表作成など、講義での学びを実際に活かす機会となっていました。今も、学んだことを仕事にしっかりとアウトプットするということを意識しています。

全国各地で活躍する卒業生



東京ガス株式会社 出向先:東京ガスネットワーク株式会社 技術革新部 新事業・DXグループ
嶋 優輝さん 2014年度 経済学部 経済学科 卒業 (東京都・淑徳高等学校 出身)

能動的に活動することで大学の学びは深化します

東京ガスグループの導管部門にて、新事業の検討、事業計画の策定・立上げを行っています。創立以来培ってきた技術・技能・ノウハウ・資産を活用したサービスを事業化し、全国のインフラ事業者の支援を通して人々の暮らしを支えるダイナミズムを感じます。

地域コミュニティの中で広く経済を学ぶことができる高経大は、行政や地元企業、地域住民の方との距離が近いことが最大の魅力です。また、「挑戦を応援してくれる環境があり、人がいる」ので、「歯車」ではなく「原動機」になりたい方に向けた大学だと思います。

在学中は会社法のゼミに所属し、法知識とともに「論理的思考」と「他者視点」を学びました。仕事場には多様な考えの人たちがいます。特に事業検討の際には他部署の方との連携が欠かせないため、納得して協力していただくために「論理的思考」「他者視点」が非常に役に立っています。



株式会社ユーグレナ D2C部CRM課
渡邊 愛花さん 2018年度 経済学部 経営学科 卒業 (福井県立藤島高等学校 出身)

ゼミの先生とゼミ仲間との出会いが成長につながりました

高校時代から環境問題に関心があり、環境問題の解決に真剣に取り組んでいる企業に勤めたいと考えてユーグレナに入社しました。現在は、直販・EC部門にて、データ分析でお客様のニーズを把握し、販売企画と広告の制作をするという一連の業務を行っています。お客様からお喜びのお声をいただいたときや売上が社会課題への投資につながっていることにやりがいを感じます。

大学時代は、熱心なゼミの先生と真面目なゼミの仲間との出会いが成長につながったこととても感謝しています。ゼミ活動で仲間と日が暮れるまで議論したことは、現職において複雑な課題に粘り強く取り組むことにつながっています。また、仲間から刺激を受けて何事にも積極的に行動するようになりました。例えば、講演会の前に文献を読み質疑応答で質問をしたり、放課後に会計の専門学校に通学していました。

今後は国内市場のみならず、海外との取引をするなど、国際的に働ける人材になりたいです。



函館市役所 保健福祉部 亀田福祉課
三橋 由葵乃さん 2020年度 地域政策学部 地域政策学科 卒業 (北海道函館中部高等学校 出身)

地域政策について学びたい人はぜひ高経大へ!

高校の頃から将来は函館市役所で働きたいと考えており、大学時代は地元とは全く違う環境の中で生活しようと、高経大に入学しました。窓から山並みが見え、入学式に桜が咲き、夏の暑さが厳しい高崎は、とても新鮮な場所でした。現在は函館市役所にて、福祉に関する窓口対応、療育手帳に関する業務、障害児の補装具などを担当しています。窓口対応について感謝していただいたり、サービスの利用によって充実した生活が送れていると聞いたりすることがやりがいにつながります。

大学のゼミ活動では、良いアウトプットのためには信頼できる情報源からのインプットが大事だと学びました。また、「都市研究会」でのサークル活動、アルバイト経験なども、市民の方と接する現在の業務の中で役立っています。今後、常に適切な対応ができ、さらには接遇を通して市役所への印象を良くしていただけるような質の高い対応力を持った職員に成長していきたいです。



定めた未来へ歩きだす TO THE FUTURE



|No.1

関東信越国税局



川俣 武蔵
経済学部 経済学科 卒業
前橋育英高等学校 出身

国家公務員として目指すのは 公平公正な課税や社会の実現

職場説明会や国税局でのインターンシップ経験を通して、国の重要財源である「税」を扱う仕事に興味を持ちました。経済学や法学など、公務員試験の中で分からない部分を専門知識を有する先生方にすぐ質問できたこと、またキャリア支援センターの方々による模擬面接や面接講座などのおかげもあり、公務員試験本番にも落ち着いて臨めました。ゼミで専門的に学んだ経済学の学説や経済思想、経済に関する時事的な事柄は、理論問題や時事問題を解く際に役立ちました。さまざまな価値観に触れられ視野が自然と広がる本学の環境も、面接や小論文での強みとなりました。たまたま同じサークルの仲間が同業種を志望していたため、切磋琢磨しながら就職活動を行うことができたのも強かったです。

|No.2

東日本電信電話株式会社



増川 美佳
経済学部 経営学科 卒業
埼玉県立伊奈学園総合高等学校 出身

会社や顧客にとって “必要不可欠な人材”に成長したい

お客様の悩みに対する解決策の柔軟性が高く、最良の提案ができるICT業界を志望していました。中でも、多くの商材を扱い提案の幅が広いこと、東日本全域に拠点があり地域のお客様に寄り添ったコンサルティングができること等に惹かれ、この会社を選びました。
就職活動中は、大学のキャリア支援システムを使って情報収集し、また就職関連のイベントや企業説明会にも参加しました。ゼミでの論文執筆は「伝える文章」を組み立てる訓練にもなり、書類選考や面接の際に活かしました。講義やゼミ、アルバイト等で出会った人たちとの関わりから多様な価値観を知るとともに、自分自身への理解が深まりました。自らについて理解することは就職活動で結果を出すことにつながると感じています。

|No.3

株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業



薄井 小也香
地域政策学部 地域づくり学科 卒業
茨城県立水戸第二高等学校 出身

幅広いスキルを身に付けて 「お客様に頼りにされる職員」に

大学での学びから、地域衰退を抑制するためには地域産業への支援やアプローチが必要であると考え、中小企業の成長を金融面からサポートし地域活性化に貢献できる会社を就職先を選びました。大学で得た、地域についての多彩で豊富な知識は、面接の場において「地域のために働きたい」という情熱を伝える際の裏付けにもなりました。また、サークル活動では、周りを見て自主的に行動する力が身に付き、働く仲間もお客様も多様な人々がいたアルバイトの場では、円滑なコミュニケーションに必要なスキルを向上させることができるなど、充実した大学生活が就職活動にもプラスになったと感じます。「あなたにぜひ相談したい」と言っていたいただける職員になれるよう人間力を磨いていきたいです。

|No.4

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



高橋 佳祐
地域政策学部 観光政策学科 卒業
新潟県立柏崎常盤高等学校 出身

成長を促してくれる環境の中で 学べたことが結果につながりました

多くの課題がある日本企業や日本社会に対し、ITによる支援を行うことで課題解決を図りたい、企業の成長を後押ししたい、労働時間や人為的ミスの削減など各種の価値も提供できたら…と考え、IT企業を志望しました。内定先企業は国内外のIT企業と連携しており、多様な領域に対してアプローチできることが大きな魅力であるとともに、就職活動の中で関わった社員の方々の雰囲気もよく、「ここで働きたい」という気持ちがふくらみました。面接の際に、ゼミ活動で行っていた観光ガイドボランティアの話題に面接官の方が強い興味を示してくれたのですが、地域との密接な連携の中で学べる本学での経験は、自分の成長につながり、就職活動にも大きな恩恵を与えてくれたと思います。

高経大で学ぶ面白さ



経済学部 経済学科 4年 上田 拓実 長野県長野市吉田高等学校	経済学部 経営学科 4年 木村 朱里 群馬県立前橋東高等学校	経済学部 国際学科 4年 宮路 祐実 鹿児島県立武岡台高等学校	地域政策学部 地域政策学科 4年 丸山 詩乃 北海道函館中部高等学校	地域政策学部 地域づくり学科 4年 玉木 滉人 栃木県立大田原高等学校	地域政策学部 観光政策学科 4年 戸嶋 宏樹 秋田県立角館高等学校
---	--	---	--	---	---

高経大を受験した決め手は？

上田:高崎市の首都圏へのアクセスの良さや、ほどよく都会で住みやすい点と、高経大が自分の学びたい経済学に特化した大学であるという点に魅力を感じて受験しました。

木村:私はもともと経済・経営系の勉強がしたいと考えていて、高経大は1年次に経済学の基礎を学んだ上で学科選択ができる点が魅力でした。

丸山:将来はまちづくりに携わるような職業に就きたい、そういう勉強がしたいと思っているいろいろな大学を調べました。中でも高経大は全国で最初に地域政策学部を設立した大学であったこと、ゼミが必修で、全ての学生がゼミに所属し、自分の興味関心について深掘りできるのがすごく魅力的だと思いました。

戸嶋:地元が好きで、高校までにさまざまな地域活動に取り組んできました。地域政策学部の推薦入試ではそれらが評価されるのも決め手の一つでした。

宮路:全国に受験会場があるので受験がしやすいという点も魅力ですね。私は鹿児島県出身なので、福岡県で受験しました。また、2年次からのゼミ活動で、早くから実践的に学べるというのもいい点です。

玉木:受験で言えば、2次試験で自分の得意な科目を生かせるのも魅力です。また、全国各地で受験可能なことで、全国から集まる多様な人々との交流を通して自分の視野を広げられるということもメリットだと思います。

戸嶋:視野が広がることで言えば、日本だけでなく、海外からの留学生とも交流できるのも大きいです。以前、「ツアープランニング論」の授業でグループディスカッションをしたとき、グループにいたベトナムからの留学生の話が、文化の大きな違いを感じさせてとても新鮮でした。

玉木:授業でグローバルを感じることも、ありません。ゼミで夫婦別姓の議論をしていたとき、中国出身のゼミ生が、中国は当たり前前に夫婦別姓だという話をして、「へえ、そうなのか」と知りました。

高経大の教養教育科目の面白さとは？

上田:高校では習わない内容の教養教育科目がたくさんあり、新たな知識を得る喜びを強く感じます。「心理学」の授業で、人間のさまざまな行動に心理が関わっていることを学んで、ニュースや流行に対する見方が変わりました。

木村:「ファイナンシャルリテラシー」など、将来の人生設計に直結するような科目も多くて、卒業後もずっと役立つと感じます。

宮路:私は数学が大の苦手なのですが、実社会と関連して学ぶ数学は面白く、数学の持つ応用力にも気付きました。

玉木:「食と健康」で聞いた栄養の話や、食品ロスが生まれる理由や解決法など、自分に身近な食の話題が非常に面白かったです。それと、さまざまな教養教育科目を学ぶ中で、語彙や読解力などの国語力も磨かれたと感じます。

丸山:私は「街と建築」という講義がとても興味深かったです。高経大の入学式や卒業式を行う「群馬音楽センター」は、モダン建築の巨匠アントニン・レーモンドが設計したと知り、街を象徴する建築に興味を持ちました。

戸嶋:もともと祭りや方言など民俗的・土着的な文化に興味があったのですが、「民俗学」の履修により知識が深まることももっと知りたと思うようになり、現在ゼミで行っている祭礼研究に興味を持つきっかけとなりました。

高経大の特徴、「インプット(座学での学び)とアウトプット(ゼミ活動等での実践)の連動」を実感した出来事

上田:2年次の「初級マクロ経済学」の授業で学んだ知識が、ゼミで経済の統計を計算する際に生きています。

木村:以前にゼミで、マーケティングについての

グループワークが行き詰まったときに、マーケティングに関する授業で得た知識から、「この事象が起こっているのは、こういうことなんじゃないか」という糸口を見つかることができて、そこからグループワークがまた進んでいったという経験があります。

宮路:「経営管理論」で学んだことを、所属している応援団の団運営に反映してみました。演舞の練習について定期的に行っている「テスト」の際に、以前は先輩たちがコメントで評価していたのを、評価を数値化してみました。数字で出ると、足りない部分や他の人との差などが分かりやすくなり、練習ポイントの絞り方やモチベーションアップにつながったと感じます。

丸山:私のゼミでは空き家問題について研究し、高崎市に政策提案をします。講義で学んだ空家対策特別措置法や都市計画法といった法律や、仕組み、事例などの知識が基礎にあることで、より説得力と実現性の高い提案ができました。

戸嶋:私はゼミで、桐生市の紙園祭の保存会の方や地域の方にインタビュー調査などを行っています。後継者や伝承といった地域の祭りが抱える課題を聞き出す際に、授業で得た知識と調査結果とを比較したとき、インプットが生きていて実感しました。

高経大に入学して感じた「予想外によかったこと」は？

宮路:いい意味で大学全体がコンパクトなことです。キャンパス自体もそうですし、学生数も多過ぎないので授業や課外活動内で密に関係を築くことができます。ボランティア活動支援室やキャリア支援センターなどの職員の方も、親身になってコミュニケーションをとってくださいます。私がボランティアの紹介を受けたときも、私に合うものを徹底的に探して提案してくれました。

木村:思っていた以上に全国各地から学生が集まっていて、行ったことのない土地出身の人と関わることが面白いです。友人たちが私になじみのない言葉で話しますが、群馬出身の私は高校まではそういう経験がなかったので、それと、私は吹奏楽部に所属しているのですが、中学高校のときはコンクールなどで演奏することがほとんどでしたが、大学に入って地域のイベントなどに出演する機会が多くあり、聴衆に喜んでもらう演奏をする喜びを知りました。

丸山:地域の人の関わりということや、私は「一般社団法人0号館」という団体に所属していて、年に2回、近隣農家の方とNPO法人と公民館と協力して野菜の直売会を開いたり、大学の昼休みに、近くの居酒屋さんが作ったお弁当を販売したりと、学外の人も交流するチャンスがたくさんあります。そうして出会った人



を通じてどんどん人脈が広がっていくことで自分も学びが得られ、力になってくれる大人たちにも出会えて、とてもよかったです。

戸嶋:大学祭である「三層祭」の実行委員長を務めたのですが、大学祭は中高時代までとは違って、大学祭を行うための資金集めなどを通して、地元企業の皆さんなど、普通に大学生をしているだけでは関わることがない方たちとも関わったり、大学の事務の方とたくさんコミュニケーションをとったりと、社会人経験に近いようなことを経験できて、楽しかったし、勉強になりました。

上田:大学生ならではの経験は貴重だと、私も思います。私はバレーボール部で幹事長(部長)を務めたのですが、中高時代までは監督や先生がやってくれていた運営面まで全て学生が行うので、苦勞もあり、だけど成長もしました。こういう経験は社会に出たときに役立つのではないかと考えています。

群馬や高崎の良さとは？

上田:関東各都県はもちろん、長野や新潟へも気軽に行くことができるので、交通アクセスがとてもいいと感じています。

玉木:高崎は、「だるま市」や群馬交響楽団の演奏会など、多様なイベントがたくさん開催されているのもいいですね。「キングオブパスタ」に行ったことがあります。パスタがおいしかったし、参加者が投票形式で「キング」を決められるというのも面白かったです。

戸嶋:高崎は「都会過ぎず田舎過ぎず」の、ちょうどいい街だと感じます。生活に便利だけど、都会のような騒がしさはなく、非常に過ごしやすいです。群馬県全体で見ると、高崎や前橋などの都市部もあり、自然豊かな草津やみなかみなどの温泉地もあり、バランスのいい地域という印象です。

宮路:みなかみは私もお気に入りです。入学後にバイクの免許を取ったのですが、みなかみへもときどきツーリングに行きます。自然がきれいで、温泉もあって、おいしいものもあって、いいところだなと感じます。

戸嶋:そういえば、私は秋田の豪雪地帯の出身ですが、高崎の冬はほとんど雪が降らないので、その点は暮らしやすいと感じます。ただ、風の強さと冷たさは結構つらいですが…(笑)。

高校時代の自分に高経大を勧めるとしたら...

上田:「地元の長野に雰囲気似ていて安心感があって、でも地元よりは都会で生活利便性が高くて、一人暮らしを安心して満喫できるよ」と伝えたいです。今はいろいろなことにチャレンジできて、充実した日々を送っています。

丸山:「学内での学びや学外での経験、さまざまな人との出会いや高崎での暮らしを通して、まちづくりという抽象的なテーマを多様な角度から考えることができて楽しいよ! 高崎は知り合いが一人もいない未知の場所だけど、たくさんの人に恵まれるから、安心して楽しく暮らせるよ!」と伝えたいです。

木村:「高経大はカリキュラムも人間関係も周



囲の環境もよく、大学4年間学ぶには最適な場所です」と伝えます。

宮路:「全国から集まってくる仲間から刺激を受けて、自分をさらにレベルアップすることができるよ!」と言いたいです。

玉木:「自分の知らなかったことをたくさん経験でき、視野を広げることができるからおすすめだよ!」ですね。

戸嶋:「地域のために活躍したいという漠然とした思いを具体化していける最高の場所だ」と伝えたいです。あと、「田舎からは出てみたいけれど大都会には住みたいと思っていないきみにちょうどいい住み心地の場所だよ」とも。

10年後の自分はどんなになっている？

木村:群馬県外で就職しようと思っているので、10年後には一人暮らしをして、仕事も私生活も忙しく、毎日が充実していらしいですね。

上田:私は関東圏での就職が希望なので、埼玉・群馬あたりに住んで、働いているかな。経済学をはじめとした大学で学んだことを活かして、経済の動向を観察し、投資などもしていると思います。

玉木:10年後は、未経験のことにいろいろ挑戦しているかな。大学に入って新しいことにチャレンジしたいと思い、全く経験のなかった吹奏楽に挑戦したんです。楽譜も読めないところから、周囲の人のサポートのおかげでできることがどんどん増えて、今では楽しくトロンボーンを演奏しています。知らない世界に踏み入ることは勇気が要りますが、それ以上に得られるものが大きいと知りました。だから卒業後も、未知の世界に日々挑戦していると思います。

宮路:私は企業活動の幅を広げられるような仕事がしたいので企画職を希望しているのですが、10年後には、大学のサークル活動で経験した組織運営を基に社内でリーダーシップを発揮して、会社の成長に貢献しつつ国際的に活躍できているといいなと思います。

丸山:10年後...想像するのが難しいとも感じますが、社会の変化に向き合いながら、地域の歴史や景観、風土、既存の建物などを活かして、人々の生活を豊かにできるまちづくりに携わる仕事をしたいです。

戸嶋:地元の秋田で、生まれ育った土地に何かしらの価値を提供していける人材として働きたいです。少子高齢化や人口減少はこれの先10年間でさらに進行すると考えますが、大学での学びを活かして地域を盛り上げていきたいと思っています。

必修のゼミナールで 課題解決能力アップ



高崎経済大学では、経済学部・地域政策学部ともに「ゼミナール(演習)」が必修となっています。指導教員のもとで、問題意識・関心の近い仲間とともに専門書の輪読、フィールドワーク、合宿、ディベート、論文・レポート執筆などを行います。さまざまなゼミナール活動を通じ、専門分野の研究が深められるだけでなく、社会に出て必須となる「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」を養うことができます。

ゼミナールは高崎経済大学の「学びの柱」です。



ゼミナール活動の一例

本学のゼミナール活動は教室にとどまらず、国内外でフィールドワークを行っています。また、各種コンテストやシンポジウムに参加したり、地域や民間企業、官公庁と連携した活動も行っています。



山本 匡毅 ゼミ
たかしんビジネスプランコンテスト2022
最優秀賞



片岡 美喜 ゼミ
群馬県農村整備課
「やま・さと応援隊」事業への参加



増田 正 ゼミ
G-Vote 18への参加



米本 清 ゼミ
子育て家族応援イベント 榛東村
「しんとうママフェス」での支援



石井 清輝 ゼミ
桐生紙園祭へのサポートスタッフとして参加



佐藤 敏久 ゼミ
Student Innovation Collegeへの参加



加藤 健太 ゼミ
渋沢栄一杯 経済史・経営史ディベートリーグ
への出場



向井 悠一朗 ゼミ
タイ王国でフィールドワークを実施



八木橋 慶一 ゼミ
榛名神社家町での地域振興活動に
ボランティアとして参加

充実した英語教育で 世界を視野に



経済学・経営学

考え方のコア・
高度な専門的知識

真のグローバル・
エキスパートへ

国際感覚・教養

多様性、客観的視点

語学力

コミュニケーション能力



English Café
eラーニング
世界16の国と地域
21大学の提携校

多彩な英語教育で グローバルな人材を育てる

英語教育は、eラーニングを積極的に活用し、TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)受験に力を入れています。日常から英語に親しめるよう、少人数でネイティブ講師と会話ができる「English Café」も開設しています。世界16の国と地域21大学と提携しており、留学希望者には助成金制度(海外研修支援事業)を用意し、交換留学や短期語学研修を活発に行っています。

▶ 詳しくは P51~P54 へ

経済学部国際学科では、英語や国際系科目をはじめとしたグローバル教育と経済・経営のエキスパート教育が融合したカリキュラムにより、グローバル化する社会の課題に主体的に取り組むことができるグローバル・エキスパートの育成を目指します。また、交換留学などのサポートも充実しており、世界を視野に入れた教育環境で学ぶことができます。



現地での対話で 自分自身を見つめ直す

キャンパスを離れて、現地で直接調査したり、情報提供者との対話をする事で、本や講義だけでは学べない情報をフィールドワークをおして学ぶことができます。これまで当たり前と思っていた価値観や常識が、必ずしも正しいものではないことに気付かされることで、自分自身を見つめ直すことにもつながり、視野を広げることができるでしょう。

フィールドワーク

地域貢献



地域とつながる
ゼミナール活動

都市から農山村まで多面的なエリアに恵まれた高崎では、身近に実践的な研究の場がたくさんあります。



高校生と共に成長する
高大コラボゼミ

高崎市立高崎経済大学附属高校の文系オナークラスと本学の学部ゼミとで合同ゼミを行っています。ここでは学生が先輩であり、指導役です。



地域で活躍する
学生たち

学生の自主的な活動であるクラブやサークルでもさまざまな地域活動をしています。

出会いと対話

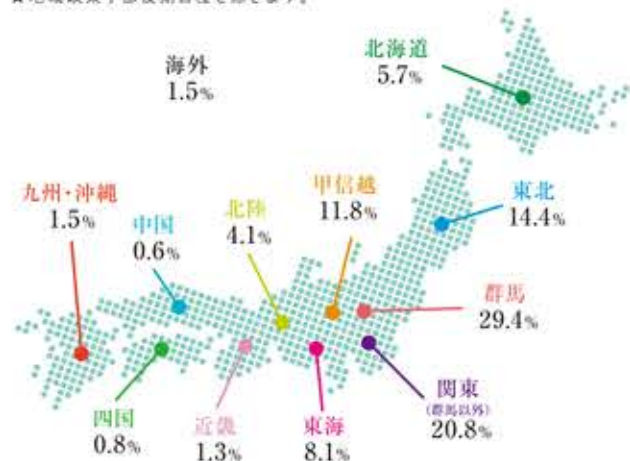
各国、各地域から集まった仲間たちと広がる友達の輪。さまざまな文化に触れ合い交流を深めるチャンスがあります。1957年の開学以来、北海道から沖縄まで、全国各地域出身の学生が集まる珍しい公立大学です。地方都市にいながらさまざまな慣習に触れることができ、視野を広げたり社会性を養ったりする機会がたくさんあります。

試験会場は全国10ヵ所

全国主要都市10ヵ所に試験会場があり、全国どこからでも試験が受けやすいのも特徴です。

高崎／札幌／仙台／東京／金沢／名古屋／大阪／岡山／高松＊／福岡＊

＊地域政策学部後期日程を除きます。



全体(人数) 合計:4,054人 出身地域別学生の割合(2023年5月1日現在)

全国で活躍する 約40,000人の卒業生

キャリア支援センターでは、地元への就職や首都圏以外の地域への就職を希望する学生の疑問や不安を解消するため、U・Iターン就職希望者向けの支援も行っており、安心して就職活動を行うことが可能です。

▶ 詳しくは P60 へ



行動力と現場感覚で 新たな道を切り拓く



市町村や企業との連携、ボランティアなどを通じて社会に貢献

本学は、教育と研究を通じて社会に貢献してきました。特に、学生の約7割が群馬県外から集まる全国型の公立大学として65年以上にわたり有為な人材を全国に送り出してきました。同時に、地域に根を張る大学として、高崎市をはじめとする地域社会ときわめて多様な関係を結んでいます。

〔学生ボランティア活動支援室〕

地域では、ボランティア活動に対するニーズがある一方、本学の学生の側にもボランティア活動に参加したいという意欲を持った者がいます。学生ボランティア活動支援室は、このような状況を踏まえ、学生の自主的なボランティア活動の場の選定・マッチングと活動希望学生の教育指導等の支援を行う組織として設置されています。

ボランティア・地域貢献 [一例]



被災地支援の取組み

学生ボランティア活動支援室を中心に学生のボランティア活動を推進しています。2019年には延べ80人以上の学生・教職員が協力して台風19号の被災地支援を行いました。



高崎まつり実行委員のメンバー

高崎まつり実施に向けて実行委員の一員として計画・運営を行いました。活動後、高崎まつり実行委員会から、参加した学生に感謝状をいただきました。

学生ボランティア活動支援室の主な活動内容について

① 学生ボランティア活動に関する情報発信

- 地域や学外団体との連携によりボランティア情報の収集を行い、支援室窓口やホームページを通じて学生への情報発信を行います。

② 学生ボランティア活動の支援・教育

- ボランティア登録した希望学生のマッチングコーディネートを行います。
- ボランティア活動希望学生の保険加入や事前研修を行うとともに、学生ボランティアリーダー育成のための指導、教育を行います。

NPO活動を通じて地域社会の活性化へ貢献

〔cafe あすなろ〕

高崎に文化の風を吹かせた伝説の喫茶店、今から約40年前に存在したクラシック喫茶「あすなろ」を高崎市の協力を得て2013年6月に本学の学生の手によって「cafe あすなろ」として蘇らせました。幅広い世代の笑顔であふれ、ゆっくりとした時間が流れる素敵なカフェです。



「cafe あすなろ」で得るもの

「cafe あすなろ」での活動のすべてが、社会に出て役に立つ実践的な勉強であると考えています。ここでの活動を通じて、大きく成長することを願っています。

イベント企画/広報活動/メニュー開発/地域との関わり

- 多様性を認識し、コミュニケーションのできる学生
- 経済に通じ、地域を見る目を持って、国の内外において活躍できる学生

「cafe あすなろ」の運営

「cafe あすなろ」は学生が中心となって運営していますが、その運営資金は、高崎市および本学からの支援となっています。

高崎市

高崎経済大学(まちなか教育活動センター運営委員会)

店舗会議(大学職員・マネージャー・学生代表)

企画班: イベント企画/イベント運営/広報活動

経営班: メニュー開発/売り上げ分析/人事管理

「cafe あすなろ」の地域貢献

本学の学生は、高崎市や地域の方々へ勉強の場をご提供いただいています。その思いに応えるため、積極的に地域に溶け込み地域の活性化に貢献したいと考えています。

cafe あすなろ

市民団体等への施設貸出・文化発信拠点としての充実・地域イベントへの参加協力・自主イベントの開催・学生の成果発表の「場」

高崎市の活性化のために



知の拠点化推進室長 唐澤 達之 副学長(経済学部 教授)

地域社会で人と出会い、世界が広がる

地域に根差した大学である本学では、学生が地域社会貢献の大きな主体となっています。地域課題を研究するゼミが多だけでなく、高大連携事業では大学生が高校生に教えることを通じて学んでいます。また、「cafe あすなろ」では学生自らが喫茶店経営に関わり、「熱血! 高校生販売甲子園」実行委員会は高校生が企画した商品を高崎中心市街地で販売し競い合う大会を運営しています。さらに、学生ボランティア活動支援室は、学外からのボランティア要請に応えるだけでなく、本学学生の提案したボランティア企画の実現を支援しています。

教室の中だけで学ぶのと違って、地域社会の抱える課題に現場に身を置いて取り組むことで、問題発見力・コミュニケーション力・問題解決力を学生たちが身に付けていきます。地域社会でさまざまな人々と出会い世界が広がる、こうした成長のチャンスが本学には豊富にあります。ぜひ活かしてほしいと思います。

数字で知る TAKAKEI

創立

66 周年

1957年に経済学部経済学科からなる
高崎市立大学として設立。
2023年で66周年を迎える。

学部・学科

2学部 6学科

経済学部 経済学科/経営学科/国際学科
地域政策学部 地域政策学科/地域づくり学科/
観光政策学科

在籍学生数

4,054名

経済学部 2,171名
地域政策学部 1,883名

図書館蔵書数

約 39万冊

海外提携校

16の国と地域 21大学

※2023年3月現在

ゼミナール数

93ゼミ

経済学部/52ゼミ
地域政策学部/41ゼミ

就職率

98.6%

2022年度卒業生実績

民間等 大企業 49.2% 中企業 22.4%
小企業 14.4%
公務員 国・県 1.5% 地・方 12.0%
教員 公立・私立 0.5%

専任教員数

104名

経済学部/58名
地域政策学部/46名

全国
入学試験会場

10カ所

札幌・仙台・高崎
東京・金沢・名古屋
大阪・岡山・高松★・福岡★
★地域政策学部
後期日程を除きます。

CONTENTS

魅力あふれる高崎	P17	キャンパスマップ	P55
学長挨拶	P18	キャンパスカレンダー	P55
沿革 等	P20	高経大生ライフスタイル	P57
		クラブ・サークル / イベント	P68
学部インデックス	P21		
経済学部	P23	就職活動トータルサポート	P58
▶ 経済学科	P25	就職実績	P61
▶ 経営学科	P29	学費・奨学金制度	P63
▶ 国際学科	P33	学生生活支援	P64
地域政策学部	P37	2023年度 入学者選抜実施状況	P65
▶ 地域政策学科	P38	2024年度 特別選抜情報	P66
▶ 地域づくり学科	P43	2024年度 一般選抜情報	P67
▶ 観光政策学科	P47		
海外研修プログラム・支援事業	P51	大学概紹介	P68
充実した英語教育	P53	オープンキャンパス / アクセスマップ	P70
留学生体験記	P54		

高崎

TAKASAKI CITY



高崎駅

駅周辺の再開発により、商業施設やイベント施設が充実し賑わいを見せています。また、マンション開発などの建設ラッシュが続き、さらなる都市化に拍車がかかります。



山ビルクライム



白衣大観音

春にはソメイヨシノや山桜、八重桜など、3000本の桜が楽しめます。

上越・北陸新幹線

高崎駅は上越新幹線と北陸新幹線の分岐点となっており、都内へのアクセスも良好。また、北陸、甲信越へも行きやすくなっています。



歴史・文化・自然が融合する魅力あふれる街

クラブ、サークル、ボランティア活動など、勉強のほかにも

学生たちの活動は盛んです。雄大な上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)に囲まれた豊かな自然環境と、交通アクセスにも優れている高崎市には、学生たちの興味・関心を引くテーマやチャンスがたくさんあります。

自主性を重んじる校風のもと、さまざまな活動にチャレンジしてみませんか。



高崎だるま*

上野三碑



金井沢碑

多胡碑

山上碑

名物ご当地グルメ!



焼きまんじゅう

首都圏と上信越、そして世界を結ぶハブ都市 高崎

高崎市は本州の中央に位置し、首都圏、上信越、北陸を結ぶ内陸交通のハブ都市です。新幹線を利用すれば東京まで50分という高い交通利便性は、皆さんが大学生活を送る上でも、大きなアドバンテージとなるでしょう。また、主要国際空港へのアクセスも2時間を切るの、海外渡航も身近です。

高い交通利便性を背景とした都市機能の集積は、高崎市の発展に寄与しています。たとえば、全国規模の大手企業が支店や営業所を高崎市内に配置するなど、高崎市は北関東から信越を管轄するビジネスの拠点に選ばれています。その結果、高崎市の商業売上額は全国15位、中核市では1位を誇っています*。

*経済センサス

主な都市から高崎までの所用時間

東京から新幹線で
約50分



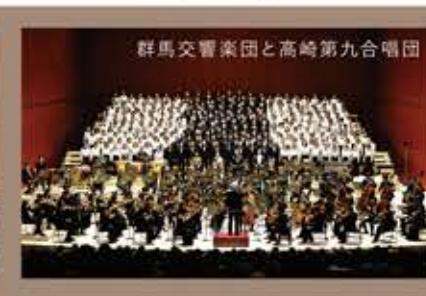
- 鉄道利用の場合
- 東京都心から 約50分
 - 羽田空港から 約80分
 - 成田空港から 約90分
- 高速道路利用の場合
- 東京都心から 約60分
 - 羽田空港から 約120分
 - 成田空港から 約120分



高崎芸術劇場



高崎アリーナ



群馬交響楽団と高崎第九合唱団

農Tube 高崎

農Tube 高崎

農業初心者のおみ〜みゆうがゼロから農業に取り組みでいく農業系チャンネルです。群馬県高崎市の農業の魅力を発信しています。

絶メシリスト



絶やしてしまうには惜しすぎる絶品グルメ「絶メシ」を紹介する高崎市ローカルグルメサイト



地域政策学部 地域づくり学科
友岡 邦之 教授
(社会学、文化政策研究)

市民と行政が文化を創る街、高崎

高崎市はだるまの生産量日本一を誇る伝統文化が根づく街ですが、同時に「音楽のある街」という別の顔があります。これは高崎市が、日本で3番目に古い地方オーケストラの雄「群馬交響楽団」を生んだ街であることを根拠としています。1945年の終戦直後に「高崎市民オーケストラ」の名で誕生し、市民有志に支えられて育っていったのが群馬交響楽団(群響)です。またこの群響の活動拠点として、今も市街地に存在する「群馬音楽センター」の建設が決まった際にも、建設費の一部をまかなうために市内全世帯から寄付を募る運動が起きました。

このように、高崎市には市民自らが文化を創り支える気風があります。これは音楽についてだけではなく、30年以上の歴史を持ち、授賞式には著名な映画監督や俳優も登壇する「高崎映画祭」も、市民有志が立ち上げ、支えてきました。今では彼らは、まちなかで2つの映画館を運営するだけでなく、作品プロデュース業も行う存在になっています。

行政も負けていません。近年では「高崎芸術劇場」という新しい文化ホールをオープンさせただけでなく、「TAGO STUDIO TAKASAKI」という音楽スタジオとレーベルを立ち上げ、高崎発のサウンドの創造を行うようになりました。このように市民と行政が果敢に新しい文化の創造に取り組んでいるのが、私たちの街、高崎です。



学長からのメッセージ
**持続可能な
 社会を目指して**
 学長 水口 剛

Future Maker [=未来を創る人] になろう

今、私たちは時代の分かれ道にいます。一方の道の先には地球温暖化が加速して異常気象が頻発したり、持てる者と持たざる者の対立が激化したりする未来が、もう一方の道の先には社会が分断を克服し、地球の環境容量の範囲内で豊かに暮らす未来が待っています。後者の未来が「持続可能な社会」です。その道に進むには、少子高齢化や疲弊する地域社会という課題を克服し、脱炭素化やデジタルトランスフォーメーションに伴う産業構造の大転換を乗り越えなければなりません。皆さんはこの混沌とした時代に社会に出ることになります。当然、その中で生き抜く力をつける必要があります。その際、変化する環境に単に受動的に適應するだけでなく、皆さん自身がより良い未来を創り出す「Future Maker」であってほしいと思います。どちらの未来が実現するかは、結局は私たち一人ひとりの行動次第だからです。高崎経済大学は皆さんがそのような人材に育つ機会にあふれています。

地域に根ざし、世界を視野に

本学は1957年に高崎市が設立した公立大学です。経済学部経済学科からスタートし、後に経営学科を設置。1996年には日本で最初の地域政策学部を設立し、地域政策研究という新しい領域を開拓しました。2011年には公立大学法人へと移行し、60周年を迎えた2017年には、社会・経済のグローバル化に対応する教育を拡充するために、経済学部国際学科を新設しました。その結果現在では2学部6学科体制となり、多様で充実したカリキュラムを備えています。中でも少人数のゼミナールを必修とし、教員と学生や、学生同士で積極的に議論したり、地域社会の実態を直接学んだりしています。また、長期・短期の海外語学研修や海外フィールドワークを推進し、そのための助成金を支給する海外研修支援事業により、毎年多くの学生が参加してきました。コロナ禍で一時的に中断されましたが、昨年後期から完全に復活し、コロナ前の水準に戻りつつあります。

多様な出会いを生む全国型公立大学

これらの教育活動に加え、学生の自主的活動が盛んなのも本学の特色です。本学は北海道から沖縄まで全国から学生が集まる全国型公立大学です。アジアからの留学生も多く、多様な出会いの機会があります。多くの学生が実家を離れて高崎で暮らしているため、部活動やサークル、ボランティア活動など多様な活動に打ち込んでいます。このような出会いと経験こそ、皆さんを人間的に成長させ、一生の財産となることでしょう。

大学の目的

学術研究の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、真理と平和を希求する人間の育成を図り、学理とその応用を究究し、国の内外と地域の向上発展に貢献することを目的とする。

大学の学生育成目標

- 1 多様性を認識し、コミュニケーションのできる学生の育成
- 2 限りなき探究心で明日を切り拓くことのできる学生の育成
- 3 経済を通じ、地域を見る目を持って、国の内外において活躍できる学生の育成
- 4 いつでも、どこでも主体的に学び、学ぶ喜びを生産持続できる学生の育成

大学の卒業認定・学位授与の方針

本学に所定の期間在学し、大学・学部の教育目的に沿って開設された授業科目を履修し、所定の単位数を修得した者に学位を授与する。卒業後は、本学での「学びへの誇り」を持って社会貢献できる人材となる。

大学の教育課程編成・実施の方針

学部・学科に開設する教養及び専門科目と演習を、4年間にわたり体系的に履修することにより、学部・学科の教育目的が達成され、「学びへの憧れ」が「学びへの誇り」へと変わる教育課程編成をし、「学ぶ喜び」を醸成する。

大学の入学者受入れの方針

基礎的な学力を十分に備え、本学の目的及び学生育成目標に共感し、学部の目的と教育内容に魅力を感じ、明確な目的意識と「学びへの憧れ」を持ち、主体的に学ぶことのできる人を受け入れる。

文部科学省 各種事業採択実績

《2010年度》

- 全学 「学校種を超えた連携による高度アグリビジネス人材育成プロジェクト」 (「専門人材の基盤的教育推進プログラム」)
- 全学 「産学協働による次世代地域リーダー人材育成-学生自らが学び成長する仕組みの構築と実践をとおした自律型人材育成プロジェクト-」 (「大学生の就業力育成支援事業」)
- 全学 「学校種の枠を超えた連携による高度アグリビジネス人材育成プロジェクト」 (「産学連携による実践型人材育成事業」)

《2011年度》

- 全学 「産学連携による高度アグリビジネス人材育成プロジェクト」 (文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」)

《2012年度》

- 全学 「食・農林水産業の成長を牽引する中核的専門人材育成」 (文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」)

《2013年度》

- 全学 「食・農林水産業のイノベーションを担う中核的専門人材育成プロジェクト」 (文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」)

《2014年度》

- 全学 「農業分野における中核的専門人材養成システムの実証と発展」 (文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」)

高崎経済大学の歴史

1957	1961	1964	1967	1968	1969	1990	2000	2002	2003	2004	2006	2011	2017	2023
昭和32年	昭和36年	昭和39年	昭和62年	平成3年	平成8年	平成12年	平成14年	平成15年	平成16年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	令和5年

- 高崎市立高崎経済大学開学(経済学部経済学科)
- 現キャンパスに移転
- 経済学部経営学科設置
- 開学30周年記念 彫刻「独歩」設置
- 図書館完成
- 地域政策学部地域政策学科設置
- 大学院地域政策研究科(修士課程)設置
- 大学院地域政策研究科(修士後期課程)設置
- 大学院経済経営研究科(修士課程)設置
- 地域政策学部地域づくり学科設置
- 大学院経済経営研究科(博士後期課程)設置
- 地域政策学部観光政策学科設置
- 公立大学法人高崎経済大学へ移行
- 地域政策学部20周年
- 創立60周年
- 経済学部国際学科設置
- 現在



開学当初(1957年)



移転当時のキャンパス(1961年)



彫刻「独歩」(1987年)



図書館(1991年)

目指す
未来へ
むけて...

2学部6学科の選択肢ある教育で
可能性のある未来を拓く

学部INDEX

経済学部

65年の伝統をもち、国内大学の中でも有数の歴史を誇る経済学部

高度な専門知識と幅広い教養を備えた実践力の高い人材育成を目指す

2024年度 入学者 選抜区分	前期日程	公立大学中期日程	
	学校推薦型選抜		
	私費外国人留学生	社会人	帰国生徒

入試詳細はP66~P68へ

2024年度 入学定員	2024年度 入学定員	480名	専任教員数	58名
	経済学部 在籍学生数	2,171名	ゼミナール数	52ゼミ
	◆ 経済学科	640名		
	◆ 経営学科	724名		
	◆ 国際学科	250名		
	学科選択前	557名		

1年次生は、いずれの学科にも所属していません。学科選択は1年次後期に行い、2年次に進級するときに決定します。
※2023年度現在

経済学科

学科の特徴

今日の社会・経済的な重要問題についてよりの確に理解するための知識を系統的に修得し、内外の経済社会において第一線で活動できる人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格

- ◆教育職員免許状(教職課程)
- ・中学校教諭第一種免許状(社会)
- ・高等学校教諭第一種免許状(地理歴史)
- ・高等学校教諭第一種免許状(公民)

P.25~

経営学科

学科の特徴

多角的な視点から、企業が持続的かつ長期的に存続・成長するための経営について探究し、さまざまな組織において自律的に問題解決を行える人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格

- ◆教育職員免許状(教職課程)
- ・高等学校教諭第一種免許状(商業)

P.29~

国際学科

学科の特徴

英語や国際系科目などのグローバル教育と経済・経営のエキスパート教育を融合し、グローバル化する社会の課題に主体的に取り組むことができる「グローバル・エキスパート」の育成を目指します。

P.33~

※教育職員免許状を取得すると児童指導員の任用資格も取得できます。

地域政策学部

地方分権時代の到来を受け、全国で最初に設立された地域政策学部

活力のある地域社会を担う「地域リーダー」の育成を目指す

2024年度 入学者 選抜区分	前期日程	後期日程	
	学校推薦型選抜 I	学校推薦型選抜 II	
	私費外国人留学生	社会人	帰国生徒

入試詳細はP66~P68へ

2024年度 入学定員	2024年度 入学定員	450名*	専任教員数	46名
	地域政策学部 在籍学生数	1,883名	ゼミナール数	41ゼミ
	◆ 地域政策学科	528名		
	◆ 地域づくり学科	532名		
	◆ 観光政策学科	374名		
	学科選択前	449名		

1年次生は、いずれの学科にも所属していません。学科選択は1年次後期に行い、2年次に進級するときに決定します。
※2023年度現在

地域政策学科

学科の特徴

国内外の地方分権や地域政策に関する高い専門知識と政策立案能力を有し、都市と農村等の地域振興を中心的に担う人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格

- ◆教育職員免許状(教職課程)
- ・中学校教諭第一種免許状(社会)
- ・高等学校教諭第一種免許状(公民)
- ◆学芸員
- ◆社会福祉主事(任用資格)
- ◆社会教育主事(任用資格)

P.39~

地域づくり学科

学科の特徴

国内外の地方分権や地域づくりに関する高い専門知識を有し、地域社会における文化を活用することにより、住民参加に基づく地域づくりに寄与する人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格

- ◆教育職員免許状(教職課程)
- ・高等学校教諭第一種免許状(公民)
- ◆学芸員
- ◆社会福祉主事(任用資格)
- ◆社会教育主事(任用資格)

P.43~

観光政策学科

学科の特徴

国内外の観光に関する高い専門知識を有し、地域社会における観光資源を活用することにより、地域開発及び観光経営を中心的に担う企画・立案能力に優れた人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格

- ◆教育職員免許状(教職課程)
- ・高等学校教諭第一種免許状(地理歴史)
- ◆学芸員
- ◆社会福祉主事(任用資格)
- ◆社会教育主事(任用資格)

P.47~

※教育職員免許状を取得すると児童指導員の任用資格も取得できます。

経済学部

Faculty of Economics

より豊かな社会に向けて、経済・経営について学ぶ

変化する世界経済と創造的能力で渡り合う

経済学部長 梅島 修 教授

世界はコロナ禍の行動制限から脱出し、国際経済が大きく動き始めました。コロナ禍によりデジタル経済の進化が加速した一方、ロシアのウクライナ侵攻や米中対立、環境保護や人権尊重の要請の高まりに対応する新たな国際的な枠組みの模索が続けられており、企業は投資から、生産、調達、物流、販売までサプライチェーン全体の見直しを迫られています。

このような激しい変化の時代にあっては、過去の知見に頼るのみでは不十分です。それだけであればAIが即座に示してくれるでしょう。今後を生きる皆さんには、これまで先輩が培ってきた経済理論や経営分析を自分のものとし、経験したことのない状況において新たな方向性を生み出す創造的な能力が要求されます。そのためには、まず経済や経営の基本的構造を会得し、それらを使うための語学力を身に付け、実践することです。本学は、講義とゼミを両輪として、さらに海外研修の機会を豊富に用意しています。皆さんと共に将来展望を開いてゆきます。さあ、一緒に学びましょう。



学部の入学受入れの方針

経済学部では、「教育課程編成・実施の方針」にもとづく教育を実施することを通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げた人材を育成するため、以下のような資質を備えたひとを積極的に受け入れる。

- 1 高等学校までの以下の学習の内容をきちんと身につけているひと
 - (1)日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - (2)英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - (3)数理的手法を身につけるために必要な数学の知識・技能
 - (4)人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
- 2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができるひと
- 3 経済、経営および国際関係に強い興味・関心があり、主体的な態度で学習に取り組むことができるひと
- 4 多様な価値観および意見を尊重し、他者と協力しながら学習や課外活動に取り組むことができるひと

学部の卒業認定・学位授与の方針

経済学部は一般教養科目、言語系科目および数理系科目、経済、経営および国際の3学科に設置された専門科目、演習の修得を通じて以下に掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を身につけると同時に、所定の単位数を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解】

【一般教養および隣接分野】

- 1 人文学、社会科学、数理系科学など幅広い学問領域の知識を身につけることで、経済、経営および国際の各学科の専門科目をより深く理解している。
- 2 人文学、社会科学、数理系科学に関わる特定の学問領域を深く学び、より高度な知識を身につけることで、社会とそれを構成する制度や人の営みをより深く理解している。

【態度・志向】

- 1 さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学習する。
- 2 積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協調する。
- 3 倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。

【汎用的技能】

- 1 課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。
- 2 論理的かつ批判的な思考ができる。
- 3 数理的手法と情報通信技術を活用できる。
- 4 多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

学部の教育課程編成・実施の方針

経済学部では、学生に「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を修得し、さまざまな組織で自律的に課題を発見し、解決策を提案できる人材を育成するため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

- 1 経済あるいは経営に関する専門知識を有し、それを基盤に経済社会や国際社会で能動的・主体的に活動できる人材を育成するため、経済学、経営学および国際関係に関連する領域の科目を幅広く配置する。
- 2 他者との円滑なコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した科目を配置する。
- 3 英語を用いたコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、習熟度に応じた少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した英語科目を配置する。
- 4 英語をはじめ諸言語を使用するひととのコミュニケーションに必要な語学力を高めるため、習熟度に応じて学生が選択できる複数の外国語科目を配置する。
- 5 数理的手法と情報通信技術の活用に必要な知識および技能を身につけるため、習熟度に応じて学生が選択できる科目を配置する。
- 6 さまざまな学問領域の知識に触れることを通じて、自己および自分とは異なる社会や文化などを理解するとともに、能動的かつ継続的な学習を促すため、教養を涵蓋する科目を配置する。
- 7 経済学、経営学および国際関係を中心に特定の学問領域の知識を深く理解するとともに、論理的かつ批判的な思考に基づいた課題を設定したうえで解決策の提案を行い、積極的なコミュニケーションを通じて他者と協調する方法を見出すため、グループワークや双方向の対話を重視した少人数編成の専門科目を設置する。
- 8 学修成果の評価に関しては、学部における成績評価の基準を定め、各科目の達成目標に基づいて評価する。

経済の仕組み

たとえば普段着るもの、食べるもの、住むところ、すべて誰かがどこから原材料を運んできて、誰かがつくり、誰かが売っています。多くの人が仕事をもち、収入を得て、税金を納め、そのお金で政府がさまざまな活動をします。金利や為替レートが変われば、景気が良くなったり、悪くなったりします。こういったことすべてが「経済」です。経済の仕組みを学ぶとは、これらが互いにどのように関連し、どうしたらうまくいくのかを考えるということです。

経営の方法

有名な大企業から地元の中小企業まで、実際の経済は多くの企業が互いに協力したり、競争したりすることで成り立っています。どんな製品やサービスをどんな地域で売るのが、どういう相手と協力し、ライバル企業とどうやって競争するのか。どうしたら社員の力を引き出せるのか。そのやり方次第で、同じような分野の企業でも、うまくいったり、いかなかったりします。これらのことを学ぶのが、経営の方法を学ぶということです。

国際社会の渡り方

国際社会で活躍するためには何が必要でしょうか。語学力のほか、特定の視点、低価値に偏らない幅広い教養でしょうか。しかし、実際に国際的にビジネスや学術活動をおこなってみると、それだけでは不十分なことに気がつきます。これらのスキルは、国際社会で活動している人は当然持っているからです。国際社会で自分の特徴を打ち出して活躍するためには、他人にはない専門的な知識・スキルを持つスペシャリストであることが重要なのです。

骨太な柱を維持しながら、時代の要請に応えるユニークなカリキュラム

POINT 1 充実の教養教育科目

専門教育科目を勉強する上でも、また社会に出たときにも、大切なのは幅広い教養を積み上げておくこと。経済学部のカリキュラムでは、1年次に少人数クラスで文章の読み方と書き方(日本語リテラシー)をしっかりと学び、その後の学修のために数学の基礎固めもします。外国語科目は、英語力を強化するとともに、他の言語も修得できるように、豊富なメニューを用意しています。さらに、経済学以外にもさまざまな一般教養科目を学ぶことができます。

POINT 2 専門教育科目の学びやすさ

専門教育科目は、1年次必修科目の「市場と経済」「企業と会計」で経済学と経営学の土台を学んだ後、2年次から経済学科、経営学科、国際学科に分かれて本格的に勉強します。カリキュラムは、学生自身が関心を抱いたテーマについて、基礎から応用へと発展的に学んでいく道筋がわかるように設計されています。また、社会人講師によるリレー講義もあり、現実の社会の動きにも触れることができます。

POINT 3 必修のゼミナール

経済学部における学びの中心は、2年次後期から卒業までの2年半にわたる必修科目の「ゼミナール(演習)」です。ゼミナールとは、1人の教員の指導のもと少人数クラスで専門分野を深く学ぶ仕組みで、講義形式の授業とは異なり、「研究テーマの設定→調査→報告→議論→新たなテーマの発見」を繰り返す問題発見・解決型の授業です。ゼミナールには、「人と人が交わり新しいものを生み出す」という大学教育の醍醐味があります。また、学生の多様な興味関心に対応できるよう、指導教員が充実しています。

POINT 4 卒業後の将来のために

教養教育科目で身につける言語運用力・数理的思考力・国際的な教養、そして、専門教育科目で学ぶ経済の仕組みや企業経営に関する専門的な知識。さらに、必修科目のゼミナールで培う問題発見力・解決力・プレゼンテーション力、4年間のカリキュラムを通じこれらの力を育むことで、卒業後の業界や企業、進路を見極めることができるようになります。また、多くの卒業生がさまざまな分野で活躍しています。

全学科共通 教養教育科目

日本語リテラシー科目	●日本語リテラシー
外国語科目	●General English ●Business English 【留学生】 ●大学生生活のための日本語 ●専門聴解 ●日本事情 ●文章表現 ●専門読解 ●口頭表現
言語系科目	●Oral Communication ●Advanced Oral Communication ●English Language and Culture ●Grammar ●Writing ●Reading ●Listening ●Discussion ●Advanced Discussion ●English for Academic Purposes ●TOEIC Basic ●TOEIC Intermediate ●TOEFL ●日本語リテラシー上級 ●日本語古典研究 ●中国古典研究 【留学生】 ●ビジネス日本語
数理系科目	●ドイツ語 ●フランス語 ●中国語 ●ハンガール ●スペイン語 ●イタリア語 ●アラビア語の世界 ●ドイツ語文献講読 ●フランス語文献講読 ●中国語文献講読 ●西洋古典語の世界 ●ハンガール文献講読 ●スペイン語文献講読
一般教養科目	●基礎数学 ●微積分 ●線形代数 ●確率・統計入門 ●データ分析入門 ●多変量データの分析 ●論理学 ●社会調査法 ●論理的思考 ●哲学 ●倫理学 ●近代思想 ●科学哲学 ●教育心理学 ●心理学 ●社会学 ●ジェンダー論 ●法学 ●日本国憲法 ●国際法 ●政治学 ●日本政治 ●国際関係論 ●西洋史 ●東洋史 ●中国文化論 ●イスラム文化論 ●宗教学 ●人類学 ●人文地理学 ●自然地理学 ●世界地誌 ●日本地誌 ●日本史(古代～近世) ●日本史(近現代) ●宇宙と地球 ●生態系と環境 ●生命科学 ●医療と健康 ●技術とものづくり ●美学 ●地理学 ●ファイナンス・リテラシー ●キャリア・デザイン ●学術研究入門
総合科目	●コンピュータリテラシー ●Readings on Economics / Management ●Language Learner Development ●スポーツ科学 ●海外語学研修(英語) ●海外語学研修(中国語) ●特別講義「世界と日本の未来を考える」 ●データサイエンス入門

経済学科

経済に関する幅広い知識を修得し、
将来、経済社会の第一線で
活動できる人材を育成する

経済学とは、人々の経済生活に関わる現実・制度・政策などが個人または社会に対してどのような意味や影響をもつのかを、歴史的な事実(または現実)と一貫した論理(または数学的手法)によって明らかにする社会科学です。そこでは、多様な経済システムについて、それぞれに特徴的な仕組みや構造、そして運動のあり方が、理論的かつ実証的に分析、説明されます。

経済学科では、経済に関する具体的な状況などを取り扱う科目を、全体のバランスを考慮して配置しています。専門的な科目でも1年次から受講できる科目もあります。2年次後期からはゼミナール(演習)を「必修」とし、少人数で専門領域の学習を深めていきます。また、企業や社会の最新情報を提供するため、経験豊かで高い知見を有する多様な社会人講師による「リレー講義」を毎年開講しています。こうして、全国さらには海外から集まる多様な学生の学習意欲に応えるカリキュラムを、段階的かつ体系的に整備しています。

経済学科では、このようなカリキュラムを通じて、為替レートの変動やエネルギー資源価格の高騰、少子高齢化や社会保障制度の課題、巨額の財政赤字や自由貿易協定の締結など、今日の社会・経済的な重要問題についてより的確に理解するための視点や能力が身に付きます。経済全般に関する生きた知識を修得し、ゼミ活動を通じて実践力を高めれば、自分自身の進路を主体的に切り拓くことができます。



学科の卒業認定・学位授与の方針

【知識・理解】

- 1 経済の制度・歴史・政策などについて基本的な知識を有し、考察対象となる経済社会の背景などを理解できる。
- 2 経済学の理論・分析手法などについて体系的に理解し、経済社会の諸問題に対して応用できる。

【態度・志向】

- 1 さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学習する。
- 2 積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協調する。
- 3 倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。

【汎用的技能】

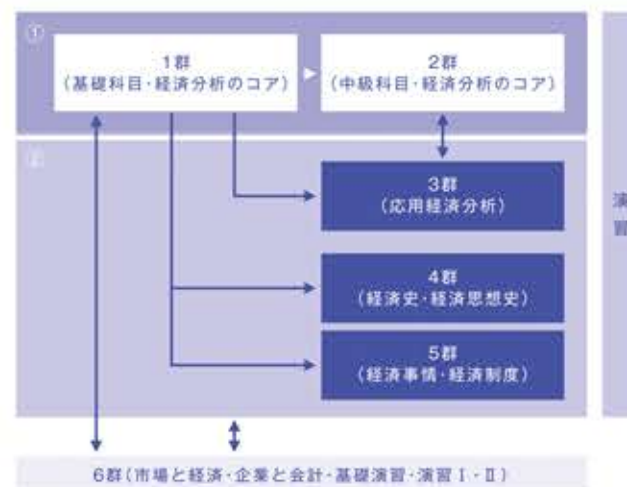
- 1 課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。
- 2 論理的かつ批判的な思考ができる。
- 3 数的手法と情報通信技術を活用できる。
- 4 多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

学科の教育課程編成・実施の方針

経済学科では、経済社会に関する幅広い知識と、経済学を中心とした領域の専門知識を体系的に修得するため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

- 1 考察対象となる経済社会の背景をふまえて諸問題の分析ができるようになるため、経済の制度・歴史・政策、および経済学の理論・分析手法などに関連する領域の科目を幅広く提供し、それらを学問特性に応じた科目群に編成する。
- 2 経済学の理論や分析手法の体系的な修得を実現するため、経済学のコアとなる科目については基礎から中級または応用へと段階的に学修できるように配置する。

経済学科専門科目の群配当と位置付け



①経済学的な考え方・分析手法を身につける ②特定の経済分野についての理解と関心を深める

- 1群 基礎科目**
1群に配置された科目は経済分析を行うための核(コア)となる初級科目や、社会経済の制度的な背景を学ぶ基礎科目です。これらの科目を履修したのち、2群の中級科目や3~5群の応用分析科目分野に進むことが望ましいです。
- 2群 経済理論**
1群の初級科目で経済理論の基礎を学んだら、2群で中級レベルの理論科目の修得を目指しましょう。2群には、1群で身に付けた経済分析のスキルをさらに高める科目が配置されています。また、2年次から履修可能な1群科目を並行して学習することで、3群の応用科目をより深く理解することが可能となります。
- 3群 応用経済分析**
3群には、1群ならびに2群で身に付けた経済分析を現実の経済問題に応用する科目を配置しており、財政学・金融論・経済統計は2年次から履修が可能です。経済学科の学生は3群科目を履修してはじめて、1群・2群科目の学修を通じて自身の社会を見る目がどのように変わったかを実感するでしょう。
- 4群 経済史・経済思想史**
4群は経済社会の歴史と経済思想、経済学史などを学ぶことのできる科目で構成されています。
- 5群 経済事情・経済制度**
5群にはさまざまな応用領域について考察する科目が配置されています。これらの科目は1・2群の経済分析や4群の歴史・思想分野と比較してより具体的な時事経済を扱う傾向が強く、現実経済への理解や関心を促す科目であるといえます。

経済学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群 基礎科目		●統計学 ●経済学入門 ●現代経済入門		
2群 経済理論		●初級マクロ経済学 ●初級ミクロ経済学 ●ゲーム理論 ●経済学方法論 ●情報の経済学 ●経済学特講		
3群 応用経済分析			●中級マクロ経済学 ●中級ミクロ経済学 ●経済成長論 ●計量経済学 ●経済学 ●厚生経済学 ●産業組織論 ●数理統計学 ●経済統計 ●金融論 ●財政学	
4群 経済史・経済思想史			●応用計量経済学 ●国際経済学 ●環境経済学 ●国際金融論 ●公共経済学 ●経済政策論 ●労働経済学 ●都市経済学	
5群 経済事情・経済制度			●経済史概論 ●日本近世経済史 ●日本近代経済史 ●西洋経済史 ●アジア経済史 ●日本史特講 ●世界史特講 ●社会経済学 ●日本経済思想史 ●社会思想 ●日本中世農史 ●日本近世農史 ●現代資本主義論 ●現代経済思想 ●経済学史 ●世界経済論 ●行政法 ●日本経済論 ●社会政策論 ●社会学特講 ●経済地理学 ●経済システム論 ●中国経済論 ●アジア経済論 ●開発経済論 ●農業経済論 ●中小企業論 ●地域経済論 ●社会保障原理 ●社会保障制度論 ●地域の金融と経済 ●特別講義(経済学) ●経済法 ●地方財政論 ●近代経済学	
6群 必修	●市場と経済 ●企業と会計	●基礎演習		●演習

専任教員一覧

伊藤 宣広 教授	経済学史、現代経済学、経済学方法論	天羽 正継 准教授	財政学、地方財政論、財政金融史	中野 正裕 准教授	貨幣・金融経済論
岡村 晃子 教授	応用言語学	石原 康博 准教授	ベイズ統計学、計量経済学、計量ファイナンス	夏岡 佐宜 准教授	英語教育、第二言語習得
清澤 達之 教授	西洋経済史、イギリス社会経済史、イギリス都市史	坂垣 智洋 准教授	多元價の表現論	西川 静華 准教授	応用ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論
富澤 一弘 教授	経済学史、歴史学	内山 知一 准教授	教科教育学	藤原 昌彦 准教授	産業組織論
名和 賢美 教授	アモクラシー論	大石 恵 准教授	台湾経済史、台湾の航空政策	宮田 康一 准教授	数理統計学
森 祐司 教授	金融論	岡田 知之 准教授	経済成長論	塩澤 清平 講師	ミクロ経済学、顯示偏好分析
矢野 修一 教授	世界経済論、開発経済論、経済思想	小林 徹 准教授	労働経済学、応用ミクロ計量経済学	高橋 洋 講師	空間経済学、空間計量経済学、地方財政学、公共経済学
山崎 麗里 教授	位相空間論	谷川 卓 准教授	哲学		
山本 芳弘 教授	環境経済学	中野 敬 准教授	経済理論史		

STUDENT'S VOICE

自分の興味に応じて選択できる科目が多く、
時間割を組むことが楽しいです

当初は公務員志望だったため、公務員試験に必要なミクロ経済学やマクロ経済学を主に学べる本学科を選びました。ミクロ・マクロ経済学や統計学などの、計算が絡む科目が多いのが経済学科の特徴です。自分の場合はゼミでもマクロ経済学を学んでおり、グラフや計算を通して国や経済がどのような状態であるかを理解することに、深い面白さを感じます。学んでいる中で将来の目標に実感が生じ、現在は、金融系に進むことを考えて就職活動をしようと思っています。



4年 長野県 長野市立高等学校 出身
上田 拓実

経済学科 教員・ゼミナール紹介

データ分析の知識とともに、
プレゼンテーションに関する
種々の力も身に付きます



経済学部 准教授
石原 庸博 ゼミ

教員研究テーマ
統計学・計量経済学を用いたデータ分析
の手法の開発についての研究

担当科目
計量経済学Ⅰ/Ⅱ、経済統計、
データ分析入門、基礎演習、演習Ⅰ/Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野
統計学・計量経済学・機械学習などのアプローチによりデータ分析について学ぶ

経済学的手法を用いて
分析すると、世の中の
解像度がグッと高まります



経済学部 准教授
西川 静華 ゼミ

教員研究テーマ
応用マイクロ経済学
公共財の自発的供給ゲーム

担当科目
初級マイクロ経済学Ⅰ/Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ、
基礎演習、演習Ⅰ/Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野
マイクロ経済学、ゲーム理論

さまざまな物事に幅広くアプローチが可能

本ゼミではデータ分析を扱います。分析の手法としては、直線などの方程式、指数・対数やベクトルや数列を使って、現象を表現するモデル(模型)を考え、その中のパラメータを推定します。分析を進める中では微積分や統計学の知識が必要ですが、計算そのものは手ではなく統計ソフトで行います。

ゼミでは、教科書を読んで授業形式で各自発表します。分析手法とプログラムを勉強したあとで、卒業研究では、自分の興味のある現象に対して仮説をつくり、データを集め、実証をします。

特定の分野ではなく、幅広い物事を対象にできるアプローチ手法なので、学生それぞれの関心事に合わせた研究を行うことができます。



教科書で学び、実習し、プレゼンテーション能力も磨く

自分でデータ分析ができるようになることが望ましいですが、将来的に自らデータ分析を扱わない場合にも、分からないことがあった際に自分で調べたり、専門の人に適切に質問ができるような力を身に付けてほしいと考えています。

そのために、2~3年次を通して、教科書での学習と、そこで学んだ方法をExcelやデータ分析用プログラム言語「R」によって行う方法を学びます。ゼミでは折々プレゼンテーションを行い、資料の作成やプレゼンテーションの方法も学んでいきます。

教員からのメッセージ

本学は全国から学生が集まっていますし、学習にも大学生活にも集中できる、環境の良い大学だと思います。私たちが学生が楽しく学べるような環境づくりを頑張っていますので、ぜひ一緒に学びましょう！

STUDENT'S VOICE

将来はIT関連の分野に進みたいと考えています

Pythonなどのプログラミング言語に触れたことがあり、もともと数学に興味があって1年次に微積分や線形代数、統計学を履修していたため、本ゼミの内容に興味を覚えました。講義で学んだ数学の知識がゼミでの研究に活かせ、とても面白いと感じています。プログラミング言語「R」を使ったり、エクセルで関数計算を行いそこから導き出した値が出たり、グラフを導出したりと、いずれも興味深いです。

自分たちがゼミの1期生ということもあり、人数が少ないため輪談をする回数も多く、必然的にパワーポイントの資料を作成する回数も多くなっています。学ぶ機会が多いことは成長に直結するのだと実感しています。

福島県立福島高等学校出身 阿崎 海斗 ゼミ生(3年)



経済学的見方は身近な事柄への理解を深め、視野を広げる

本ゼミは、身近な事柄をマイクロ経済学やゲーム理論の手法を用いて分析するゼミです。トピックは何でも構いません。ゼミ生たちは常にアンテナを張って興味深いトピックを見つけてきてくれます。例えば、「何で世界中で人気のあのゲームは日本から買えないんだろう?」「推しのコンサートに行くためにホテルの予約をしようとしたらものすごく高いけど、どうして?」など、毎年面白い卒業テーマが挙げられます。

身近なことの理解に経済学的手法を用いると、世の中の解像度が高まるとともに、世の中を捉える新たな視点を得ることになります。



ゼミでの指導においては、学生たちの自発性を大切に

2年次は、まず基礎固めとしてマイクロ経済学の教科書を輪読します。基礎がなければ分析も議論もできず、共有知識がないとグループ研究ができません。この輪読で、文献の内容をまとめて分かりやすく発表する方法も身に付けます。読む教科書は学生たちに選んでもらいます。

3年次は、専門分野の教科書の輪読と、グループ研究をします。グループ研究は、一つの業界を選んで現状や問題点を分析し、将来を予測したり、提案を行ったりします。業界にこだわらずに、ジェンダー格差などのテーマを選んで解決方法を探ることもします。分析手法としてマイクロ経済学やゲーム理論を積極的に使い、試行錯誤しつつ、自ら研究を進めます。ここでの経験が4年次の卒業論文に活かされます。

教員からのメッセージ

高崎経済大学では、アットホームな環境でのびのびと自分の好きなことをすることができますよ！先生方も、向上心のある学生をあたたく後押しする先生ばかりです！

STUDENT'S VOICE

経済記事を読んだとき「企業の意図」が理解できるようになりました

本ゼミでは、現実世界に存在する題材を、特に行動経済学やゲーム理論を活用して議論します。過去の事例や研究を、「現代だったらどうか」「自分たちならどうか」といった、今を生きる自分たち自身の感性と照合して考えていきます。ゼミのテーマは自分たちで発案でき、教え方の巧みな西川先生に導かれ、ゼミ仲間と共に研究を楽しんでいます。

ゼミでの学びを通して、「経済学はあくまで仮定に基づく理論である」という前提を常に意識するようになりました。経済学には、現実と即さない理論や感性に反した事例が多々存在しますが、それらを理解し、他者にも説明できるようになることは、マイクロ経済の活用に非常に有意義だと感じます。

宮城県仙台第一高等学校出身 井上 克将 ゼミ生(4年)



経営学科

ビジネスに必要な広範囲の知識を有し、
特定の分野を深く研鑽した上で、
自律的に問題解決を行える人材を育成する

経営学とは、経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)をうまく活用することによって、企業を中心としたさまざまな組織を効率的に運営し、最大の成果を得るための方法を体系化した学問です。企業が持続的かつ長期的に存続・成長するためには、消費者や取引企業、地域住民、政府、株主、金融機関、従業員といった、「ステークホルダー(利害関係者)」との間で共存共栄の関係を構築しなければなりません。本学科では、多角的な視点から企業経営を探究し、自律的に問題解決を行える人材を育成するため、さまざまな科目を用意しています。

【主な分野】

- 企業や経営学の歴史について学ぶ科目分野
- 企業の社会的意義や形態、統治について学ぶ科目分野
- 企業における人材や生産プロセス、情報のマネジメントについて学ぶ科目分野
- 企業の戦略やマーケティング、国際展開について学ぶ科目分野
- 企業の会計や財務について学ぶ科目分野
- 企業のあり方や活動を規定する法律について学ぶ科目分野

経営学科では、以上のような科目分野を体系的かつ専門的に学ぶことができます。それにより、官民という枠にとらわれことなく、「社会人としてビジネスの第一線で活躍できる人物」および「企業の振興に積極的に貢献できる人物」を育成します。



学科の卒業認定・学位授与の方針

【知識・理解】

- 1 経営学の基礎的な知識を学んだうえで、戦略・マーケティング、組織・マネジメント、会計・財務、法律など幅広い学問領域の専門知識を身につけることで、企業をはじめ組織の活動を多面的に理解できる。
- 2 経営学における特定の学問領域を深く学び、より高度な知識を身につけることで、組織の活動に関わる諸問題に対して応用できる。

【態度・志向】

- 1 さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学修する。
- 2 積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協調する。
- 3 倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。

【汎用的技能】

- 1 課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。
- 2 論理的かつ批判的な思考ができる。
- 3 数値的手法と情報通信技術を活用できる。
- 4 多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

STUDENT'S VOICE

1年次に経済・経営の基礎を学び、
その後に学科選択できるのは本学の魅力の一つ

経営学、特にマーケティングに関して学修したいと本学科を選びました。経営の基礎、会計、法など、多面的・多角的に経営学について学べ、充実しています。当初「違う分野の勉強では？」と思っていたことも、学んでみると自分の興味のある分野と結び付いていることがよくあり、学ぶということは本当に面白いと実感します。講義やゼミを通じてマーケティングについて追究しているので、将来はマーケティングの知識が活かせる仕事に就きたいと考えています。



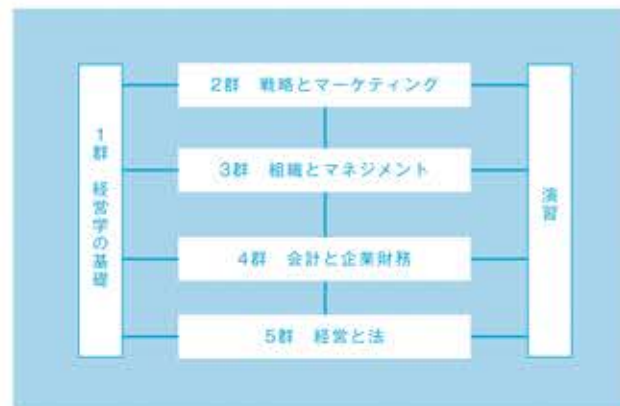
4年
群馬県立
前橋東高等学校 出身
木村 朱里

学科の教育課程編成・実施の方針

経営学科では、社会に必要とされる経営学およびその隣接領域の広範な専門知識を修得し、さらに特定の分野で研鑽を積むため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

- 1 企業のさまざまな活動を理解するために、歴史、戦略・マーケティング、組織・マネジメント、会計・企業財務、および法律などに関連する領域の科目を幅広く提供するとともに、それらを学問特性に応じた科目群に編成する。
- 2 学生が自ら選択した特定領域について深く学修できるように、各群に関連性の強い科目を配置する。

経営学科専門科目の群配当と位置付け



1群 経営学の基礎

2群から5群の基礎的な内容を解説する入門科目を配置しています。

2群 戦略とマーケティング

企業は、競争の中で勝ち抜き利益という成果を生み出すために基本となる方針である戦略「経営戦略」を立てます。長期的な発展を目指して、いかにして市場で自社の製品やサービスの魅力を高めるか、それを明らかにするのが戦略論です。商品やサービスの提供は、マーケティングと密接に関わっています。マーケティングの課題は、消費者への適応にあり、消費者をより深く理解するため、意思決定プロセスや情報処理といった消費者行動、広告をはじめとするコミュニケーションの作用などを分析します。消費者とは、自分自身であるため、マーケティングを学ぶことは、消費する自分自身を考えることにもつながります。

3群 組織とマネジメント

戦略を立て、事業を展開して利益を上げるには、複数人で協力し合う「組織」で行うのが効果的です。組織論は、目標の達成に向けて、どのように組織の力を大きくするかという問いを明らかにします。組織論は、組織の中の個人に着目したミクロ組織論(組織行動論)と、個人ではなく、組織を1つの主体として捉えるマクロ組織論に分類され、組織の力を最大限に発揮させるためにはどのような形態(構造)がよいのか、どのようにマネジメントすべきか、集権/分権のバランスをどのようにとるのか、組織構造のあり方を考えます。組織とマネジメントを考えることは将来の自分自身を考えることにつながります。

4群 会計と企業財務

会計は企業の活動を一定のルールに則って測定・記録・伝達する一連の手続きです。外部の利害関係者に対する情報提供を目的として、経営成績を「決算書財務諸表」という形で公表し、企業の将来予測の参考になる領域である財務会計や、企業が、経営計画を策定し、それに基づく事業活動の成果を分析・評価する際にも使われる領域の管理会計など多岐にわたります。会計と企業財務は、単に「数値」の強い方を学ぶだけでなく、「数値」を生み出す企業活動そのものに目を向けるきっかけとなり、企業活動をより深く理解する道標にもなります。

5群 経営と法

企業は、さまざまなルール「法律」の中で活動しなければなりません。労働時間の取り決め、公共事業の入札、下請企業との契約、有価証券報告書の記載、金融商品の取引(販売)などさまざまな経営行動にわたり、経営と法は切っても切れないつながりを持ちます。法律を守るためには、法律を知らなければなりません。同時に、1人の消費者として、あるいは1人の働くヒトとして、法律を知ることによって自分を守ることもできるのです。

経営学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群 経営学の基礎	●経営学総論 ●経営学史 ●産業史 ●日本産業史 ●戦後日本経営史 ●戦前日本経営史 ●外国経営史 ●企業論 ●マーケティング入門 ●経営管理論 ●経営統計 ●簿記論 ●会計学入門	●特別講義(経営学)		
2群 戦略とマーケティング	●ベンチャービジネス論 ●イノベーション論 ●消費者行動論	●国際ビジネス概論 ●国際経営論 ●流通論 ●マーケティング ●貿易論 ●交通論	●経営戦略論 ●戦略的経営論 ●多国籍企業論 ●マーケティング・コミュニケーション ●マーケティング・リサーチ	
3群 組織とマネジメント		●産業社会学 ●産業・組織心理学 ●経営情報論 ●経営情報システム論 ●経営工学 ●経営組織論 ●生産管理 ●人的資源管理 ●経営労務論 ●経営科学 ●情報処理	●コーポレート・ガバナンス ●組織行動論 ●技術経営	
4群 会計と企業財務		●会計学 ●証券論 ●経営分析 ●管理会計論 ●原価計算論 ●財務会計 ●企業財務論 ●中級簿記 ●上級簿記 ●税務会計 ●会計監査論 ●デリバティブ論		
5群 経営と法	●民法総論 ●物権法 ●債権法総論 ●債権法各論 ●労働法 ●労働関係法 ●会社法 ●商法総論・商行為 ●有価証券法 ●知的財産法	●法と経済学 ●金融商品取引法		●租税法
6群 必修	●市場と経済 ●企業と会計	●基礎演習		●実習

専任教員一覧

阿久津 由佳 教授 英語教育法、語用論	中村 彰良 教授 管理会計	西井 悠一朗 准教授 生産管理、技術経営
阿部 圭司 教授 証券市場分析	橋本 哲 教授 経営組織論	藤川 衣志 准教授 財務会計、国際会計、会計史
加藤 健太 教授 日本経営史	石田 崇 准教授 統計的学習理論、情報理論、教育工学	辻 律 講師 会社法、民法、合同会社制度
木下 まゆみ 教授 教育心理学、社会心理学	井上 真由美 准教授 経営倫理、アントレプレナーシップ、コーポレートガバナンス	
佐藤 敏久 教授 マーケティング戦略、消費者行動、マーケティング・コミュニケーション、ブランド・競争戦略	梅田 宙 准教授 原価計算、管理会計	
関根 雅則 教授 イノベーション論、経営戦略論	笠見 亮生 准教授 中国文学	
高松 正敏 教授 言語学、日本語学、高等教育	窪田 悠紀 准教授 知的財産法、文化と法、芸術と法	
谷口 聡 教授 民法、不法行為法、成年後見制度、親続の債務関係	高橋 克幸 准教授 会計学、実証会計、セグメント会計	
水田 謙 教授 経営労務論、社会政策論	三富 悠紀 准教授 マーケティング・消費者行動	

経営学科 教員・ゼミナール紹介

自分の興味あるテーマについて
情報処理の知識とスキルを用い
自ら課題解決する力を付ける

経済学部 准教授

石田 崇 ゼミ

教員研究テーマ
知識情報処理
機械学習

担当科目
経営統計、情報処理Ⅰ/Ⅱ、基礎演習、
演習Ⅰ/Ⅱ



ゼミナールの研究テーマ・分野

データ科学、機械学習、情報科学

永続企業が永続企業たる理由を
文献やフィールドワークにより
解き明かしていきたい

経済学部 准教授

井上 真由美 ゼミ

教員研究テーマ
経営倫理
アントレプレナーシップ

担当科目
経営学総論、企業論、コーポレートガバナ
ンス、基礎演習、演習Ⅰ/Ⅱ



ゼミナールの研究テーマ・分野

企業の長期存続と発展、企業とステークホルダーとの関係

自ら設定した課題を、主体的に解決していく

本ゼミでは、経済や経営の問題に限定せず、身近な疑問や課題などを対象として、データ科学や情報科学の手法を用いて問題解決に取り組みます。主に統計学の理論や機械学習の方法を活用します。プログラミングスキルを身に付け、一段高いレベルでコンピュータを活用することで、データという形で表現されたさまざまな情報から有用な知見を獲得したり、データを可視化することができます。データ分析の手法やアプリケーション作成など、将来的に自分の武器にしたい情報処理のスキル向上も目指します。

ゼミ生は、「どのような課題を設定し、それをどう解決するか」を自ら考えます。既存の関連研究を調査し、参考としながら、これまでの学術的な成果の蓄積に基づいた課題の解決を目指します。



卒業生の進路は情報処理系、ITサービス系、公務員など…

2年次には、まずR言語やPythonなどのプログラミングスキルの初歩を身に付けます。ゼミ生同士のコミュニケーションの機会として、グループごとに相談しながら課題の解決に取り組むこともあります。

3年次にはコンピュータを利用したデータ処理技術を学び、それらを活用できるスキルを身に付けることを目標とします。また、卒業研究へ向け、自分の興味・関心に基づいてテーマ設定を検討します。

卒業研究は主に、インターネット上の統計データ、テキストデータ、画像データなどからデータ解析を行い、仮説を検証したり、データを加工して情報を閲覧するためのアプリケーションを作成したりします。



教員からのメッセージ

高崎は豊かな自然やおいしい食べ物に恵まれ、少々足を延ばせば日本有数の観光地や温泉に囲まれていつ、首都圏へのアクセスもとても便利な街です。皆さんもこの高崎で、日本各地から集まった仲間たちと学問に真剣に取り組む、充実した学生生活を過ごしてみませんか？

STUDENT'S VOICE

先生が常にゼミ生を気にかけてくださり、安心して頑張れます

ビッグデータからの有益な知識の獲得をテーマに、R言語やPythonといった情報処理手法を用いて研究するゼミです。情報処理に関係していれば、自身の好きな分野を「何でも自由に」研究できます。研究を通じて「高度な情報リテラシー」が獲得できるのが大きな魅力です。しっかりとデータや手法と向き合うことで、情報を吟味する力が付きます。

3年次から開始したグループ研究では、約1年間、各自が興味のある分野で培った知識を持ち寄り、協働して研究を進めました。個人で行うにはハードルが高く、それまで取り組めなかった部分についても、メンバー同士で知識を補い合いながら乗り越えることができ、大きな成長につながったと感じます。

群馬県立高崎高等学校出身 大手 颯人 ゼミ生(4年)



環境の変化にのみ込まれずに永続する企業の要件を研究する

事業を始めずに行き詰まってしまう企業がある一方で、100年、200年と長く存続している企業があります。特に日本は世界一の長寿企業大国と言われ、100年以上の歴史を持つ企業が3万社以上存在します。私のゼミでは、長期的に存続・発展している企業について書かれた本を輪読したり、長寿企業と言われる企業の歴史に関する文献の調査、長寿企業の経営者への聞き取り調査などを行うことで、「企業の長寿の源泉とは何か」を探る調査・研究をしています。

卒業論文のテーマとしては、特定の業界や企業の現状を分析し、今後の業界・企業の維持・発展のために何が必要であるかを考察するものが多いです。将来的に事業承継を予定している学生が、ファミリービジネスに関する論文を執筆することもあります。



文献の読み込みやフィールドワークなど実践的な学びを重視

インターネットの普及により簡単に多くの情報が得られるようになりましたが、ネット上の表面的な情報だけでは見えてこないことも多々あります。多くの文献を時間をかけてじっくり読み込んだり、実際に経営に携わる人たちに詳しく話を聞くことも重要です。これらは時に苦勞を伴いますが、それを厭わずに続けることで、自分にしかできない分析や考察が可能となり、大きな喜びにつながります。こうした実りある経験が少しでも多くできるように、学生たちをよりよい方向に導けるように、私自身も日々学び続けています。



教員からのメッセージ

現代のような変化の激しい時代に、長く続くもの、確かな基盤を持つものを見出すことは重要ではないかと思います。そのようなことに関心のある方は、ぜひ本学にお越しください。

STUDENT'S VOICE

ゼミでの意見交換を通して、物事の本質を見極める力が付いています

民間企業への就職を考えており、ゼミ活動を通じて企業研究を深めるとともに、長期的に発展する企業の特性を踏まえたうえで自分の求める企業像を掴みたいと考え、本ゼミを選択。ゼミでは、輪読やグループワークを通して、「自分自身の考え方」「他のゼミ生の考え方」「先生のアドバイス」の三方向から答えを見出していきます。また、フィールドワークは、教室にいただけでは分からない部分を突き詰めることができます。学ぶ中で、自分の意見や価値観が鮮明になっていく過程が面白いです。事前に下調べを重ねた企業訪問では、企業の「生き抜く力」を間近で感じ取れたことに高揚感を覚えました。先生は、どのような意見や疑問に対しても優しく丁寧なアドバイスをくださる、親しみやすい存在です。

栃木県立佐野東高等学校出身 小野 詩月 ゼミ生(4年)



国際学科

語学力に支えられたコミュニケーション力、異文化に対する理解力を培い、国内外のグローバル化する経済・経営の分野で活躍できる人材を育成する

国際学科での学修は、学科に所属する前の1年次は学部共通科目や教養教育科目を中心に、2年次から国際学科に所属すると本格的に学科の専門教育科目の学修を進めます。

経済学・経営学の基礎的な科目を学修し、グローバルな舞台で「何を話すか」ということの基礎固めを行ったあと、「英語で話す」ことを重点的に学修します。授業の全てを英語で行う専門科目を複数開講するほか、海外における学修や体験を単位認定するための科目を開講し、実践的な英語スキルの修得をねらいます。

海外での研修の機会、国際学科所属の2年次夏季での参加を想定した語学研修プログラムをはじめ、演習などでの研究を推進するために、海外の現場に赴きそのビジネスの現場を体感する海外フィールドワーク、大学の提携校に半年間または1年間留学する交換留学などがあり、全ての学生が海外での研修に参加できるよう充実した助成制度を用意しています。

国際学科では、経済学・経営学のいずれも学ぶことができ、そのエキスパートとなるため、応用科目、発展科目を学習します。国際社会や文化、エリア・スタディなどグローバル分野の幅広い専門知識を学び、経済学・経営学の国際分野に特化した科目を配置し、グローバルな視野を養います。

高崎経済大学の特徴のひとつである「ゼミナール(演習)」は、経済学部の他の学科同様、2年次後期から4年次にかけて学修しますが、国際学科のゼミナールは、学科所属学生のみを対象とするため、国際分野での経験豊かな教員のもと、グローバルな分野への学びを深めつつ仲間と切磋琢磨して学修に取り組むことができます。

英語や国際系科目をはじめとしたグローバル教育と経済・経営のエキスパート教育が融合したカリキュラムにより、グローバル化する社会の課題に主体的に取り組むことができる「グローバル・エキスパート」の育成を目指します。



学科の卒業認定・学位授与の方針

- 【知識・理解】**
- 1 経済学、経営学の基礎的な知識および専門的な知識を身につけることで、国際的な視点から経済あるいは経営に関わる実態を理解できる。
 - 2 高度な語学力を身につけるとともに、社会、政治、法律および歴史などに関する幅広い知識を理解し、国際社会の諸問題に対して応用できる。
- 【態度・志向】**
- 1 さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学修する。
 - 2 積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協働する。
 - 3 倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。
- 【汎用的技能】**
- 1 課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。
 - 2 論理的かつ批判的な思考ができる。
 - 3 教理的手法と情報通信技術を活用できる。
 - 4 多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

学科の教育課程編成・実施の方針

- 国際学科では、国際社会に必要とされる経済学および経営学に関する専門知識と、さまざまな文化に対する理解を深める幅広い知識と語学力を修得するため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。
- 1 経済学・経営学の基礎をふまえ、国際社会の課題に応用できる知識を修得する科目を体系的に配置する。
 - 2 実践的な語学スキルを修得するために、英語による専門科目や海外における学修体験を提供する。
 - 3 国際的な視座を養うために社会、政治、法律および歴史などに関する幅広い科目を提供する。

STUDENT'S VOICE

オール英語の授業や多彩な留学プログラムを通じ、「グローバルに活躍する未来」に近づくことができます

海外展開する日本企業も増える中、実践的な英語や経営戦略、マーケティングの知識を身につけることで、社会に出た際に即戦力になれるのではないかと考え、本学科を選びました。経済学や経営学とともに、国際的視点での社会学や政治学も学ぶことができ、興味が広がります。ゼミでは、国際経営戦略・イノベーション論を学んでいます。女性の健康問題をテクノロジーで解決する「フェムテック」について、国内外のベンチャー企業を比較検討しています。



国際学科専門科目の群配当と位置付け

	1年次	2年次	3,4年次
経済または経営の高度な専門知識を身につける	1群 経済・経営の基礎		3群 A 経済系応用 B 経営系応用
語学力を身に付ける国際感覚や幅広い教養を身に付ける海外研修		2群 国際系基礎	5群 国際系応用(経済・経営) 4群 国際系応用(社会・政治)
学部必修科目ゼミナール教育(2年次~)		6群 必修	

- 1群 経済・経営の基礎**
1群には、経済学および経営学のそれぞれの専門科目の中でも特に重要なもの、経済・経営を知る上で基本的な枠組みとなる科目をそろえています。
- 2群 国際系基礎**
2群では、国際社会に参加し、ビジネスその他で活躍するために必要なスキルを身に付けるための科目がそろっています。具体的にはコミュニケーションのための英語スキルを磨く科目と、国際感覚を身に付けるための海外研修です。
- 3群 A 経済系応用 B 経営系応用**
3群では、経済学分野の専門科目(3-A)か経営学分野の専門科目(3-B)どちらか一方を選びます。それぞれ経済学、経営学の基礎を1群科目で学んだあとの応用的分野のうち、重要なものをそろえています。
- 4群 国際系応用(社会・政治)**
4群では、国際社会に関する幅広い知識・教養を身に付けるための科目が設置されています。国際社会や政治の動向や異文化コミュニケーション、発展途上国の開発問題や移民問題、歴史やさまざまな地域に関するエリア・スタディなどをこの群の科目で学ぶことができます。
- 5群 国際系応用(経済・経営)**
5群では、国際社会や経営に関する応用的な知識を身に付けるための科目が設置されています。おなじく経済・経営に関する知識を身に付けるための科目群である3群と比較すると、この5群の科目は「国際」的な経済事情やビジネス活動により深く関連した科目を設置しています。

国際学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群 経済・経営の基礎		●統計学 ●経営学総論 ●マーケティング入門 ●経営管理論 ●会計学入門	●初級マクロ経済学 ●初級ミクロ経済学	
2群 国際系基礎		●World issues ●Critical Thinking ●TOEIC Advanced ●TOEFL Advanced	●Introductory Economics ●Introductory Management ●Introductory International Relations ●Introductory Legal Systems ●Innovation and Entrepreneurship ●Special Seminar(特別講義:国際)	●海外語学研修(専門) ●海外フィールドワーク ●海外ボランティア ●海外インターンシップ
3群-A 経済系応用			●金融論 ●財政学 ●ゲーム理論	●国際経済学 ●環境経済学 ●国際金融論 ●公共経済学 ●経済政策論 ●経済成長論 ●計量経済学 ●労働経済学
3群-B 経営系応用		●企業論 ●消費者行動論 ●民法総論 ●会社法	●国際ビジネス概論 ●国際経営論 ●貿易論 ●経営組織論 ●生産管理 ●経営財務論 ●経営分析 ●財務会計 ●企業財務論 ●多国籍企業論 ●経営戦略論 ●コーポレート・ガバナンス	
4群 国際系応用(社会・政治)		●国際機構論 ●国際コミュニケーション論 ●国際開発論 ●国際文化論 ●国際協力論	●平和学 ●移民研究 ●グローバルメディア論 ●グローバル政治論 ●国際人権論 ●国際社会学 ●グローバルヒストリー ●現代ヨーロッパ論 ●現代アジア論 ●現代アメリカ論 ●現代ラテンアメリカ論	
5群 国際系応用(経済・経営)		●世界経済論 ●西洋経済史 ●アジア経済史 ●外国経済史	●開発経済論 ●アジア経済論 ●中国経済論 ●社会保障原理 ●社会保障制度論 ●国際経済法 ●異文化経営論 ●国際経営戦略論 ●国際マーケティング論 ●貿易政策論 ●国際物流論	
6群 必修	●市場と経済 ●企業と会計	●基礎演習		●演習

専任教員一覧

梅島 修 教授	貿易経済制度、WTO協定、自由貿易協定	清口 智郎 教授	応用ミクロ経済学、公共経済学
清水 さゆり 教授	国際経営論、中堅・中小企業研究	黒崎 龍悟 准教授	アフリカ地域研究
野崎 謙二 教授	経済連携	宮川 貴嗣 准教授	国際機関史、国際文化論、グローバル・ヒストリー
バフアン ニコラス アンドリュウ 教授	ESP	佐藤 敦子 准教授	異文化マネジメント論、国際ビジネス研究
藤井 孝宗 教授	国際貿易論	土谷 岳史 准教授	EU研究
		スルガリエフ、リュイリヤ 准教授	国際関係論、中央アジア研究

国際学科 教員・ゼミナール紹介

知識が現実の見方を変え、
現実を知って知識が深まる、
それが大学の学びの面白さ



経済学部 教授
藤井 孝宗 ゼミ

教員研究テーマ
貿易政策の実証分析、水産資源貿易、
地域経済協定の経済効果 など

担当科目
国際経済学Ⅰ／Ⅱ、市場と経済C、
基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野 学生の興味に合わせて、国際経済・社会問題について幅広く取り扱います

現代ヨーロッパを知ること、
世界や日本について考えるための
新たな視点を手に入れる



経済学部 准教授
土谷 岳史 ゼミ

教員研究テーマ
政治学
EU研究

担当科目
政治学、国際関係論、現代ヨーロッパ論、
基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野 現代ヨーロッパの政治や社会

「理論」と「現場」の両方をバランスよく体感することは重要

本ゼミは、国際経済・社会問題についてゼミ生自身でテーマ設定し、調査研究しています。2年次は、まず基礎を学ぶために教科書を輪読し、内容をまとめて発表します。工場見学など課外活動も行い、経済の実態に関する知識を補完します。3年次は、2年次の学びを踏まえた上で、現実の世界経済・社会の諸問題に関してグループに分かれて調査研究を行い、インターゼミナールで報告します。理論的・実証的研究により客観的・抽象的知見を得ること、現地調査などで現場を自ら体験して得る肌感的なもの両方が重要だと思っています。知識があって現実問題を見ることで見えてくるものもあり、現実を知っているからこそ知識が深まり新たな視野が開けることもあります。



興味のあることを主体的に学んでいくのが大学

どんなことであっても、自分で興味を持って調べたり学んだりするというのが面白さを実感します。ですので、ゼミでは、可能な限りゼミ生自身がさまざまなことを決定できるようにしています。また、国際学科のゼミなので、海外フィールドワークを多く行うよう心掛けています。主に日系企業の海外進出の動向や、現地での活動における戦略や困難な点などについて、ヒアリングを行っています。これまでにタイ、台湾、ドイツなどに行きました。国内でも積極的に、工場見学や企業へのヒアリングなどを行っています。



教員からのメッセージ

大学での勉強は、自ら興味があるテーマを探して行うのが重要です。何でも自由にできるのが大学で、教員はその手伝いをするためにいます。気になることには積極的にトライしてください。教員にも気軽に相談してください。幅広い知識を身に付け、自分がやりたいことを見つけてください。

ゼミの学びを通し、広い視野と、将来に役立つ能力を身に付ける

現代ヨーロッパのさまざまな問題を政治学的に分析するゼミです。テーマはゼミ生の関心や社会問題に応じて決めます。英語の文献も積極的に用いながら、文献を読み、議論をする中で、考えを深めていきます。ヨーロッパにはEUという超国家的な共同体があり、国境を越えた関係性を形づく中で、各種の試みがなされています。日本とは異なる発想や方法を知ることは、より広い視野を得ることにつながります。ゼミの最終目標は、ゼミ生たちが自分の関心に基づいて卒業論文を書き上げること。それには自分で問題意識を持ち、それを明確化し、自分で調べ・考えて、文章にまとめていくことが必要になります。この能力は、卒業後に、自分で考え行動していく基礎となる力です。



ゼミ生同士の議論は学びを深めるための大きな力になる

2年次は、グループごとに現代ヨーロッパの政治や社会に関する英語文献(論文や新聞など)を読み、理解し、議論します。基礎的な知識を得るとともに、学術的な文章の読み方、議論や発表の仕方を学びます。3年次は、共通テーマを設定してみんなでEUの行政文書を読み、各自の関心に合わせてそれを深めていき、論文としてまとめます。卒業研究のテーマは、ヨーロッパの事例を踏まえて日本のことを考えたものも少なくありません。卒業後の進路は地方公務員、証券、農協、SEなど多様で、最近では新聞記者になる人も出てきました。



教員からのメッセージ

本学経済学部には経済学科、経営学科に加えて、経済・経営の専門知識を国際的に生かすための国際学科があります。いずれの学科も、専門知識はもちろん、幅広い科目を受講して視野を広げ、深めることができます。全国から集まってくる仲間たちと一緒に、楽しく学問しましょう。

STUDENT'S VOICE

グループ研究を通じて「柔軟性」や「人をまとめる力」も成長!

以前は東南アジアの国々の経済に興味がありましたが、藤井先生の「国際経済学」を履修し、地域を問わず広く世界経済の流れを勉強したいと思い、本ゼミを選びました。モノ・サービスの国境を超えた取引に関するさまざまな話題や問題を、経済学的な視点から理解することができるようになりました。基礎理論のインプットで終わらず、学んだ理論が世の中にもどのように関わっているのかを知ることで応用力が鍛えられるのもこのゼミの魅力です。先生はとにかく優しく、ゼミ生たちは、プライベートでは落ち着いて付き合いつつもゼミ中は熱く議論を交わすことができる仲間です。相手を尊重するとともに、自分の意見をしっかりと主張することで能動的な学びが可能になります。

新潟県立奥平高等学校出身 山口 直也 ゼミ生(4年)



STUDENT'S VOICE

種々の「当たり前」や「常識」を再検討する力が身に付きました

土谷先生の「政治学」「国際関係論」を履修した際、これまで当たり前のように学んできた歴史が一面的なものでなかったことに気付かされ、歴史をどう捉えればよいのかも深く知りたくなり、本ゼミに所属しました。1年目は、次年にポーランドへフィールドワークに行くため、それに向けた学習を進めました。歴史学の文献の輪読も行っています。ゼミでは、文献に書かれていることを「自分の言葉で置き換えて説明する」ことを重視しています。例えば、どんな事例があるのかを踏まえ意見交換することで、より理解を深めることができます。学ぶ中で、多くの「答えのない問い」に直面しますが、だからこそ複数の文献にあたり、自分の意見を相手に分かりやすく共有することが必要だと感じます。

石川県・星稜高等学校出身 上田 咲希乃 ゼミ生(3年)



地域政策学部

Faculty of Regional Policy

地域問題解決の先頭に立つ「地域リーダー」を育成する

足下の地域からの学びをとおして、日本～世界とつながろう

地域政策学部長 佐藤 彰彦 教授

地域政策学部は、1996年に日本で初めて創設された「地域」系学部です。グローバル化という概念が広まって久しいですが、近年のコロナ禍という世界的事象を含め、私たちが暮らす社会は急激な変化を続けています。そんな中であって、「地域」とはどのような意味を持つのでしょうか。

「地域」という言葉は多義的で曖昧ですが、私たちの生活に密着し、生活に不可欠な社会(=空間)を形づくっています。その集合体が国となり、さらに世界を形づくっているのです。地域政策学部で学ぶことは、足下の地域に根を張り、日本という国や世界を深く知り、創っていくことにつながります。

現代社会に潜むさまざまな問題を発見し、その解決に向けて、他者と協力し合い、解決策を導き出し、行動する。それが地域政策学部の教育方針です。こうした学びをとおして、すでに多くの卒業生が全国や世界を舞台に活躍しています。

社会への問題意識と学びに対する探究心をもった皆さんが、本学部の門戸を叩いてくれることを願ってやみません。



地域政策学部のチャレンジ

日本の地域では現在、海外との競争に直面している地域産業の再生、衰退する中心市街地の活性化、過疎化に苦しむ農山村地域の活性化、高齢化が進むコミュニティの再生など、多くの課題を抱えています。こうした背景の中、昨今では、地域問題解決の先頭に立つ多くの人材が求められています。地域政策学部では、自治体はもちろん企業、NPOなど幅広く官民両分野にわたって地域問題解決の先頭に立つ人材の育成を目指します。

グローバル化が進む現在、わが国の社会経済は大きな転換点に立っています。また、環境問題をはじめとして、世界が協働して取り組むべき課題にも直面しています。こうした時代だからこそ、地域からの新たなチャレンジが欠かせません。地域からの日本再生のモデル構築、地方創生という課題に、私たちと一緒にチャレンジしましょう。

地域政策学部の3つの学科

地域政策学部は、多様な地域問題に対応し、主に地域政策の理論や制度を学ぶ「地域政策学科」、実践を学ぶ「地域づくり学科」、地域活性化のための観光政策を学ぶ「観光政策学科」の3学科から構成されています。

新しい時代を先取りする体系的かつ自由度の高いカリキュラム

POINT 1 充実の基礎教育科目

市民としてあるいは社会人として必須の教養を磨くためのものです。専門教育の基盤となるアプローチを学ぶ「基幹教養科目」、必修英語を中心とした「外国語科目」、コンピューティングを中心とした「情報・統計科目」を履修します。これらの科目群は、「専門基礎科目」、「専門発展科目」、「ゼミナール」、「卒業論文」の土台となるものです。

POINT 2 段階的に学べる専門教育科目

専門教育のスタートは1年次前期の必修科目である「初年次ゼミ」と「地域政策学入門」です。前者は「大学での学び方」を大学特有の「ゼミナール形式」で学び、後者は「地域政策学」の全体像を学ぶ「専門導入科目」です。これらを基礎として、2年次から4年次にかけて「専門基礎科目」、「専門発展科目」を段階的に履修します。各科目群は、2年次以上の学生が特に興味を持った分野を深く掘り下げることを目指したものです。

POINT 3 少人数制の必修ゼミナール

地域政策学部では2年次後期から始まるゼミナール(演習)を必修としており、特に重視しています。ゼミナールは1学年10人前後の少人数で行われ、各指導教員の専門分野に即した地域課題を理論的・実証的に分析したり、課題解決の実践を行ったりします。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーションを繰り返しながら、グループ研究や個人研究を進めていくことにより、学士にふさわしい専門的能力を身に付けることを目指します。

POINT 4 学びの集大成、卒業論文

卒業論文は地域政策学部での学びの集大成であり、これを完成させ審査に合格することが卒業の条件となります。自らテーマを設定し、先行研究を調べ、統計データの収集・インタビュー・アンケート調査を行い、それらを分析し、ひとつの作品を仕上げるというプロセスは大学ならではの貴重な時間であり、この経験は卒業後に大きな力となるでしょう。卒業論文に意欲的に取り組むことが、本学部における学業の総仕上げとなります。

学部の入学者受入れの方針

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

- 1 大学で学ぶための基礎的な学力として、高等学校までの以下の学習の内容を身に付けている人
 - (1)日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - (2)英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - (3)データや資料を適切に分析・処理するのに必要な知識・技能
 - (4)人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
- 2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができる。聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人
- 3 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人
- 4 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に関心を持ちたい人
- 5 大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

学部の卒業認定・学位授与の方針

地域政策学部では、基礎教育科目を通じて学問的方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限で在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士(地域政策学)」を授与する。

学部の教育課程編成・実施の方針

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・技能を修得させるために、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

- 1 「地域リーダーとしての問題解決能力」を構成する、問題発見力、調査分析力、政策立案力、コミュニケーション力、組織的行動力、社会的責任力の諸能力が修得できるよう教育の充実をはかる。
- 2 地域政策学を構成する諸分野の基礎である人文科学・社会科学・自然科学等を幅広く学ばせ、国際化社会に対応できる実践的な外国語能力を修得させるために基礎教育科目を配置する。専門教育を理解するうえで必要となる方法論を学ばせるために、基礎教育科目の中に基幹教養科目を配置する。
- 3 地域政策学の基礎となる考え方や地域問題の捉え方を修得させ、さらに大学生生活の基礎となる学びの方法論を修得させるために専門導入科目を配置する。
- 4 地域が直面する多様な課題を理解させ、地域問題解決に結び付く幅広い理論と深い専門的知識を修得させるために、3学科に専門基礎科目及び専門発展科目を配置する。
- 5 専門分野における地域政策学の理論の深化と、実践的・実証的調査研究により、地域問題解決の高い能力を修得させるために必修科目として基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を配置する。
- 6 広い視野と深い問題意識の修得をはかるため、現場の地域リーダーを招聘する実践的・実証的な講義を配置する。

■ 全学科共通 基礎教育科目

教養科目群	基幹教養	◆法学 ◆政治学 ◆行政学 ◆経済学 ◆経営学 ◆社会学 ◆地理学 ◆公共学 ◆歴史学
	一般教養(人文)	◆哲学 ◆倫理学 ◆心理学 ◆民俗学 ◆宗教学 ◆考古学 ◆日本史(古代～近世) ◆日本史(近現代) ◆西洋史 ◆東洋史 ◆言語学 ◆日本文学 ◆海外文学 ◆国と建築 ◆美学 ◆音楽論 ◆西洋美術史 ◆東洋美術史 ◆発達心理学
	一般教養(社会)	◆憲法 ◆比較憲法論 ◆法哲学 ◆ミクロ経済学 ◆マクロ経済学 ◆日本経済論 ◆社会保障論 ◆会計学 ◆教育学 ◆ジェンダー論 ◆犯罪と法 ◆労働と法
外国語科目群	一般教養(自然)	◆数学 ◆応用数学 ◆自然人類学 ◆生態系と環境 ◆自然地理学 ◆宇宙と地球 ◆地球環境学 ◆物質と環境 ◆生命科学 ◆食と健康 ◆スポーツ科学
	英語または日本語	◆General English ◆Business English 【留学生】◆大学生生活のための日本語 ◆専門聴解 ◆日本事情 ◆文章表現 ◆専門読解 ◆口頭表現 ◆ビジネス日本語
情報・統計科目群	外国語(選択)	◆Language Learner Development ◆Oral Communication ◆Advanced Oral Communication ◆English Language and Culture ◆Grammar ◆Writing ◆Reading ◆Listening ◆Discussion ◆Advanced Discussion ◆English for Academic Purposes ◆World Issues ◆Critical Thinking ◆TOEIC Basic ◆TOEIC Intermediate ◆TOEIC Advanced ◆TOEFL ◆TOEFL Advanced ◆ドイツ語 ◆フランス語 ◆中国語 ◆スペイン語 ◆イタリア語 ◆ハンガリー語 ◆海外語学研修(英語) ◆海外語学研修(中国語)
	情報・統計科目群	◆情報基礎 ◆情報科学 ◆地域統計論 ◆社会調査(質的調査) ◆社会調査(量的調査) ◆プログラミング ◆データベース ◆データ分析 ◆統計学 ◆計量分析 ◆地域調査法 ◆地理情報システム論

地域政策学科

国内外の地方分権や地域政策に関する高い専門知識と政策立案能力を有し、都市と農村等の地域振興を中心的に担う人材を育成する

地域政策学科の教育目的

[養成をめざす具体的な人材]

- 高い政策立案能力を有する人材
- 地方自治に関心を有する人材
- 企業の地域戦略に強い人材
- 都市農村開発のプランナー
- 国際関係に強い人材

[専門分野の主な研究テーマ]

- 都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考える
- 農業・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考える
- 世界の中の日本について理解を深め、国際的視野に立ち、有効な地域政策について考える
- 地域経済・産業について理解を深め、その自立的発展の立場から有効な地域政策について考える
- 政治・法律・公共政策について理解を深め、公共性という視点から有効な地域政策について考える

学科の卒業認定・学位授与の方針

[知識・理解]

- 1 地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。
- 2 地域政策に関する知識を修得し、使いこなすことができる。
- 3 必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。

[態度・志向性]

- 1 地域社会に関心をもち、地域振興に寄与することができる。
- 2 問題解決に関心をもち、政策立案を通じて地域社会の中核となることができる。

[汎用的技能]

- 1 他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 2 コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
- 3 英語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 4 社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。



学科の教育課程編成・実施の方針

地域政策学科では、地方自治に関わる高い政策立案能力を有し、地域問題を解決する人材を育成するため、学生が、地域政策の理論や制度の学修を通じて、「地域リーダーとしての問題解決能力」の中でも特に、問題発見力、調査分析力、政策立案力、情報発信力を修得できるよう、以下のとおり方針を定める。

- 1 地域問題とその解決のための理論や政策展開を修得させるため、地域政策専門基礎科目として必要な講義を配置する。
- 2 地域が抱える問題とその解決策としての地域政策についてより深く探求させるため、地域政策専門発展科目として必要な講義を配置する。
- 3 他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーション能力を修得させるため、各年次に少人数で開講する演習を配置する。
- 4 在学中に学んだ全ての知識を統合し、問題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

STUDENT'S VOICE

地域の風土や歴史、景観を活かした、人々の生活を豊かにするまちづくりがしたい

地域政策学科には、フィールドワークや自治体への政策提案など学外との交流や実践的な活動を積極的に行っているゼミがあります。私は地域行政、都市計画、地域経済、景観形成など、まちづくりに関して幅広く学んでいます。地域について多角的に捉えることができ、知識のひきだしが増えたと同時に視野の広がりも感じます。まちづくりには行政以外にも多くの民間企業や団体なども関与していると知り、官民連携や住民を巻き込んだまちづくりへの興味が増えています。



4年
北海道
函館中部高等学校 出身
丸山 詩乃

地域政策学科専門科目の群配当と位置付け

政治・法律・公共政策について理解を深め、公共性という視点から有効な地域政策について考えたい	法学・政治学・行政学・経済学・経営学・社会学・地理学・公共哲学・歴史学	現代社会を理解するための教養、学問を学ぶ方法論を修得する科目	実用的な外国語を身に付ける科目	調査やデータの分析力を養うことを目指す科目 (専門分野に応じて必要な科目を履修する)	地域政策学入門・初年次ゼミ・地域政策を学ぶ (希望する専門分野の講義の他幅広く履修する)	専門的な意識の入口となる科目	希望する専門分野の講義の他幅広く履修する								
地域経済・産業について理解を深め、その自立的発展の立場から有効な地域政策について考えたい		産業界・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考えたい		都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考えたい		地方自治論・現代政治論・民法総論・行政法総論・政策科学	地方自治法・政策評価論・政治過程論・物権法・行政法各論	産業政策論・財政学	地方財政論・中小企業論・産業組織論・流通経済論	アメリカ社会と歴史・国際交流史・開発経済学	現代欧州の歴史と構造・アジア経済論・マイノリティ論	農業・農村政策論・農村地理学	フードシステム論・農村社会学・農村土地政策論	都市経済学・都市地理学・都市計画学・ランドスケープ論	国土開発論・住宅政策論・都市商業論・都市再開発論
世界の中の日本について理解を深め、国際的視野に立ち、有効な地域政策について考えたい		農業・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考えたい		都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考えたい		地方自治論・現代政治論・民法総論・行政法総論・政策科学	地方自治法・政策評価論・政治過程論・物権法・行政法各論	産業政策論・財政学	地方財政論・中小企業論・産業組織論・流通経済論	アメリカ社会と歴史・国際交流史・開発経済学	現代欧州の歴史と構造・アジア経済論・マイノリティ論	農業・農村政策論・農村地理学	フードシステム論・農村社会学・農村土地政策論	都市経済学・都市地理学・都市計画学・ランドスケープ論	国土開発論・住宅政策論・都市商業論・都市再開発論
地域経済・産業について理解を深め、その自立的発展の立場から有効な地域政策について考えたい		農業・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考えたい		都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考えたい		地方自治論・現代政治論・民法総論・行政法総論・政策科学	地方自治法・政策評価論・政治過程論・物権法・行政法各論	産業政策論・財政学	地方財政論・中小企業論・産業組織論・流通経済論	アメリカ社会と歴史・国際交流史・開発経済学	現代欧州の歴史と構造・アジア経済論・マイノリティ論	農業・農村政策論・農村地理学	フードシステム論・農村社会学・農村土地政策論	都市経済学・都市地理学・都市計画学・ランドスケープ論	国土開発論・住宅政策論・都市商業論・都市再開発論
専門分野の主な研究テーマ	基礎教養	一般教養	外国語	情報・統計	専門導入A	専門導入B	専門基礎	専門発展							

地域政策学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門導入A	●地域政策学入門 ●初年次ゼミ ●地域政策を学ぶ ●地域づくりを学ぶ ●観光政策を学ぶ			
専門導入科目群	●現代の都市問題 ●都市政策論 ●現代の農村問題 ●農業経済学 ●国際経済学 ●国際関係論 ●地域経済論 ●経済政策論 ●地域政策論 ●地方政治論 ●地域づくり論 ●マーケティング ●地域環境共生論 ●地域環境共生論 ●地域医療保健論 ●社会福祉論 ●地域文化論 ●文化政策論 ●地域社会学 ●生涯学習概論 ●フィールドワーク入門 ●観光産業論 ●観光政策論 ●観光経営論 ●社会起業論 ●多文化共生論 ●国際観光論 ●観光資源論 ●観光地理学 ●観光学概論 ●観光地域調査演習			
専門基礎科目群	●都市経済学 ●ランドスケープ論 ●都市地理学 ●都市計画学 ●農業・農村政策論 ●アメリカ社会と歴史 ●開発経済学 ●国際交流史 ●産業政策論 ●財政学 ●公共政策論 ●政策科学 ●現代政治論 ●地方自治論 ●民法総論 ●行政法総論 ●現代の法思想			
特別講義	●グループ研究 ●特別講義「世界と日本の未来を考える」 ●アータサイエンス入門 ●高崎市の課題と政策 ●防災政策論 ●資本市場の役割と証券投資 ●地方分権論 ●市民生活と法 ●理論社会学 ●社会思想			
専門発展科目群	●国土開発論 ●都市経済論 ●住宅政策論 ●都市社会学 ●都市商業論 ●都市再開発論 ●農村土地政策論 ●比較農業政策論 ●フードシステム論 ●森林資源論 ●農村社会学 ●現代欧州の歴史と構造 ●国際政治史 ●マイノリティ論 ●国際法言語論 ●国際協力論 ●民族問題論 ●アジア経済論 ●中小企業論 ●流通経済論 ●地域金融論 ●産業組織論 ●雇用政策論 ●産業立地論 ●政治過程論 ●地域行政論 ●政策評価論 ●地方財政論 ●行政経営論 ●行政法各論 ●地方自治法 ●物権法 ●債権法 ●環境法 ●ビジネス法 ●会社法			
実習	●インターンシップ			
演習	●基礎演習 ●演習			
卒業論文	●卒業論文			

専任教員一覧

金光 貴之 教授	民法、環境法	福岡 聖 教授	倫理学、社会学、応用数学、死生学	山田 真一郎 准教授	行政法
黒川 基裕 教授	開発経済学、商品企画・デザイン	増田 正 教授	政治学、地方政治論、投票行動論	若林 隆久 准教授	経営学、経営組織論、 社会ネットワーク分析
佐藤 公俊 教授	政治学、公共政策	山本 匡敏 教授	経済地理学、機械産業論、中小企業論		
佐藤 徹 教授	行政学、地方自治、公共政策学、政策評価論、自治体経営論、都市政策	古武 信彦 教授	国際関係論		
佐藤 英人 教授	都市地理学、経済地理学、地理情報システム	米本 清 教授	都市・地域経済学		
鈴木 隆子 教授	憲法学	長野 博一 准教授	都市政策、都市計画、地域デザイン、 ユニバーサルデザイン、交通政策		
中村 匡克 教授	地方財政、公共選択	宮田 剛志 准教授	農政学・農業構造論、畜産経営学		

地域政策学科 教員・ゼミナール紹介

**途上国の開発課題を解決する
モノやサービスを生み出す
という、創造的なチャレンジ**

地域政策学部 教授
黒川 基裕 ゼミ

教員研究テーマ
開発経済学、デザイン学(開発途上国向け
商品企画など)

担当科目
開発経済学、国際経済学、アジア経済論、
基礎演習、演習Ⅰ/Ⅱ



ゼミナールの研究テーマ・分野 「技術とデザインで途上国を彩る」をテーマに、途上国の開発課題の解決を目指す

**自ら立てた仮説を、
自ら集めた事実やデータで
検証することは、面白い**

地域政策学部 教授
佐藤 徹 ゼミ

教員研究テーマ
行政学、公共政策論、地方自治論、
政策評価論、自治体政策論、自治体経営論

担当科目
行政学、政策科学、政策評価論、基礎演習、
演習Ⅰ/Ⅱ



ゼミナールの研究テーマ・分野 住民ニーズと行政施策について / 公民協働によるまちづくりや公共問題の解決について

具体的な「モノ」「コト」づくりにも携わるゼミです

途上国の開発課題を解決する製品やサービスを、企業などと協働しながら作っている研究室です。作ったものは現地でも実証実験し、現地ユーザーの評価の中から改善点を見つけて、設計変更に取り組みます。現在、インドネシアやガーナなど、複数の国の企業や大学と連携しています。

ゼミ活動においては、途上国経済への理解を深めるための開発経済学に加えて、商品企画の手法やデザインの基礎演習を行っています。2年次は、考える力と審美眼を養う実習が中心です。企業のコーポレートメッセージを考えたり、紙で精密な造作をしたりします。3年次は、専門的な勉強をして知識を身に付けた実感を持ってもらうために、できるだけレベルの高い課題に取り組んでもらうようにしています。具体的な開発課題を分析してその解決策を検討したり、グラフィックデザインやロゴデザインに取り組んだりします。マーケティングに関する実習も行います。



幅広い力を身に付け、世の中で活躍できる人材に

海外でも活躍できる人になってもらえるよう、海外事情に関する知識を蓄えたり、価値観の異なる人々とも関係構築できるような粘り強さとコミュニケーション能力を鍛えたりする指導を心掛けています。

また、経済学系でありながらデザイン領域のテーマも取り扱っているため、実習を通して商品企画・製品開発・グラフィックデザインなどの知識を身に付け、「作る側の人」になってもらいたいと考えています。

教員からのメッセージ

政策にしても理論にしても製品にしても、大学とは「新しいもの」を創り出していく場所であるべきだと思います。「何かを教えてください」ではなく、「何かを創造したい」と考えている学生の皆さんに集まってもらえたらうれしいです。

STUDENT'S VOICE

知見の深まりにより、政治・経済について多角的な視点を獲得

中学生のときに授業で見たビデオで「ウェストピッカー」という人々がいることを知り、途上国について知りたくなりました。本ゼミは、途上国について理解を深めるとともに、モノづくりをしていくことが特徴だと思います。国内と海外の両方を扱うため視野が広がり、多角的な観点から途上国の開発課題を考える力が身に付きます。

3年次の夏にはフィールドワークで、インドネシアの協同組合・中小企業省の協力を得て調査を行いました。調査票やさまざまな資料の作成、現地でのデモンストレーションの準備、現地集合・現地解散、現地の職員と二人で行う村の家庭調査など、何から何まで初めての経験ばかりで、無我夢中でしたが、大きな成長につながりました。

群馬県立大田原高等学校出身 長山 周平 ゼミ生(4年)



行政や公務員の役割、政策・まちづくりについて実践を交え考えます

地方自治や自治体政策の理論を学ぶのみならず、実践に基づく「生きた研究」を目指しています。ゼミでは、文献調査を基にした発表や討議を行うことに加え、全国規模のアンケート調査や自治体へのインタビュー調査なども行います。これらを通し各人がリサーチクエスト(学術的な問い)と仮説を設定し、さらなる調査研究を進め、卒業論文を完成させていきます。

3年後期には、自治体への訪問調査(インタビュー調査)を行います。また、自治体主催の住民参加型まちづくりワークショップに運営側として参画したり、自治体との共同調査研究を行ったりすることも。行政やまちづくりの現場に参加することで、教室では得られない気づきや発見が得られます。

また、現職自治体職員を招いての座談会や講話会などをゼミ生主体で企画・開催しており、自治体行政の仕事や公務員の魅力などについて考える機会となっています。



学生の自主性を尊重し、「自ら学ぶ」仕掛けづくりに配慮

学生指導の際に最も重視していることは、学生たちの自主性を尊重することです。学年や各人の個性に合った課題を設定し、自分たちあるいは自分自身で考え、調べ、議論し、発表する機会や場を設けています。

また、「知識」だけでなく、「学び方」を学ぶことも重要です。ディスカッションの技術や質問の方法などを習得するとともに、自分で学習計画を立てて、それを遂行できるように指導しています。

教員からのメッセージ

私自身が政府や自治体の各種委員・アドバイザーとして政策過程に積極的に参画しており、そうした現場での観察を通じて得た知見も、教育や研究に生かしています。将来、自治体職員として地域政策やまちづくりの第一線で活躍したいと思う人は、ぜひ本ゼミの門を叩いてみてください。

STUDENT'S VOICE

議論を重ねる中で「本質を見る力」が付いてきました

大学で学ぶ中で公務員として地域に携わりたいと考えようになり、元自治体職員である佐藤先生のもとで行政を深く学ぶことができる本ゼミを選びました。「理論」と「実践」、両面からのアプローチによって地域の公共問題に取り組みます。先生は基本的には前に出ず、ゼミ生主導でゼミ活動を行うので、自分たちがどのように活動したいかを考えることが重要です。また、実際に公務員の方と話すことで、大学で学ぶことのない部分や「現場の声」を聞くことができます。公務員を目指すゼミ生が多く、公務員試験の勉強会や情報交換が活発で、ヤル気が維持できます。先生は、厳しくありつつも、私たちのことを考え導いてくださる良き師です。意外にも、ゼミ中はオモシロ発言連発の愉快な先生です。

兵庫県立小野高等学校出身 酒井 純平 ゼミ生(4年)



地域づくり学科

国内外の地方分権や地域づくりに関する高い専門知識を有し、地域社会における文化を活用することにより、住民参加に基づく地域づくりに寄与する人材を育成する

地域づくり学科の教育目的

【養成をめざす具体的な人材】

- 地域ビジネスや能力開発に関心を有する人材
- 地域の環境問題解決に寄与する人材
- 地域の福祉対策を担う人材
- コミュニティの活性化を担う人材
- 地域文化を活用した地域づくりを担う人材

【専門分野の主な研究テーマ】

- 地域固有の諸資源を活用した地域ビジネス・持続的開発の立場から地域活性化について考える
- 環境問題の発生から社会への影響の過程を理解し、持続可能な地域社会づくりについて考える
- 福祉・医療・保健の現状と課題を理解し、福祉サービスを構築する立場から地域のあり方を考える
- 地域固有の文化と歴史の重要性を理解し、文化事業に関わる立場から地域活性化を考える
- 地域社会の課題を明らかにし、コミュニティ振興と地域活性化のための人材育成について考える

学科の卒業認定・学位授与の方針

【知識・理解】

- 1 地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。
- 2 地域づくりに関する知識を修得し、使いこなすことができる。
- 3 必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。

【態度・志向性】

- 1 地域社会の課題を明らかにし、地域活性化について考えることができる。
- 2 地域の諸資源を活用して、地域住民と協働して地域づくりを担うことができる。
- 3 地域の問題の発生から社会への影響の過程を理解し、解決に寄与することができる。

【汎用的技能】

- 1 他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 2 コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
- 3 英語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 4 社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。

Community Science Program

地域づくり学科では、住民主体の地域づくりをリードできる人材を育成します。よりよい地域をデザインするためには、地域が抱える諸問題に解決策を提示し、その発展を助ける力(=コンサルティング能力)、すなわち、データサイエンスに立脚した調査分析能力と、組織や集団における多様な意見を調整するファシリテーション能力が必須スキルとなります。これらの能力を育成することに特化したカリキュラムとして、コミュニティサイエンスプログラム(CSP)を開講しています。

STUDENT'S VOICE

地域に関する幅広い内容を学修する中で問題を解決する力が身に付いていきます

地域政策学は広い分野の学問から構成されていますが、本学はそれに対応できるよう、人文科学、社会科学、自然科学など基幹教養を高めることができるカリキュラムが生まれ、年間を通して多くの授業が展開されています。私は「地域づくりを学ぶ」という、地域づくり学科の語領域を網羅する授業の中で関心した心理学に興味を持ち、心理学を専門に学ぶことのできるゼミに入りました。学んだ知識を生かせるマーケティングなどの仕事に就きたいと考えています。



4年 橋本 立
大田原高等学校 出身
玉木 滉人

学科の教育課程編成・実施の方針

地域づくり学科では、住民主体の地域づくりに寄与する人材を育成するため、学生が、地域問題の解決に結び付く幅広い理論の学修と、地域づくりに関する実践的・実証的な学修を通じて、「地域リーダーとしての問題解決能力」の中でも特に、問題発見力、調査分析力、情報発信力、組織的行動力を修得できるよう、以下のとおり方針を定める。

- 1 地域づくりに関する実践的・実証的な学修を通じて地域問題とその解決のための理論を修得させるため、地域づくり専門基礎科目として必要な講義を配置する。
- 2 地域が抱える問題とその解決策としての地域政策についてより深く探求させるため、地域づくり専門発展科目として必要な講義を配置する。
- 3 他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーション能力を修得するため、各年次に少人数で開講する演習を配置する。
- 4 在学中に学んだ全ての知識を統合し、問題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

地域づくり学科専門科目の群配当と位置付け

地域社会の課題を明らかにし、コミュニティ振興と地域活性化のための人材育成について考えたい	法学・政治学・行政学・経済学・社会学・地理学・公共社会学・歴史学	現代社会を理解するための教養、学問を学ぶ方法論を修得する科目	調査やデータの分析力を養うことを目指す科目 (専門分野に応じて必要な科目を履修する)	教育政策論・スポーツ政策論・社会教育論・コミュニティ振興論	地域づくり教育論・スポーツ指導者養成論・地域行政論			
地域固有の文化と歴史の重要性を理解し、文化事業に関わる立場から地域活性化を考えたい		実用的な外国語を身に付ける科目		日本文化論・文化社会学・地域歴史学	日本地域史・ジャーナリズム論・博物館概論			
福祉・医療・保健の現状と課題を理解し、福祉サービスを構築する立場から地域のあり方を考えたい		地域政策学入門・初年次ゼミ・地域政策を学ぶ		児童福祉論・高齢者福祉論	公的扶助論・地域福祉論・障害者福祉論・福祉援助技術論			
環境問題の発生から社会への影響の過程を理解し、持続可能な地域社会づくりについて考えたい		環境科学・環境経済学・人類生態学		環境政策論・環境経営論・環境社会学・環境教育論	環境政策論・環境経営論・環境社会学・環境教育論			
地域固有の諸資源を活用した地域ビジネス・持続的開発の立場から地域活性化について考えたい	キャリアデザイン論・地域マーケティング・オペレーションズ・リサーチ・経営分析	キャリアデザイン論・経営分析・オペレーションズ・リサーチ	地域マーケティング・オペレーションズ・リサーチ	コミュニティビジネス論・内発的発展論・財務会計論・事業再生論				
専門分野の主な研究テーマ	基幹教養	一般教養	外国語	情報・統計	専門導入A	専門導入B	専門基礎	専門発展

地域づくり学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門導入A		●地域政策学入門	●初年次ゼミ	●地域政策を学ぶ
専門導入B		●現代の都市問題	●都市政策論	●現代の農村問題
専門基礎科目群		●環境科学	●環境経済学	●人類生態学
特別講義		●グループ研究	●特別講義「世界と日本の未来を考える」	●データサイエンス入門
専門発展科目群		●キャリアデザイン論	●経営分析	●オペレーションズ・リサーチ
実習		●基礎演習		●演習
卒業論文				●卒業論文

専任教員一覧

新島 明志 教授 環境科学、環境教育、環境統計学	友岡 邦之 教授 社会学、文化政策研究	田中 尚 准教授 社会心理学、社会的認知
藤澤 利和 教授 社会福祉学(障害者福祉)、緩和ケア(ターミナルケア)研究	西沢 淳真 教授 日本近世史・地域史	伊 誠 准教授 農業経済学、農政学、中国農業論
藤井 重久 教授 社会教育学、生涯学習論、地域づくり教育	藤 文子 教授 社会福祉学、児童・家庭福祉論	森田 結 准教授 環境経済学
佐藤 彰彦 教授 地域社会学、地域政策	大田 華 准教授 地理学、人文地理学、観光地理学、GIS(地理情報システム)	古澤 美穂子 准教授 教育行政学、教育政策論、比較教育学
高橋 伸作 教授 理論言語学、第二言語習得、ICT活用教育	佐藤 知宏 准教授 住宅政策論	
高橋 伸文 教授 スポーツ行政・政策	鈴木 耕太郎 准教授 国文学(中世神話研究)、宗教学民俗学	
岸井 明彦 教授 マーケティング論、地域マーケティング	高橋 美佳 准教授 オペレーションズ・リサーチ、標準モデル解析	

地域づくり学科 教員・ゼミナール紹介

未来を見据えた
「実践」の場であるゼミだから、
自覚的に運営して欲しい



地域政策学部 准教授
佐藤 和宏 ゼミ

教員研究テーマ
民間賃貸住宅の供給・管理に関する研究

担当科目
社会保障論、公的扶助論、住宅政策論、
基礎演習Ⅰ／Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野
住宅問題や貧困問題、地域政策などについて地域との関連から研究する

“教育”と“地域”を切り口に
国内や海外での調査を通して
思考を深め、プレゼン力を磨く



地域政策学部 准教授
吉原 美那子 ゼミ

教員研究テーマ
教育行政学、比較教育学、教育政策論

担当科目
教育学、教育政策論、教職原論、
教育実習Ⅰ／Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野
教育学、教育政策論、特に地域社会と教育のあり方を研究しています

自らの問題意識に基づき、さまざまなテーマで学ぶ

本ゼミでは、住宅問題や貧困問題あるいは地域政策について、文献報告(2年次)や、グループ研究報告(3年次)を行っています。ゼミ生たちは、例えばショッピングモール出店による地域への影響、災害復興における避難所運営など、地域政策や地域づくりと関連するさまざまなテーマに取り組んでいます。

ゼミを通して、学生の皆さんには、「自分も自分以外の人も大切にされる社会とはなんだろう？ 実現のために自分は何ができるだろう？」と考えられる人になってもらいたい。そのために、自分自身が本当に知りたいことを掘り下げ、ゼミ運営も学生たち自ら主体的に行ってほしいと考えています。時折、ドキュメンタリーや映画等を見る機会も設けています。社会の中の、「自分は知らないけれども確かに存在する人」のことを知り、翻って自分自身についても改めて考え、言語化できるようになってほしいです。



研究の質とともに、生活者としての感覚も大切に

2年次は、まずは現代日本社会についてざっくりと分かるようなテキストを読み、1年次の「初年次ゼミ」で学んだレジュメ作成・文献報告の方法を復習するような形で、主として文献報告を行います。

3年次は、グループ研究、フィールドワーク、個人研究報告を行っています。フィールドワークは、例えば困窮者支援を行っている団体を訪ね、現在の貧困問題や困窮者支援について話を聞いたり、都内の公園における困窮者支援団体による生活相談・食料配布を見学するなど、現実と直接触れる機会となります。



教員からのメッセージ

本学は教育環境・研究環境とも優れた大学です。特に地域政策を学ぶことに関しては、地域研究を専門とする先生方とのネットワーク、地域でさまざまな実践に取り組んでいる方々とのネットワークが大きな魅力です。皆さんとキャンパスで会えることを楽しみにしています！

STUDENT'S VOICE

研究もフィールドワークも、ゼミ生の主体性が大事にされます

ゼミ選びに迷っていたとき、佐藤先生のゼミ紹介にあった「ゼミ生と一緒にゼミをつくっていききたい」という言葉に強く惹かれました。その言葉通り、先生は私たち一人一人の意見を細かく聞き取り、的確なアドバイスをしてくれます。個人研究では、先生の専門分野に限らず、好きなテーマについてとことん研究ができます。研究手法から発表方法まで全て自分で考えます。ゼミ生ごとに違うテーマで研究しているので、今まで興味なかった分野について詳しく知ることができて面白いです！ 輪談を通して、文章を自分の言葉でまとめる力、第三者に分かりやすく伝える力が身に付きました。グループ/個人研究では、研究発表について議論の中で、自分の意見を持ち発言する力が身に付きました。

長野県飯山高等学校出身 石田 クララ ゼミ生(4年)



“地域”の視点で教育を捉え、論理的に考察する

価値観が多様化した現代では、教育環境や子育て環境は地域によって多種多様になってきました。それに伴い、教育自治に対する意識づくり、地域の特色をいかに見出すか、さらに地域間格差も大きな論点となっています。本ゼミでは地域の教育課題や子育て環境の課題、その枠組みづくりを考察していきます。

また、正確な事実認識やデータにより、教育的事象の規則性や構造、因果関係を導き出すために、質的調査(フィールドワークやインタビュー調査)や量的調査(データ収集やアンケート分析)を行います。フィールドワークは、日本全国の“今熱い教育現場”のほか、海外へも出掛けます。海外フィールドワークを後押しする制度(助成金制度)が本学にはあり、学生たちは大変助かっています。これらの成果はプレゼンテーションや動画としてまとめます。プレゼンの機会が多いのは本ゼミの特徴でもあります。



ゼミ活動を通じ、視野を広げ、自らの強みを知る

学生指導では以下の二つを特に重視しています。一つ目は「why?(なぜ)」を極める。当たり前と思われることも、その根拠を見直すと別の視点が現れます。そこから研究が、あるいは人生が開けてくるかもしれません。二つ目は「自分の強み」を極める。自分に自信がない学生でも、何かしらの強みがあります。協働的な活動の中で「自分にしかできない立ち位置」を見出すことができます。自分の強みを知る機会を学生に提供するの、教員の役目の一つだと思っています。



教員からのメッセージ

小規模大学に見える本学ですが、高崎の地にしながら日本各地、さらには世界各地の情報が手に入ります。さまざまなことを学ぶために高崎の地から日本全国、もしくは世界へと飛び出していきます。小さいながらも大きなエネルギーを蓄えた大学です。これを活かせるかは、あなた次第。

STUDENT'S VOICE

教育施設を訪ね、現場の「現状」と「課題」について分析します

学校教育に限らず幅広く教育について学びたい、国際的な教育事情を知りたいと思い、本ゼミを選びました。ゼミでは「教育」という観点から地域社会を捉え、より良い教育のあり方を考えています。プレゼンテーションやグループワークなどを通してさまざまな社会問題、とりわけ教育問題に対する複眼的な視点をゼミ生みんなで鍛えています。同期はもとより先輩とのつながりも強く、また卒業生も、授業から就職活動に関することまで多くのアドバイスをくれます。先生は私たちの自主性を最大限に尊重してください。その分、より高度なチームワークが求められ困難なことも多々ありますが、ゼミ仲間同士互いに高め合いつつ協力して乗り越え、そこに大きな充実感が生まれます。

群馬県立前橋女子高等学校出身 須田 衣純 ゼミ生(4年)



観光政策学科

国内外の観光に関する高い専門知識を有し、地域社会における観光資源を活用することにより、地域開発及び観光経営を中心的に担う企画・立案能力に優れた人材を育成する

観光政策学科の教育目的

[養成をめざす具体的な人材]

- 観光に関する政策立案能力を有する人材
- 観光産業の中核となる人材
- 国際観光を推進する人材
- 地域資源・地域文化を開発・活用する人材

[専門分野の主な研究テーマ]

- 立地条件や社会・経済構造の視点から地域を分析し、地域活性化のための観光政策について考える
- 観光を経営(ビジネス)・地域振興の視点から理解し、持続可能な観光経営のあり方を考える
- 世界各地の文化と生活を理解し、国際的な視点から観光開発・地域活性化について考える
- 持続的な地域づくりのための原理と方法を学び、地域振興政策の視点について考える

学科の卒業認定・学位授与の方針

[知識・理解]

- 1 地域の諸問題を発見し、その背景にある要因を考察することができる。
- 2 観光政策に関する知識を修得し、使いこなすことができる。
- 3 必要な専門知識を身に付け、地域が抱える諸問題を解決することができる。

[態度・志向性]

- 1 地域社会を分析し、地域活性化のための観光政策について考えることができる。
- 2 観光の手法を取り入れて地域振興のための政策や企画について考えることができる。
- 3 世界各地の文化と生活を理解し、国際的な視点から観光交流を推進することができる。

[汎用的技能]

- 1 他者との協働が不可欠である政策立案に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 2 コンピュータに関する技能を身に付け、情報社会に対応することができる。
- 3 英語を用いて、社会生活に必要なコミュニケーションをとることができる。
- 4 社会的問題を分析し、対外的に発信することができる。

Tourism Science Program

観光政策学科では、地域社会における観光資源を活用することにより、観光開発および観光経営を中心的に担う人材を育成します。地域社会や産業としての観光が抱える諸問題を的確に把握し、それらの問題を解決するための観光振興、観光経営を構想、推進していくためには、さまざまな調査手法および分析能力が求められます。そのため、よりよい観光地域づくり、観光経営に必要な調査、分析能力を育成することに特化したカリキュラムとして、ツーリズムサイエンスプログラム(TSP)を開講しています。

STUDENT'S VOICE

自らの関心に沿って、経済・交通・情報など多彩な側面を持つ「観光」について学べます

地域政策学部では、各人の興味関心のある分野を通じて「地域」について学ぶことができます。本学科を選択したのは、「観光学」を知ってその奥深さに驚き、強い関心を持ったからです。コロナ禍を経て最新の観光行動は研究が進んでいないものも多く、新鮮さも魅力です。ゼミでは「地域祭礼」「古民家活用・リノベーション」を主たる研究テーマとしています。多くの専門知識を身に付け、卒業後は地元に戻り地域社会に貢献できるような仕事に就きたいと考えています。



4年 現出頭立
角館高等学校 出身
戸嶋 宏樹

学科の教育課程編成・実施の方針

観光政策学科では、観光を通じた地域活性化に寄与する人材を育成するため、学生が、国内外の観光政策の理論や制度の学修と地域社会での実践的・実証的な調査研究を通じて、独自の観光資源開発、および活用方法を提案する能力を修得できるよう、以下のとおり方針を定める。

- 1 国内外の観光政策の学修と地域社会での実践的・実証的な調査研究を通じて、独自の観光資源開発および活用方法を提案する能力を修得させるため、観光政策専門基礎科目として必要な科目を配置する。
- 2 地域が抱える問題とその解決策としての地域政策についてより深く探求させるため、観光政策専門発展科目として必要な科目を配置する。
- 3 他者との協働が不可欠である政策や企画の立案にあたって必要なコミュニケーション能力を修得させるため、各年次に少人数で開講する演習を配置する。
- 4 在学中に学んだ全ての知識を統合し、問題の設定・調査・分析・考察という一連の作業を通じて解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

観光政策学科専門科目の群配当と位置付け



観光政策学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門導入科目群	専門導入A ●地域政策学入門	●初年次ゼミ ●地域政策を学ぶ ●地域づくりを学ぶ ●観光政策を学ぶ	●現代の都市問題 ●都市政策論 ●現代の農村問題 ●農業経済学 ●国際経済学 ●国際関係論 ●地域経済論 ●経済政策論 ●地域政策論 ●地方政治論 ●地域づくり論 ●マーケティング ●地域振興共生論 ●地域環境論 ●地域医療保健論 ●社会福祉論 ●地域文化論 ●文化政策論 ●地域社会学 ●生涯学習概論 ●フィールドワーク入門 ●観光産業論 ●観光政策論 ●観光経営論 ●社会起業論 ●多文化共生論 ●国際観光論 ●観光資源論 ●観光地理学 ●観光学概論 ●観光地地調査演習	●観光経済論 ●観光社会学 ●交通政策論 ●観光リゾート計画論 ●サービスマネジメント ●NPO論 ●観光文化政策論 ●観光文化コミュニケーション ●文化人類学 ●観光文化政策論 ●地産地消・スローフード論 ●農村地理学 ●観光まちづくり論	●グループ研究 ●特別講義「世界と日本の未来を考える」 ●データサイエンス入門 ●高崎市の課題と政策 ●防災政策論 ●地方分権論 ●市民生活と法 ●観光経営関連法規 ●観光旅行関連法規 ●外国史 ●地誌
専門基礎科目群			●観光経済論 ●観光社会学 ●交通政策論 ●観光リゾート計画論 ●サービスマネジメント ●NPO論 ●観光文化政策論 ●観光文化コミュニケーション ●文化人類学 ●観光文化政策論 ●地産地消・スローフード論 ●農村地理学 ●観光まちづくり論		
特別講義			●グループ研究 ●特別講義「世界と日本の未来を考える」 ●データサイエンス入門 ●高崎市の課題と政策 ●防災政策論 ●地方分権論 ●市民生活と法 ●観光経営関連法規 ●観光旅行関連法規 ●外国史 ●地誌		
専門発展科目群			●景観計画論 ●観光交通論 ●ユニバーサルデザイン論 ●旅行者行動論 ●観光マーケティング論 ●ツアープランニング論 ●ホスピタリティ論 ●イベント観光論 ●観光情報論 ●アメリカの文化と観光 ●ヨーロッパの文化と観光 ●アジアの文化と観光 ●オセアニアの文化と観光 ●観光プロモーション論 ●産業観光論 ●アーバンツーリズム ●エコツーリズム ●観光開発関連法 ●地域振興論		
実習				●インターンシップ	
演習		●基礎演習		●演習	
卒業論文				●卒業論文	

専任教員一覧

小島 仁 教授	交通政策論、観光交通論、公益企業論	井手 拓郎 准教授	観光学、政策学、観光まちづくり、リーダーシップ論、リーダーシップ論
片岡 美富 教授	農業・環境教育、都市農村交流	木暮 律子 准教授	日本語教育学、留学生教育
小牧 幸代 教授	文化人類学、南アジアのイスラーム研究	田中 宏和 准教授	スポーツ政策学、スポーツ行政学
関口 智子 教授	第二言語習得、通訳教育	外山 昌樹 准教授	観光マーケティング、消費者行動論
丸山 奈穂 教授	観光人類学、観光とエスニックマイノリティ	安田 慎 准教授	中東地域研究、イスラーム地域研究、観光人類学、観光史、観光政策
八木 慎一 教授	社会的企業論		
石井 清輝 准教授	地域社会学、観光社会学		

観光政策学科 教員・ゼミナール紹介

身近なテーマ「交通」について
フィールドワークをはじめ
幅広い観点から調査・分析する



地域政策学部 教授
小熊仁 ゼミ

教員研究テーマ
交通経済学、流通・ロジスティクス、
ボランティア・NPO

担当科目
交通政策論、観光交通論、流通経済論、
基礎演習、演習Ⅰ/Ⅱ

ゼミナールの研究テーマ・分野
種々の交通問題に着目し、フィールドワークを基に背景と解決策を考える

基本的な学問スキルを身に付け
研究手法やプレゼンを学びつつ
ソーシャルビジネスを考察する



地域政策学部 教授
八木橋慶一 ゼミ

教員研究テーマ
社会起業論、ローカル・ガバナンス論

担当科目
社会起業論、NPO論、基礎演習、
演習Ⅰ/Ⅱ、コミュニティビジネス論

ゼミナールの研究テーマ・分野
ソーシャルビジネス、NPO、地域活性化、まちづくり

現場に赴き、自分の目で確認して、自分なりの答えを出す

交通(航空・鉄道・バス・船・自動車)や交通インフラ(空港・港・駅・道路)を取り巻く各種の問題や疑問点について、現場への調査分析を通して明らかにしていくゼミです。まずは現地へ赴いて実際に体験・観察してもらい、現場で得た経験を基にさらなる比較調査を行い、種々の視点から研究を進めていきます。

交通という、生活になじみが深い分野をテーマに、自分の力で現場に赴いて、自分の目で確かめたり調査したりすることが本ゼミの特徴です。どんなことをどんな方法で調査するかも含め、全て学生の自主性に任せています。その過程では、自己管理やグループでの計画管理の力も付きます。



主体的な学びを通して幅広いスキルを身に付ける

大学での学びは、自分で考えて行動することが最重要です。また、同じ問題意識を持っている仲間と議論を深め合い、自分が何を考えているのか、何をしたいのかについて他人に分かりやすく伝える力や、仲間の考えにしっかりと耳を傾ける力も必要です。そのため、ゼミでは教員の介入を極力減らし、学生の自主性を尊重しつつ、協調性やコミュニケーション能力も併せて身に付けられるような指導を行っています。

フィールドワークの際も、各自の関心や問題意識を基にグループを形成し、どこをフィールドワーク先とするかについてグループ内で話し合っ決めていきます。公表資料や文献調査を基に訪問先の下調べを行い、実際に調査。その後、取りまとめを行い、結果を、報告書やプレゼンテーションの形で調査先に還元します。



教員からのメッセージ

本学地域政策学部は、教員と学生、および学生間の距離が近く、充実した学習プログラムが用意されています。コロナ禍により失った「出会い」の場が数多くある数少ない大学です。ここで、さまざまな人々と新たな「出会い」を育んでください。きっと充実した学生生活になるはずです。

知識と実践を通じソーシャルビジネスにアプローチする

社会貢献とビジネスの両立を目指す事業活動を「ソーシャルビジネス」(社会起業)と呼び、日本では、NPO法人や一般社団法人を中心にさまざまな団体が実践しています。本ゼミでは、このようなソーシャルビジネスの理論や事例を学びます。方法としては、まず文献を読んで基礎知識を身に付けます。次に、実際にソーシャルビジネスを行っている団体に取材をします。この一連のプロセスが、研究にとって非常に大切だと考えています。調査先はゼミ生たち自身で選び、自ら取材を申し込みます。

地域コミュニティにはさまざまな課題があり、調べていくうちに、出身地や暮らしているまちの課題を発見できたりします。それらの気づきから、解決方法を考えたり、説得力のある事業活動を構想したりするのは面白いことです。

卒業論文は、地域活性化に関するもの、社会問題の解決に取り組む団体を取材したものなどが多いです。



社会人に求められるのは、自ら考え、決断する姿勢

指導の上で最も大切にしているのは「自主性の尊重」です。研究手法の指導や、基礎知識の習得に必要な文献の提示はしますが、何を研究したいのか、どんな調査を行うかは、ゼミ生に自分で考えてもらいます。積極的に学外活動に参加するゼミ生も多いです。観光地でボランティアガイドを務めたり、ビジネスプランコンテストに応募したりするゼミ生が毎年います。学生起業家になったゼミ生もいます。



教員からのメッセージ

高崎経済大学、特に地域政策学部は、地域の課題解決に取り組む人材の育成を目的としたカリキュラムを用意しています。そのためのスタッフもそろっています。将来、自分の住まわちや、自分と関わりの深いコミュニティのために何かをしたいと思う人は、ぜひ本学で学んでください。

STUDENT'S VOICE

ゼミ生たちと先生で、一緒にフィールドワークを行い学んでいきます

出身地の北海道には地域航空会社「AIR DO」があり、大手とは異なる独自サービスを展開していますが、日本各地の地域航空会社はどれも経営が厳しいという事実があります。そうした課題に対しどんな対策が打てるかを学びたいと思い、本ゼミを志望しました。

ゼミでは各自の興味を基に、グループごとに研究を行います。必要であればどんな遠くでもフィールドワークに行きます。インターネットで何でも調べられる時代だからこそ、自分の目で見て課題を発見することに価値があります。課題発見や考察に必要なもう一つは「データ」で、ゼミ活動を通してデータの分析力が付いたことも大きな成長です。

北海道旭川東高等学校出身 神成 ともえ ゼミ生(4年)



STUDENT'S VOICE

取材やボランティア活動を通して実践的に学び、研究しています

私はNPO団体に所属しており、八木橋先生のもとでならNPO活動の中で学んだことを活かそうと本ゼミを選択。ゼミ活動では、実際に企業やNPOで活動している人から話を聞くことで知識や理解が深まるとともに、私たち自身の将来について参考になることも聞け、研究以上の学びがあります。夏のゼミ合宿では、ゼミ生同士の交流も深まりました。

ゼミに入って、読んだことや感じたことをまとめる文章力と、ボランティア精神が成長したと感じます。フィールドワークのボランティア活動では特に、自主性や社会性の成長を実感しています。ボランティア活動を通して「相手が喜んでくれる喜び」を知ったので、将来はイベント関連の仕事に就いて、たくさんの人に喜びを提供できたらと考えています。

群馬県・東京農業大学第二高等学校出身 佐藤 望奏 ゼミ生(4年)



海外研修プログラム・支援事業 [2023年度]

2022年度実績
262人

本学は16の国と地域 21大学と提携し、短期語学研修や交換留学、教員の交流、学術雑誌の交換などを行っており、2022年度では262人の学生が海外へ渡り、さまざまな経験や学びを得ています。
海外研修を行う学生には、海外提携校以外でも要件を満たせば大学の助成制度や後援会・同窓会等からの補助金支給があります。

※プログラム内容(研修先、期間、滞在形態等)は変更になることがあります。
※2023年度の助成金制度です。2024年度以降は変更の可能性あります。

◆2022年度実績内訳

交換留学・長期語学研修	ダブリン・シティ大学	2人	短期語学研修	国際学科プログラム	48人	フィールドワーク	172人				
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	1人		テネシー大学マーティン校	8人		ボランティア	4人			
	テネシー大学マーティン校	1人		ダブリン・シティ大学	6人			合計	262人		
	ヴロツワフ経済経営大学	2人		ラ・トロブ大学	2人				合計	262人	
	南ソウル大学	1人		ハワイ大学マノア校	4人					合計	262人
				ワイカト大学	5人						合計
		提携校以外	6人	合計	262人						

海外提携校 16の国と地域 21大学



海外フィールドワーク、ボランティア・インターンシップ

プログラム	研修先	プログラムレベル	研修期間	単位認定
国際学科	国際学科の学生個人またはゼミ教員が決定	フィールドワーク:30時間以上 ボランティア・インターンシップ:60時間以上	7週間以内	あり
一般学生	学生個人またはゼミ教員が決定	フィールドワーク:15時間以上 ボランティア・インターンシップ:30時間以上	7週間以内	なし

●海外フィールドワーク、ボランティア・インターンシップ

東アジア・東南アジア地域	一律 6万円	それ以外の地域	一律 8万円	後援会助成金金額...1万7千円 同窓会補助金金額...3千円	2022年度海外研修支援事業実績 176名 ※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。
--------------	--------	---------	--------	------------------------------------	--

短期語学研修

国際学科	研修先	プログラムレベル	留学期間	滞在形態	応募資格	単位認定
提携校	大学が指定する語学研修機関	英語短期研修(初級~上級)	3週間	寮またはホームステイ(大学が指定)	経済学部・国際学科所属学生	あり
	トンプソン・リバーズ大学(TRU)(カナダ)	英語短期研修(初級~中級)	3週間	ホームステイ	全学生	あり
	ダブリン・シティ大学(DCU)(アイルランド)					
	ウェスタン・ミンガン大学(WMU)(アメリカ)	英語短期研修(初級~上級)				
	ハワイ大学マノア校(UHM)(アメリカ)		2週間	寮	全学生(出欠出席率80%以上)	あり
	ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ(HC)(イギリス)	英語短期研修(中級~上級)	3週間			
	アベリストウィス大学(AU)(イギリス)	英語短期研修(初級~中級)	4週間			
	テネシー大学マーティン校(UTM)(アメリカ)		3週間			
	テネシー大学マーティン校(UTM)(アメリカ)		3週間	寮	全学生	あり
	パーベチュアル・ヘルプ大学(UPH)(フィリピン)	英語短期研修(初級~中級)				
トンプソン・リバーズ大学(TRU)(カナダ)		2週間	ホームステイ	全学生	あり	
ハワイ大学マノア校(UHM)(アメリカ)						
ラ・トロブ大学(LTU)(オーストラリア)	英語短期研修(初級~上級)	5週間	寮	全学生	あり	
ワイカト大学(UoW)(ニュージーランド)		4週間				
淡江大学(TKU)(台湾)	中国語短期研修	2週間	寮またはホテル	全学生	なし	
上記以外	夏・春	指定旅行会社プログラムまたは個人で選定	2週間~	寮またはホームステイ	全学生	なし

●短期語学研修(国際学科プログラムもしくは語学成績優秀者※1)

国際学科プログラム	— 在学中1回限り —	一律 35万円	後援会助成金金額...3万2千円 同窓会補助金金額...1万3千円	語学成績優秀者※1	— 在学中1回限り —	一律 15万円	後援会助成金金額...2万2千円 同窓会補助金金額...8千円
-----------	-------------	---------	--------------------------------------	-----------	-------------	---------	------------------------------------

※1 語学成績優秀者とは、申請時に英検準1級以上、TOEIC 700点以上、TOEFL iBT 70以上、IELTS 6.0(overall)以上の人です。語学能力証明書のコピーを提出していただきます。

●短期語学研修(上記以外)

東アジア・東南アジア地域	一律 12万円	それ以外の地域	一律 17万円	後援会助成金金額...2万2千円 同窓会補助金金額...8千円
--------------	---------	---------	---------	------------------------------------

2022年度海外研修支援事業実績 79名 ※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。

株式会社キーテクノロジー 留学奨励金

一律 15万円	TOEIC650点以上を保有する学生が対象です。年間の給付対象人数が決まっており、TOEICスコア上位者から選考されます。詳しくは国際交流支援チームまでお問い合わせください。
---------	---

交換留学・長期語学研修

交換留学	研修先	プログラムレベル	募集人数	留学期間	滞在形態	応募資格	単位認定
夏出発	ダブリン・シティ大学(DCU)(アイルランド)	派遣留学(中級~上級)	各校2名	約8か月	寮またはアパート	学部1~4年生 ただし派遣時4年生で1年間留学する場合、留学途中で卒業しないような履修をする必要あり。	あり
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学(LUBS)(ドイツ)			約10か月	寮		
	テネシー大学マーティン校(UTM)(アメリカ)			約4か月または9か月	寮		
	ヴロツワフ経済経営大学(WUE)(ポーランド)			約5か月または10か月	寮またはアパート		
	ダナン外国語大学(UFLS)(ベトナム)			約5か月または10か月	アパート		
	南ソウル大学(NSU)(韓国)			約4か月または10か月	寮		
	長栄大学(CJCU)(台湾)			約5か月または10か月	寮		
上記以外	夏・春	個人で選定	—	2か月以上1年以内	寮またはホームステイ	なし	なし

●交換留学

研修期間6か月未満	一律 30万円	後援会助成金金額...2万円 同窓会補助金金額...1万円	研修期間6か月以上	一律 40万円	後援会助成金金額...10万円 同窓会補助金金額...1万円
-----------	---------	----------------------------------	-----------	---------	-----------------------------------

●長期語学研修(個人検索プログラム)

研修期間2か月以上6か月未満	一律 30万円	後援会助成金金額...2万円 同窓会補助金金額...1万円	研修期間6か月以上1年以内	一律 40万円	後援会助成金金額...10万円 同窓会補助金金額...1万円
----------------	---------	----------------------------------	---------------	---------	-----------------------------------

2022年度海外研修支援事業実績 7名 ※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。

充実した英語教育

本学では、グローバル化や情報化社会に対応した教育環境を提供しています。

英語副専攻

副専攻とは、所属学科で専門的に学修する主専攻(経済・経営・国際、地域政策・地域づくり・観光政策)とは別に、個々のキャリアアップ、英語学修意欲の向上と在学中の継続的学習の維持を図ることを目的に、以下の英語科目のうち、一定の単位を修得した学生に副専攻「英語(Global Communicator Program)」を認定します。



下記の科目区分から20単位以上(上級科目10単位以上を含む)を修得すると、副専攻「英語(Global Communicator Program)」を認定します。

上級	◆ Advanced Oral Communication	◆ TOEFL
	◆ Advanced Discussion	◆ TOEIC Advanced
	◆ English for Academic Purposes	◆ TOEFL Advanced
	◆ Critical Thinking	
選択	◆ Language Learner Development	◆ Grammar
	◆ Oral Communication	◆ Writing
	◆ English Language and Culture	◆ Reading
	◆ World Issues	◆ Listening
	◆ 海外語学研修(英語)	◆ Discussion
	◆ 海外語学研修(専門)	◆ TOEIC Basic
		◆ TOEIC Intermediate

幅広い科目から選択することができるため、「文献を読めるようになりたい」「日常会話ができるようになりたい」「TOEIC・TOEFLのスコアを向上させたい」「専門的なビジネス英語を習得したい」といった、学生それぞれの達成目標に合わせて選択学ぶことができます。

副専攻「英語」を修得するメリット

- ✓ 英語を身に付けることができ、それを証明できる。
- ✓ 主専攻の学びを補うことができる。
- ✓ 就職活動に活用することができる。

所属学科の主専攻だけでなく、英語を達成目的の設定されたカリキュラムに沿って、体系的に学ぶことができます。また、副専攻「英語」として修了認定を受けることができるため、大学で英語を学んだことの証明として、「副専攻認定証書」が授与されます。



学修環境

本学では学生たちが国際交流や英語学習に効率的かつ積極的に取り組めるよう、以下のような取り組みを行っています。



English Café

英語を活用する場、異文化体験の場、留学へのステップの場、そして生きた英語を学ぶという共通の目的を持った学生たちの集いの場として、English Café(イングリッシュカフェ)を、多くの学生が利用しています。空き時間を利用し、リラックスしながら、いつでも自由にネイティブの講師と会話を楽しむことができます。

学内でできる
国際交流
英語学習



English Café
パディ制度
日本語チューター制度
eラーニング



eラーニング

本学では、コンピュータによる英語教育を積極的にを行っています。1年生全員にGTEC、2年生全員にTOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)の受験が義務付けられているため、英語教材として「eラーニング」を導入し、学内だけでなくインターネットにつながっているパソコンがあれば、24時間いつでもどこでも英語学習が可能です。

留学体験記

伊賀 圭亮 経済学部 経済学科 山形県立山形南高等学校 出身

留学先 ▶ アイルランド | ダブリン・シティ大学

利用プログラム ▶ 短期語学研修(提携校)
期間 ▶ 約3週間 出発時の学年 ▶ 2年



ダブリン・シティ大学は国際色豊かな大学で、クラスにはトルコ、チリ、ブラジル、ロシア、中国、クウェートなどからの留学生がいました。ホームステイ先から大学までは徒歩15分ほど。日本にいるときの感覚が抜けず、9:00スタートの授業に遅れてくる学生がいたり、公共交通機関の遅延が日常茶飯事であったりすることにストレスを感じることも…。授業では、初めて見た英単語をすぐに日本語で調べるのではなく、知っている英単語で説明し、分かるようになることを重視していました。

授業終了後の午後には、いろいろな場所を訪れました。週末はダブリンから離れた街へも。ガイドツアーに参加することもありましたが、当然ながらネイティブの説明は授業よりも難しく、パンフレットも日本語があることは稀で、言語の壁と自身の英語力の未熟さを痛感しました。クラスメイトと深い話をする、トイレを探す、食事を注文するなど、英語が必須の環境は、英語力の向上にとっても有意義でした。

手塚 智美 地域政策学部 地域政策学科 東京都立北園高等学校 出身

留学先 ▶ ドイツ | ルートヴィヒスハーフェン経済大学

利用プログラム ▶ 交換留学
期間 ▶ 約11か月間 出発時の学年 ▶ 3年

大学での講義はプレゼンテーションや意見を発表する機会が多く、クラスには活気がありました。他の学生の知識や発想力にしばしば驚かされ、少しでも追いつけるようにと懸命に勉強しました。余暇は交換留学生同士で遊ぶことが多く、部屋でパーティーをしたり、天気の良い日はピクニックに行ったり、近隣の国に旅行することもありました。飲んで、食べて、遊ぶ中で、母国の文化を教え合いました。

留学中は、「あなたはどう思う?」と自分の意見を求められることが多かったです。ドイツには多様な文化が存在し、しかもそれらの文化が共存しています。その理由の一つは、自分も大切に、相手も尊重するという文化的背景があるからだだと思います。留学中は、文化の違いで苦労することや驚くことがありますが、そうしたときには、自分の意見を大切にしつつ相手も尊重することで、文化の差異を受け止め、しかもそこから多くのことを学べます。それもまた長期留学の楽しみです。



小島 凛 経済学部 国際学科 千葉県立千葉東高等学校 出身

留学先 ▶ アメリカ | EFサンタバーバラ校

利用プログラム ▶ 短期語学研修(国際学科)
期間 ▶ 約3週間 出発時の学年 ▶ 2年



研修先の学校では、イタリアやフランスなどさまざまな国の人とともに授業を受けました。クラスメイトたちは意見をはっきりと言い、自分が間違えても、正答のほうを疑っている姿が衝撃的でした。一方で、人の意見や答えは決して否定しません。その姿勢に尊敬の念すら抱きました。

休日には、ユニバーサルスタジオハリウッドやロサンゼルスツアーなどに行きました。他にも授業の合間に友人と食事に行ったり海へ行ったリスケートをしたりと、暇な時間はなかったというほど毎日が充実していました。クラスメイトが私の誕生日をサプライズで祝ってくれ、最高の20歳の誕生日になりました。

最も印象に残っているのは、寮や通学中にフランス人の友人と拙いながらも英語で話した時間です。彼女とは「いつか必ず互いの国に行こう」と約束し、今も連絡を取っています。短期間に多くの出会いと学びを得ることができた研修でした。

CAMPUS MAP

キャンパスマップ

大学のキャンパスは、樹木の深い緑に囲まれています。また鳥川の清流に沿うように広いグラウンドがあります。自然豊かな環境の中に、学生たちの知的好奇心を満足させ、快適なキャンパスライフを送るために不可欠な施設と設備が機能的に配置されています。

- | | | | |
|-----|---------------|-----------|---------|
| 1号館 | 事務棟 | 第1グラウンド | 総合グラウンド |
| 2号館 | 学生ボランティア活動支援室 | 野球場 | テニスコート |
| 3号館 | 研究棟 | 文化サークル棟 | B&B |
| 4号館 | 三扇会館 | 総合体育館 | 南校舎 |
| 5号館 | 図書棟 | 体育会クラブハウス | 駐車場 |
| 6号館 | 三扇寮実行委員会室 | 弓道場 | バス停 |
| 7号館 | 旧音楽サークル棟 | 茶道室 | 正門 |
| | 旧文化サークル棟 | 会館 | 緑大前通り |
| | | 多目的広場 | 駐車場 |
| | | 陸上競技場 | |

ネットワーク環境完備
※一部対象外の教室もあります。



18 文化サークル棟

「文化サークル棟」と「音楽サークル棟」を建て替え、新しい文化サークル棟が完成しました。文化サークル所属学生のほか、多くの学生が集える交流スペースとして、ホールと会議室を配置しています。建物南側には、キャンパスと体育館、第1グラウンドとの連絡通路を設置し、本学全体の一体感の向上を図ります。



7 7号館 (食堂:1F)

夜まで営業の食堂が嬉しい



1階の生協食堂は、いつも多くの学生で賑わっています。平日は11:00から19:30まで営業しているので、1人暮らしの学生の強い味方です。



12 図書館 (パソコンコーナー・グループ研究室)

約39万冊の蔵書、TAKAKEIのランドマーク施設



キャンパスの中央に位置する図書館には、約39万冊の蔵書があります。蔵書の種類は、経済・地域政策関連はもとより全国の郷土資料が充実していることが特色です。平日は21:30まで、日曜・祝日も開館しています。館内には利用目的に応じた閲覧スペース、パソコンコーナー、図書館ホール、ラウンジを設置しています。さらに、館内全域で無線LANが利用でき、データベースや電子ジャーナル等多くのコンテンツが図書館ウェブサイトを通じて利用できるように整備されています。

パソコンコーナー



自由に利用できるよう、48台のパソコンが設置されています。

グループ研究室



ゼミ活動やサークル活動で利用でき、部屋は4室、閲覧席は335席あります。

可動式本棚



これにより数多くの書物を蔵書でき、目当ての書籍も探しやすくなっています。

エントランスホール (多目的スペース)



空き時間に、個人学習等で自由に活用できます。

11 三扇会館

(購買部:1F 食堂:2F)



1階の生協購買部では、教習所・旅行・資格スクールなどの受付と、食品・飲料・文具・パソコン周辺機器・書籍・雑誌など幅広く商品を取り扱っています。2階には生協食堂もあります。

1 1号館 (展望ラウンジ:6F)

展望が良く憩いのひと時を過ごせます



1号館の6階は、上毛三山を望む眺めが自慢の展望ラウンジになっており、空き時間や休憩時間に自由に利用することができます。



CAMPUS CALENDAR

キャンパスカレンダー

2023年度 年間行事予定	4月 入学式 新入生ガイダンス 教職課程ガイダンス 2~4学年ガイダンス 教育実習ガイダンス 前期開講 新入生歓迎会 新入留学生歓迎会 部活・サークル説明会 演習(ゼミ)選択ガイダンス 教育実習ガイダンス (経済学部)	5月 フレッシュアップキャンプ (体育会) 学生献血活動	6月 フレッシュアップキャンプ (文化サークル協議会) 学長杯ソフトボール大会 開学記念日[6・25] 鶴岡祭	7月 体育会所属団体体育祭 オープンキャンパス	8月 前期末試験 夏季休業 オープンキャンパス	9月 急救救命講習 後期開講	10月 学内献血活動 プレゼンテーション大会 (経済学部) プレゼンテーション大会 (地域政策学部)	11月 教育実習ガイダンス 三扇寮(大学院)	12月 体育会リーダーズキャンプ 冬季休業 学科選択ガイダンス (経済学部)	1月 授業再開 後期末試験	2月 春季休業 リーダーズキャンプ (文化サークル協議会) 卒業論文発表会 (地域政策学部)	3月 合同企業説明会 体育会クリーンアップ活動 学位記授与式
----------------------	--	---	--	--------------------------------------	---	-----------------------------	--	-------------------------------------	--	----------------------------	--	--



REAL TAKAKEI LIFE

一人暮らしでの大学生活を楽しむ学生のライフスタイルをご紹介します

「自分のやり方」で暮らせるから面白い！

新たな出会いや発見を楽しんでください！



高崎に住んでいると
東京って意外と近いなど
感じます。

CASE 1

経済学部3年
武田 周斗 [長野県出身]
長野県 長野市立高等学校 出身

大学まで自転車で約10分の距離に住んでいます。通学に時間がかからないので自分の時間を確保でき、充実した生活が送れています。高崎は家賃が高くないうえ、飲食店、スーパー、ホームセンターなどあらゆるジャンルの店が揃っていて生活しやすいです。アルバイトの選択肢が多いことや、高崎まつりをはじめとするイベントがたくさん開催されていることも魅力です。

一人暮らしのいいところは、何と言っても自分のペースで生活できること。食べたい料理を食べたり、友人を招いて遅くまで遊んだり、一人暮らしを満喫しています。料理や掃除などの家事スキルも上がりました。

高経大に入学して一人暮らしをする皆さん、時間をうまく使って、追求したいことや趣味などに打ち込み、大学生活を楽しんでください！



勉強も自分のペースで！

料理もうまくなりました！



複数路線が乗り入れる
高崎駅は
お出かけに便利です！

CASE 2

地域政策学部3年
高田 真帆 [石川県出身]
石川県立金沢二水高等学校 出身

入学するまでは群馬県を訪れたこともなく、知り合いもいなかったため、一人暮らしすることは不安でしたが、すぐに友達ができ、今は毎日楽しいです。年間を通して晴れの日の多い高崎は暮らしやすいうえ、大学まで自転車で20分と通学時間が短いため、隙間時間に勉強するなど時間を有意義に使えています。自宅に気軽に友人を招けたり、自炊する機会が増えて料理のレパートリーが広がるなど、一人暮らしには多くのメリットがあります。

高校までと比べて大学生の暮らしは自由な時間が多く、楽しいことがいっぱいあります。自由な時間が増えることに伴って行動範囲や交友関係が広くなり、新たな出会い・発見・経験をする機会も多くなります。ぜひ、それらを楽しみつつ、充実した大学生活を送ってください。



静かな環境で課題に集中！

ゆったりティータイム♪

	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	24:00
MON	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
TUE	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	アルバイト	学食	就寝
WED	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
THU	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
FRI	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	アルバイト	学食	就寝
SAT	起床	授業	授業	学食	学食	学食	学食	学食	学食	就寝
SUN	起床	授業	授業	学食	学食	学食	学食	学食	学食	就寝

	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	24:00
MON	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	アルバイト	学食	就寝
TUE	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	アルバイト	学食	就寝
WED	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
THU	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
FRI	起床	授業	授業	学食	授業	学食	学食	学食	学食	就寝
SAT	起床	授業	授業	学食	学食	学食	学食	学食	学食	就寝
SUN	起床	授業	授業	学食	学食	学食	学食	学食	学食	就寝



CAMPUS LIFE CLUB CIRCLE



クラブ・サークル活動を通じて自分の世界を広げよう。かけがえのない大学生活の中で、よき仲間と出会いともに成長する、自分を高めるもうひとつの場として何かに夢中になることに時間を費やしてみたいか？

体育会

本学体育会では、様々な運動部が活動しています。都留文科大学との大学対抗戦である「鶴鷹祭」や、新入生同士の交流を図る「フレッシューズキャンプ」など、さまざまなイベントをとおして部同士でのつながりを深められるのも、本学体育会の特徴です。

- | | | | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|-----------|---------|------------|
| 合気道部 | 硬式野球部 | 山岳部 | 準硬式野球部 | ソフトボール部 | バレーボール部 | 陸上競技部 |
| アメリカンフットボール部 | 硬式野球部 | 直心影流剣道部 | 少林寺拳法部 | 卓球部 | ハンドボール部 | ローバースカウト部 |
| 空手道部 | サイクリング部 | 自動車部 | 水泳部 | バスケットボール部 | ラクロス部 | ワンダーフォーゲル部 |
| 弓道部 | サッカー部 | 柔道部 | ソフトテニス部 | バドミントン部 | ラグビー部 | |

文化サークル協議会

文化サークル協議会は、文化サークルがよりよい活動ができるようにサポートしている団体です。「フレッシューズキャンプ」、「リーダーズキャンプ」などをとおし、サークル同士の交流も深めています。

- | | | | | | | |
|---------------|--------|---------|-----------------|---------|-------|-----------|
| 映画研究部 | 観光研究会 | 軽音楽部 | 茶道部 | 書道部 | 美術部 | 漫画研究会 |
| 英語研究部(E.S.S.) | ギタークラブ | 経済数学研究部 | 山野愛好会 | 政治経済研究会 | 文芸研究部 | マンドリンクラブ |
| 演劇研究会 | 棋道部 | 経理研究部 | 写真部 | 都市研究会 | 放送研究会 | モダンジャズ研究会 |
| 会計学研究部 | グリークラブ | 考古学研究部 | 情報システム研究会(TISS) | ハイキング部 | 法律研究会 | 旅行研究会 |
| | | | | | | 歴史研究会 |

学生団体

- 応援団 吹奏楽部 経済学部ゼミナール協議会 地域政策学部ゼミナール協議会 三扇祭実行委員会 国際交流協会



三扇祭(みつおうざい) Campus Festival

三扇祭とは本学の大学祭のことです。三扇祭ではゼミや部活動、サークルなどの団体による模擬店や展示、日々の活動の発表が行われ、来場される地域の方々や学生をつなぐひとつの大きな場です。



鶴鷹祭(かくようさい) Inter-university Sports Festival

鶴鷹祭とは本学と「都留文科大学(山梨県都留市)」との総合体育対抗戦のことです。46回を数える、非常に歴史のある大会です。都留と高崎の文字を「鶴」と「鷹」に置き換え、「鶴鷹祭」と命名されました。両校がプライドを懸けた戦いを繰り広げ、互いに切磋琢磨しながら絆を深めています。

CAREER SUPPORT

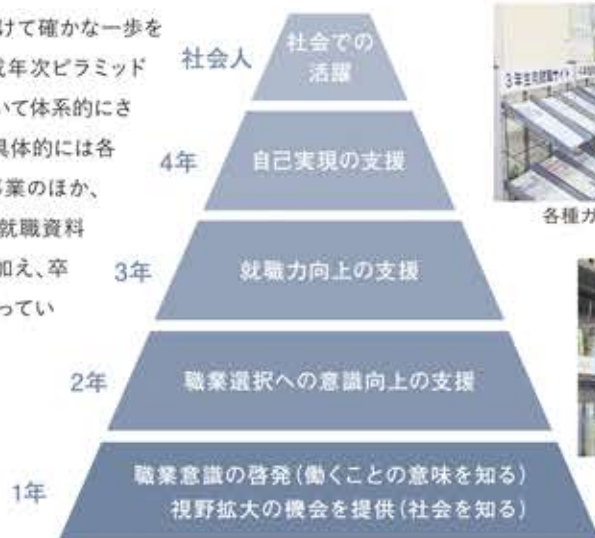
社会に、地域に貢献できる人材を

【キャリア支援センター】

キャリア支援センターでは、学生が社会に向けて確かな一歩を踏み出せるよう「高崎経済大学キャリア形成年次ピラミッド（キャリア支援指針）」を策定し、これに基づいて体系的にさまざまなキャリア形成支援を行っています。具体的には各種ガイダンスやセミナーといった就職支援事業のほか、求人受付・掲示、進路調査、就職指導・相談、就職資料の収集等、就職に関するさまざまな業務に加え、卒業後の進路全般についても助言や指導を行っています。



相談カウンター



各種ガイダンス講座案内



就職活動関連書籍・問題集

最新情報の提供

- インターンシップ情報 ■ 就職内定報告書等の閲覧
- 企業別求人ファイル ■ 就職に関するフリーペーパーの配布
- 各種ガイダンス、講座開催のメール配信 等

模擬面接

OB・OGの経営者・人事担当者が面接官になり、行います。

参加者の声

- ・ その場でフィードバックをいただきありがたかった。
- ・ 他の学生の考え、意見を聞くことができて参考になった。
- ・ 企業研究の足りなさや必要性を理解できた。
- ・ 面接の良い練習になった。
- ・ 自分では気付かなかったことを指摘していただいた。

対策講座

社会や就職活動で役立つ能力・知識を身につけます。

- 公務員試験対策講座 ■ エントリーシート対策講座
- SPI対策講座 ■ ビジネスマナー講座 ■ 面接対策講座 等

合同企業説明会

現地に行かなくても、たくさんの企業が来学してくれます。

参加者の声

- ・ 交通費をかせずに、多くの企業の話を開けた。
- ・ 好きな時間に、多くの企業の話を開けた。
- ・ 大きな合同企業説明会では質問しにくいことまで、少人数なので開けた。
- ・ 興味がある業界でも、知らない企業があることに気付けた。
- ・ 実際に働いている人の話が参考になった。

公務員志望者支援

キャリア支援センターでは、国家公務員総合職・一般職、地方公務員上級等、多岐にわたる公務員の仕事に対する理解促進と、職種に応じた試験対策のためのさまざまな支援を行っています。

対策講座の一例	公務員試験・資格取得に関する個別相談	国家公務員採用制度説明会
	公務員志望者向け就職セミナー	公務員・民間併願就職活動スケジュール解説講座
	公務員試験合格者報告会	高崎市役所採用試験制度説明会

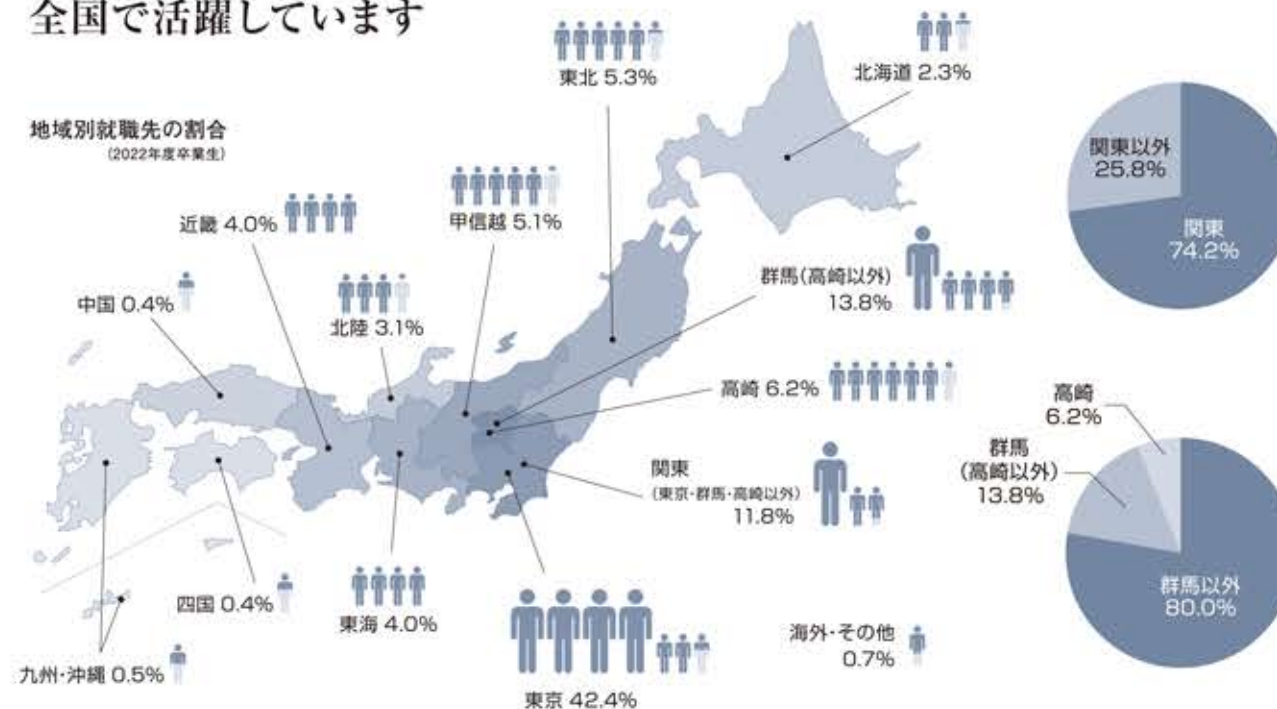
公務員試験対策講座

(専門学校と提携:有料)

本学の公務員試験対策講座は「教養科目コース」と「教養科目+専門主要科目コース」の2コースから選択できます。主に3年生が対象となりますが、1・2年生の受講も可能です。毎年5月中旬から翌年3月までの通年講座です。

約40,000人の卒業生たちが 全国で活躍しています

地域別就職先の割合 (2022年度卒業生)



【U・Iターン就職希望者支援】

キャリア支援センターでは、地元への就職や首都圏以外の地域への就職を希望する学生の疑問や不安を解消するため、以下のような就職支援事業を行っています。

▶ Uターン志望者向け就職セミナー

講義形式で、効率の良い情報収集のやり方や地域優良企業の特徴と探し方、遠方での就職活動にかかる費用などについて説明します。

▶ 高崎商工会議所との連携事業

本学の所在地である高崎市の商工会議所と連携して、地域の優良企業を知るための「優良企業見学バスツアー」などの企画を実施しています。また、本学学生の採用に積極的な高崎市内企業のみを招いた合同企業説明会を開催しています。

その他 就職サポート

就職相談

- ・ 就職活動に関する不安・悩みなど、専門の相談員が個別に相談に応じます。
- ・ エントリーシート・履歴書などの添削にも対応します。
- ・ 面接の練習や情報提供も行なっています。
- ・ 学年を問わずお申し込み可能となっています。

OB・OGとの交流会

- ・ OB・OGとのつながりを強め、就職活動に役立つ情報を伝えてもらいます。
- ・ 群馬県外の企業で働くOB・OGが地元にて職業相談会を開催。
- ・ 全国からOB・OGを本学に招き、就職活動に有益なアドバイスをいただくイベントを開催。

【就職活動カレンダー】

1年次	2年次	3年次	4年次
4月 1年生向けキャリアガイダンス/簿記3級受験対策講座/各種資格取得ガイダンス/大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座/公務員志望者向けセミナー/金融リテラシー講座	4月 「簿記3級講座」事前説明会/各種資格取得ガイダンス/大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座/「公務員試験対策講座」事前説明会/公務員志望者向けセミナー/金融リテラシー講座	4月 「簿記3級講座」事前説明会/就活スタート講座/「公務員試験対策講座」事前説明会/公務員志望者向けセミナー/金融リテラシー講座	4月 「簿記3級講座」事前説明会/就活スタート講座/「公務員試験対策講座」事前説明会/公務員志望者向けセミナー/金融リテラシー講座
5月 大学1・2年生のための就活講座	5月 大学1・2年生のための就活講座	5月 就職ガイダンス	5月 就職ガイダンス
6月 公務員・民間併願に向けた就活解説講座	6月 公務員・民間併願に向けた就活解説講座	6月 首都圏で活躍するOB・OGによる就職相談会/公務員・民間併願就活に向けた解説講座/SPI適性検査講座	6月 首都圏で活躍するOB・OGによる就職相談会/公務員・民間併願就活に向けた解説講座/SPI適性検査講座
8月 高崎市内優良企業見学バスツアー	8月 高崎市内優良企業見学バスツアー	7月 留学生向けインターンシップ&就職セミナー/面接対策実践講座/グループディスカッション実践講座/グループディスカッション実践練習会	7月 留学生向けインターンシップ&就職セミナー/面接対策実践講座/グループディスカッション実践講座/グループディスカッション実践練習会
10月 Uターン志望者向け就職セミナー	10月 Uターン志望者向け就職セミナー	11月 公務員合格者報告会	11月 公務員合格者報告会
11月 公務員合格者報告会	11月 公務員合格者報告会	8月 高崎市内優良企業見学バスツアー	8月 高崎市内優良企業見学バスツアー
4月 「簿記3級講座」事前説明会/各種資格取得ガイダンス/大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座/「公務員試験対策講座」事前説明会/公務員志望者向けセミナー/金融リテラシー講座	4月 「簿記3級講座」事前説明会/各種資格取得ガイダンス/大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座/「公務員試験対策講座」事前説明会/公務員志望者向けセミナー/公務員試験合格者報告会	10月 Uターン志望者向け就職セミナー/エントリーシート対策講座	10月 Uターン志望者向け就職セミナー/エントリーシート対策講座
5月 大学1・2年生のための就活講座	5月 大学1・2年生のための就活講座	11月 就職活動実践講座/OB・OGによる就職相談会in高崎/自己分析・企業分析セミナー/公務員試験合格者報告会	11月 就職活動実践講座/OB・OGによる就職相談会in高崎/自己分析・企業分析セミナー/公務員試験合格者報告会
6月 公務員・民間併願に向けた就活解説講座	6月 公務員・民間併願に向けた就活解説講座	12月 グループディスカッション実践講座/OB・OGによる模擬面接/SPI能力検査	12月 グループディスカッション実践講座/OB・OGによる模擬面接/SPI能力検査
8月 高崎市内優良企業見学バスツアー	8月 高崎市内優良企業見学バスツアー	1月 面接対策実践講座/国家公務員採用制度説明会/高崎市役所採用試験制度説明会	1月 面接対策実践講座/国家公務員採用制度説明会/高崎市役所採用試験制度説明会
10月 Uターン志望者向け就職セミナー	10月 Uターン志望者向け就職セミナー	2月 グループディスカッション実践練習会	2月 グループディスカッション実践練習会
11月 公務員試験合格者報告会	11月 公務員試験合格者報告会	3月 合同企業説明会	3月 合同企業説明会
1月 面接対策実践講座/国家公務員採用制度説明会/高崎市役所採用試験制度説明会	1月 面接対策実践講座/国家公務員採用制度説明会/高崎市役所採用試験制度説明会	7月 面接対策実践講座/グループディスカッション実践講座/グループディスカッション実践練習会	7月 面接対策実践講座/グループディスカッション実践講座/グループディスカッション実践練習会

随時 就職相談会

学費

両学部共通

年間授業料 **520,800円**

私立大との初年度納入金比較

文部科学省「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額」より



◎初年度納入金内訳

	一般	高崎市民*1
入学金	282,000円	141,000円
授業料*2	520,800円	520,800円
諸費用	106,300円	106,300円
合計	909,100円	768,100円

2年次以降

	一般	高崎市民*1
授業料*2	520,800円	520,800円

4年間合計

	一般	高崎市民*1
納入金	2,471,500円	2,330,500円

*1 高崎市民とは、入学年の4月1日現在において、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者をさします。
*2 授業料は前期・後期 各260,400円で合計520,800円です。前期分授業料は4月、後期分授業料は、10月の納入です。
* 両学部とも1・2年生前期分授業料の納入に併せて、両学部1年生はGTEC受験料、両学部2年生及び地域政策学部3年次編入生の3年生は、TOEIC受験料を納入いただけます。

奨学金制度

大学独自の制度のほか、高崎経済大学同窓会および高崎経済大学後援会には以下の奨学金があります。また、日本学生支援機構をはじめとして、各種の奨学金制度を学内で申し込めます。

修学支援制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、2020年度から高等教育における修学支援新制度が開始されました。本学は、2023年度本制度の対象機関となっております。詳細は、本学ホームページをご確認ください。なお、本制度の概要等については、文部科学省のホームページ等で確認してください。

糸井ホールディングススポーツ活動奨励奨学金

本学体育会に所属するスポーツ団体の学生に、本学が無利子で奨学金を貸与し、体育会学生の就学及びスポーツ活動を支援することを目的としています。また、卒業後群馬県内に本社を有する企業等に就職した学生には、貸与額の半額を免除する特例を設け、群馬県の地域活性化に貢献する意思を持つ人材を育成するとともに、群馬県内就職の促進を図ります。

貸与額(月額)	50,000円、60,000円 70,000円、80,000円から選択
貸与者数	11人

高崎経済大学同窓会給付金

家計を支えている者の死亡や被災など、家計が急変し就学が困難になった学生で、事由発生日から12か月以内、死亡の場合6か月以内に申請があったものを対象に審査し、給付します。

給付額	人数
100,000円	0人

日本学生支援機構

種類	給付奨学金	貸与奨学金	
		第一種(無利子)	第二種(無利子)
人数 (2022年度)	389人	855人	838人

* 貸与月額等の詳細は日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

留学生

(2022年度)

種類	金額	人数
日本学生支援機構(学習奨励費)	月額 48,000円	6人
(一財)高崎経済大学後援会奨学金	月額 10,000円	20人
ロータリー米山記念奨学金	月額 100,000円	5人
JEES日本語修学支援奨学金	月額 50,000円	1人

学生生活支援

アパート

本学周辺には多くのアパート物件があります。自分に合う生活条件を備えたアパートを見つけください。以下に高崎と、都内の大学が比較的多く所在するエリアの平均家賃の比較表を掲載しますので参考にしてください。

※本学調べ

ワンルームの平均家賃 家賃の差も大きい!

高崎 **39,000円**
都内 **約79,000円**

アパートの平均家賃の比較(ワンルーム)

新宿区	渋谷区	豊島区	世田谷区
79,000円	95,000円	71,000円	71,000円

*家賃情報は各種資料から本学が独自に算出(2023年5月現在)
*家賃は、部屋の広さ、家財の新旧、各設備、日当たり、交通の便等により異なります。

アルバイト

事務・サービス・販売等のほか、家庭教師や塾講師など学生向けのアルバイト紹介をキャリア支援センターを通じて行っています。



宅配便ロッカー

一人暮らしの学生の利便性向上と、再配達による宅配業者などへの負担を減らすことができます。



各種サポート体制も万全



ヘルスケア 保健室

学生生活を健康に送ることができるよう、健康管理に関する業務を行っています。健康診断や健康相談・傷の手当や急病のケア等、養護教諭が常駐し対応しています。身長・体重・体脂肪・血圧測定・尿検査・視力色覚検査・聴力検査などの測定ができます。普通救命講習会や献血活動も行っています。

障害学生支援 学生サポートルーム

本学が提供しているさまざまな機会を、すべての学生が平等に受けられるよう支援をしています。視覚障害、聴覚障害、発達障害学生等への支援として、履修・事務手続きの配慮、試験時の配慮の相談、語学・演習・実習科目における配慮、授業担当教員への配慮事項伝達、資料等の点訳・対面朗読、施設の整備、修学環境の調整等を行っています。

メンタルヘルスケア 学生相談

学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。勉強や進路に関することはもちろん、スポーツや課外活動での心配事やトラブル・何となく体がだるくてやる気がおきないなど、心身の健康全般についてカウンセラーや保健師等が常時相談に応じています。対面相談はもちろん、遠隔相談や、電話による相談も受け付けています。個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守します。

ハラスメント ハラスメント相談室

発生の予防および対策、ハラスメントに起因する問題への対応、ハラスメント防止対策委員会、相談室を設置しています。

自主活動支援 学生ボランティア活動支援室

ボランティア活動に関する情報発信や、ボランティア活動希望学生に対する支援・教育を行います。

入学者選抜は全国10カ所で実施

一般選抜は、地元で受験することが可能なため、交通費等の経済的な負担や移動時間を抑えることができます。



★地域政策学部後期日程を除きます。



2023年度 入学者選抜実施状況

経済学部					
試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	140	749	672	201	171
公立大学 中期日程	240	2,939	1,585	524	258
学校推薦型 選抜	100	217	216	100	100
小計	480	3,905	2,473	825	529
私費外国人 留学生	若干人	23	21	6	2
社会人	若干人	1	1	0	0
帰国生徒	若干人	0	0	0	0
小計	480	3,929	2,495	831	531
2年次 編入・転入	若干人	4	3	1	0
3年次 編入・転入	若干人	0	0	0	0
小計	若干人	4	3	1	0
合計	480	3,933	2,498	832	531
科目等履修生 聴講生	若干人	1	1	1	1

地域政策学部					
試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	200	906	766	300	236
後期日程	100	1,367	531	165	104
学校推薦型 選抜 I	50	103	102	50	50
学校推薦型 選抜 II	45	138	138	45	44
小計	395	2,514	1,537	560	434
私費外国人 留学生	25	28	21	14	9
社会人	若干人	1	1	1	1
帰国生徒	若干人	0	0	0	0
小計	420	2,543	1,559	575	444
2年次 編入・転入	20	47	44	21	17
3年次 編入・転入	10	33	29	10	9
小計	30	80	73	31	26
合計	450	2,623	1,632	606	470
科目等履修生 聴講生	若干人	3	3	3	3

両学部合計	募集人員	930
	志願者数	6,556
	受験者数	4,130
	合格者数	1,438
	入学者数	1,001

入学者選抜合格者点数内訳表				
試験区分	合格者最高得点	合格者平均得点	合格者最低得点	満点
経済学部 前期日程	674.50	555.84	524.50	800
経済学部 公立大学 中期日程	622.00	496.16	451.00	700
地域政策学部 前期日程	631.00	537.79	511.00	800
地域政策学部 後期日程	541.50	438.51	423.50	700

※地域政策学部は、3教科3科目対象者の得点です。
※合格発表日現在のものです、その後追加合格者がある場合でも数値に含みません。

Web出願

事前準備完了後、Web出願システムを使って出願期間内にこれらのステップを完了させます。

- 1 学生募集要項の確認
- 2 ガイダンスサイトにアクセス
- 3 出願登録・写真登録
- 4 入学検定料の支払い
- 5 出願書類の印刷
- 6 出願書類の郵送



すべての入試区分でWeb出願を導入しています。 <https://www.tcue.ac.jp/leafpage/652.html>

入試情報は発行時点(2023年5月)のもので、諸般の事情により変更が生じる場合がありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

2024年度 特別選抜情報 (募集要項はホームページで公開予定、冊子の配布はありません)

経済学部 学校推薦型選抜	
実施学部 学科名	経済学部(経済学科・経営学科・国際学科)
募集人員	100人 内訳: 地域推薦15人・ 全国推薦50人(※高崎市立高崎経済大学附属高校3人含む)・ 英語重視推薦20人・商業等推薦15人 ※それぞれの募集人員に対して、1校あたり3人まで推薦することができます。
出願資格	<p>① 本学への入学を特に志望する者で、次の各号のすべてに該当する者</p> <p>② 高等学校又は中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者</p> <p>③ 人物・学力ともに優秀で、かつ、勉学意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>④ 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者(地域推薦においては)</p> <p>⑤ 2024年4月1日現在において、本人自身、その者の配偶者又は1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者(2023年4月1日から2024年4月1日まで引き続き高崎市に住民登録のある者)</p> <p>(英語重視推薦においては)</p> <p>⑥ 本学が指定する英語外部検定試験において、以下のア～エのいずれか一つを満たしている者</p> <p>ア 実用英語技能検定試験(英検)準2級以上</p> <p>イ TOEFL iBT 40点以上</p> <p>ウ GTEC 780点以上</p> <p>エ TOEIC (L&R) 400点以上</p> <p>(商業等推薦においては)</p> <p>⑦ 高等学校学習指導要領における専門教育に関する教科(商業)の科目のうち、簿記及び財務会計1を履修している者</p> <p>⑧ 公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級を取得している者</p>
出願資格	<p>○ 地域推薦・全国推薦</p> <p>英語※、小論文、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。</p> <p>○ 英語重視推薦</p> <p>英語※、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。また、志願者が所持する本学が指定する英語外部検定試験の等級及びスコアに応じて加点します。</p> <p>注) 英語重視推薦で合格判定が不合格の場合、「小論文」を受験していることで、全国推薦での合格判定対象となります。このため、英語重視推薦志願者で「小論文」を受験も希望する者は、出願時に「小論文を受験する」にチェックの上、「小論文」を受験してください。</p> <p>○ 商業等推薦</p> <p>英語※、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。注) 志願者が所持する資格に応じて加点をします。</p> <p>なお、対象となる資格は、英検準2級以上、日本商工会議所簿記検定試験2級以上及び公益財団法人全国商業高等学校協会が実施する「三種目以上1級合格者表彰制度」において試験科目としている検定試験です。</p> <p>※本学における課程履修に耐え得る最低限の英語能力を判定するための基礎学力試験です。</p> <p>※大学入学共通テストを免除します。</p>
出願期間	2023年11月1日(水)～11月8日(水)
試験日	2023年11月26日(日)
試験場	高崎
合格発表日	2023年12月1日(金)
募集要項	9月中旬HP公開予定

経済学部 その他の入試	
◆ 編入・転入学	◆ 帰国生徒
試験日	2023年12月17日(日)
募集人員	2年次 若干人
試験科目	英語、経済学・経営学の基礎問題、面接試験
試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定
◆ 私費外国人留学生	◆ 社会人
試験日	2023年12月17日(日)
募集人員	若干人
試験科目	日本語試験の成績、面接試験
試験場	高崎
募集要項	9月中旬HP公開予定

地域政策学部 学校推薦型選抜	
実施学部 学科名	地域政策学部(地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)
募集人員	50人(高崎市立高崎経済大学附属高校5人含む)
出願資格	<p>① 高等学校(中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を2024年3月卒業(修了)見込みの者又は2020年3月以降卒業(修了)した者【卒業(修了)後4年以内】</p> <p>② 次の各号のすべてに該当する者</p> <p>③ ① 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心をもつ者</p> <p>④ ② 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>⑤ ③ 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p>
出願要件	<p>① 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心をもつ者</p> <p>② 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p>
選抜方法	<p>学校長の推薦書及び調査書、自己推薦書・活動実績報告書、小論文(英語に関する問題を含む)、面接試験により総合的に判定します。</p> <p>※大学入学共通テストを免除します。</p>
出願期間	2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水)
試験日	2023年11月26日(日)
試験場	高崎・仙台
合格発表日	2023年12月1日(金)
募集要項	9月中旬HP公開予定
▶ 学校推薦型Ⅱ(大学入学共通テスト利用)	
実施学部 学科名	地域政策学部(地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)
募集人員	45人
出願資格	<p>高等学校(中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を2024年3月卒業(修了)見込みの者</p> <p>① 次の各号のすべてに該当する者</p> <p>② ① 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心を持つ者</p> <p>③ ② 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>④ ③ 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p> <p>⑤ 令和6年度大学入学共通テスト3教科3科目(外国語を含む)以上受験する者</p>
出願要件	<p>① 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心を持つ者</p> <p>② 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③ 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p> <p>④ 令和6年度大学入学共通テスト3教科3科目(外国語を含む)以上受験する者</p>
選抜方法	<p>令和6年度大学入学共通テスト3教科3科目(外国語を含む)の成績、学校長の推薦書、調査書及び自己推薦書により総合的に判定します。</p> <p>※書類選考のため、個別学力検査は実施しません。</p>
出願期間	2024年1月4日(木)～2024年1月12日(金)
合格発表日	2024年2月2日(金)
募集要項	9月中旬HP公開予定

地域政策学部 その他の入試			
◆ 編入・転入学	◆ 帰国生徒	◆ 私費外国人留学生	◆ 社会人
試験日	2023年9月16日(土)	試験日	2023年12月17日(日)
募集人員	2年次20人 3年次10人	募集人員	若干人
試験科目	小論文、面接試験	試験科目	志望論文(出願時提出)、小論文、面接試験
試験場	高崎	試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定	募集要項	9月中旬HP公開予定
◆ 私費外国人留学生	◆ 社会人	◆ 私費外国人留学生	◆ 社会人
試験日	2023年12月17日(日)	試験日	2023年12月17日(日)
募集人員	若干人	募集人員	25人
試験科目	日本語試験の成績、面接試験	試験科目	日本語試験の成績、小論文、面接試験
試験場	高崎	試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定	募集要項	7月中旬HP公開予定

入試情報は発行時点(2023年5月)のもので、諸般の事情により変更が生じる場合がありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

2024年度 一般選抜情報 (募集要項は11月中旬ホームページ公開予定、冊子の配布はありません)

経済学部

経済学部の入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

経済学部では、「教育課程編成・実施の方針」にもとづく教育を施すことを通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げた人材を育成するため、以下のような資質を備えたいと積極的に受け入れる。

- 高等学校までの以下の学習の内容をきちんと身に付けていること
 - 日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - 英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - 数理的手法を身に付けるために必要な数学の知識・技能
 - 人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
- 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができること
- 経済、経営及び国際関係に強い興味・関心があり、主体的な態度で学習に取り組むことができること
- 多様な価値及び意見を尊重し、他者と協力しながら学習や課外活動に取り組むことができること

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、公立大学中期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1及び2の知識・技能及び能力を修得しているかを評価するとともに、調査書により、上記3、4の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、英語と小論文試験で、上記1の(1)、(2)及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、調査書・推薦書等の提出書類により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。さらに、1、3の知識・技能・態度に関しては、英語や簿記などの資格・検定試験の結果も適宜評価する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、英語及び経済学・経営学の基礎的な問題により、上記1の(2)、(3)及び3の知識・技能・態度を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、英語と小論文試験により、上記1の(1)、(2)及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

募集人員

学部	学科	入学定員	一般選抜		特別選抜
			前期日程	公立大学中期日程	学校推薦型
経済	経済	200人	140人	240人	100人
	経営	200人			
	国際	80人			

I 出願資格(前期日程・公立大学中期日程)

次のいずれかに該当し、本学が指示する令和6年度大学入学共通テストの教科科目を受験した者とする。

- 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)又は2024年3月修了見込みの者
- 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者

II 出願期間(前期日程・公立大学中期日程)

2024年1月22日(月)～1月31日(水)
※1月31日までの通信日付印(清印)有効

III 選抜方法(前期日程・公立大学中期日程)

本学が指示する令和6年度大学入学共通テストの教科科目及び本学が実施する個別学力検査の成績ならびに調査書を総合して判定します。

大学入学共通テスト

大学入学共通テストを次の指示に従い、受験してください。
(前期日程) 外国語を含む4教科4科目を選択解答してください。
(公立大学中期日程) 外国語を含む3教科3科目を選択解答してください。

教科	出題科目	科目 選択方法	解答する教科・科目	
			前期日程	公立大学 中期日程
外国語	英語(リスニング含)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	1科目を選択	必須	必須

国語	国語	選択	選択	選択
地理歴史	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	1科目を選択	3教科3科目を選択解答してください。なお、3教科より多く受験した場合は、高得点の3教科を採用します。	2教科2科目を選択解答してください。なお、2教科より多く受験した場合は、高得点の2教科を採用します。
公民	現代社会、倫理、政治・経済、倫理、政治・経済	1科目を選択		
数学	数学I、数学A、数学II、数学II・数学B、簿記・会計、情報関係基礎	1科目を選択		
理科	① 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎	①から2科目又は②から1科目を選択		
	② 物理、化学、生物、地学			

*[英語]でリスニングを受験しない場合は、失格となります。
*「地理歴史、公民」「理科②」で2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

前期日程

(1) 個別学力検査

- ①試験日 2024年2月25日(日)
- ②試験場 高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
- ③試験科目及び試験時間

時間	学部	経済学部(経済学科・経営学科・国際学科)		
		教科	出題科目	選択方法
9:40～12:00		国語	国語総合と国語表現、現代文A、現代文B、古典A、古典Bを合わせたものを「国語」として出題	2教科2科目を選択解答してください。
		数学	数学I、数学A、数学II及び数学Bを合わせたものを「数学」として出題(数学Aは全範囲、数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする)	
		外国語	コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現IIを合わせたものを「英語」として出題	

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	100点×4科目 =400点	800点
	(外国語及び国語を100点に換算します。)						
個別学力検査	国語	数学	外国語	200点×2科目 =400点			800点
	各科目200点						

(3) 合格発表日

2024年3月6日(水) 午前10時から

公立大学中期日程

(1) 個別学力検査

- ①試験日 2024年3月8日(金)
- ②試験場 高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
- ③試験科目及び試験時間

時間	学部	経済学部(経済学科・経営学科・国際学科)		
		教科	出題科目	選択方法
9:40～12:00		国語	国語総合と国語表現、現代文A、現代文B、古典A、古典Bを合わせたものを「国語」として出題	2教科2科目を選択解答してください。
		地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	
		公民	「政治・経済」	
		数学	数学I、数学A、数学II及び数学Bを合わせたものを「数学」として出題(数学Aは全範囲、数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする)	
		外国語	コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現IIを合わせたものを「英語」として出題	ただし、地理歴史と公民の2教科については、出題4科目のうちから1科目しか選択解答できません。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	100点×3科目 =300点	700点
	(外国語及び国語を100点に換算します。)						
個別学力検査	国語	地理歴史	公民	数学	外国語	200点×2科目 =400点	700点
	各科目200点						

(3) 合格発表日

2024年3月21日(木) 午前10時から

地域政策学部

地域政策学部の入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

- 大学で学ぶための基礎的な学力として、高等学校までの以下の学習の内容を身に付けている人
 - 日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - 英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
 - データや資料を適切に分析・処理するのに必要な知識・技能
 - 人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
- 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができる。聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人
- 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人
- 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人
- 大学内外の人たちと協力して学習・研究に取り組むことができる人

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、後期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1の知識・技能を修得しているかを評価する。個別学力検査では小論文の受験を必須とし、上記3及び4の問題意識や関心を有しているかを評価するとともに、論理的な文章を作成する能力をはかる。あわせて、調査書により、上記3、4、5の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、小論文試験(英語を含む)により、上記1の(1)、(2)及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、活動実績報告書及び調査書等により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、小論文試験により、上記1の(3)、(4)、3及び4の知識・関心を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力について総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、小論文試験により、上記1の(1)及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験及び志望論文により、上記3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

募集人員

学部	学科	入学定員	一般選抜		特別選抜		
			前期日程	後期日程	学校推薦型I	学校推薦型II(私費外国人留学生)	私費外国人留学生
地域政策	地域政策	150人	200人	100人	50人	45人	25人
	地域づくり	150人					
	観光政策	120人					

I 出願資格(前期日程・後期日程)

次のいずれかに該当し、本学が指示する令和6年度大学入学共通テストの教科科目を受験した者とする。

- 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)又は2024年3月修了見込みの者
- 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者

II 出願期間(前期日程・後期日程)

2024年1月22日(月)～1月31日(水) ※1月31日までの通信日付印(清印)有効

III 選抜方法(前期日程・後期日程)

本学が指示する令和6年度大学入学共通テストの教科科目及び本学が実施する個別学力検査の成績ならびに調査書を総合して判定します。

大学入学共通テスト

大学入学共通テストを次の指示に従い、受験してください。
(前期日程・後期日程) 外国語を含む5教科5科目又は外国語を含む3教科3科目を選択解答してください。

教科	出題科目	科目 選択方法	解答する教科・科目	
			前期日程・後期日程	前期日程・後期日程
外国語	英語(リスニング含)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	1科目を選択	必須	必須
国語	国語		必須	
地理歴史	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	1科目を選択	必須	2教科2科目を選択解答してください。なお、2教科より多く受験した場合は、高得点の2教科を採用します。
公民	現代社会、倫理、政治・経済、倫理、政治・経済			
数学	数学I、数学A、数学II、数学II・数学B、簿記・会計、情報関係基礎	1科目を選択	必須	
理科	① 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎	①から2科目又は②から1科目を選択		
	② 物理、化学、生物、地学			

*[英語]でリスニングを受験しない場合は、失格となります。
*「地理歴史、公民」「理科②」で2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

【選抜方法(前期・後期共通)】

- ① 大学入学共通テストを5教科5科目以上受験した人については、5教科5科目受験による選抜と、3教科3科目受験による選抜の2つの選抜の対象となります。3教科3科目又は4教科4科目受験した人については、3教科3科目受験による選抜の対象となります。
- ② 5教科5科目で選抜する合格者は、定員の概ね50%とします。5教科5科目の合格者は、3教科3科目の選抜の対象から除外されます。
- ③ 3教科3科目で選抜する合格者は、定員の概ね50%とします。

前期日程

(1) 個別学力検査

- ①試験日 2024年2月25日(日)
- ②試験場 高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
- ③試験科目及び試験時間

時間	学部	地域政策学部(地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)		
		教科	出題科目	選択方法
9:40～12:00		—	小論文	1教科1科目を選択解答してください。
		地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「政治・経済」	
		公民	「政治・経済」	
		数学	数学I、数学A、数学II及び数学Bを合わせたものを「数学」として出題(数学Aは全範囲、数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする)	

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

●5教科5科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	350点+150点×4科目 =950点	1,350点
	各科目を150点に換算します。						
個別学力検査	小論文	地理歴史	公民	数学	200点×2科目 =400点	200点	1,350点
	200点						

●3教科3科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	200点+100点×2科目 =400点	800点
	各科目100点(国語を100点に換算します。)						
個別学力検査	小論文	地理歴史	公民	数学	200点×2科目 =400点	200点	800点
	200点						

(3) 合格発表日

2024年3月6日(水) 午前10時から

後期日程

(1) 個別学力検査

- ①試験日 2024年3月12日(火)
- ②試験場 高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山
- ③試験科目及び試験時間

時間	学部	地域政策学部(地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)		
		教科	出題科目	選択方法
9:30～11:00			小論文	

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

●5教科5科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	350点+150点×4科目 =950点	1,250点
	各科目を150点に換算します。						
個別学力検査	小論文	地理歴史	公民	数学	200点×2科目 =400点	300点	1,250点
	300点						

●3教科3科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点					合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学 理科	200点+100点×2科目 =400点	700点
	各科目100点(国語を100点に換算します。)						
個別学力検査	小論文	地理歴史	公民	数学	200点×2科目 =400点	300点	700点
	300点						

(3) 合格発表日

2024年3月21日(木) 午前10時から

